製品区分：　01.家庭用電気製品　　No.0001

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200700258 2007-2683 2007/07/16 （事故発生地） 神奈川県	ＩＨ調理器 松下電器産業株式会社 3G-7EMXS（ｸﾘﾅｯﾌﾟ株式会社ﾌﾞﾗﾝﾄﾞ）	調理中に異臭がし、電源スイッチ周辺から発煙した。 （火災）	事故原因は、当該製品の動作中に電源基板上のリレー接点部が発熱したことにより、リレーの外郭樹脂が溶融、発煙した可能性が考えられたが、当該製品が入手できなかったため、原因を特定することはできなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2007/07/26)
A200700644 2007-4631 2007/11/16 （事故発生地） 和歌山県	電気がま 株式会社日立ホームテック（現 日立アプライアンス株式会社） RZ-AS18	当該製品で炊飯中に製品内部が焼損し、操作パネル部が溶融した。 （火災）	当該製品操作パネル裏側に取り付けられている内部基板上のコンデンサー及びコンデンサー周辺が焼損していることから、コンデンサーの内部短絡又はリード端子はんだ付け部のはんだ不良によって過熱し、焼損したものと考えられたが、事故の原因を特定することはできなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2007/11/26)
A200700920 2007-6097 2008/01/22 （事故発生地） 岡山県	電子レンジ 株式会社千石 IM-574（岩谷産業株式会社ブランド）	当該製品で温めを行ったが、温まらなかったため、再度温めを行ったところ、焦げ臭いにおいがして発煙したため、消火した。 （火災）	当該製品のラッチスイッチ接点部にアーク放電による溶融跡が認められることから、ラッチスイッチ部の異常過熱により、当該から出火し、周囲に延焼したと考えられるが、通常の使用においては、アーク放電による異常発熱する要因は考えられず、発生した原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/02/04)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200800590 2008-2627 2008/07/01 （事故発生地） 大阪府	ファクシミリ ブラザー工業株式会社 FAX-790CL	当該製品の子機で通話中に、雑音がして相手の声が聞き取りにくい状態だったため、子機のスピーカーに耳を密着させたところ、突然大きな音がしたため、聴覚障害を負った。 （重傷）	調査の結果、大音量となった理由は特定できなかったが、雑音で聞き取りにくい状態であったため、子機のスピーカーに、耳を密着したことから事故が発生したものと考えられる。当該製品の子機を耳にあてて通話をする場合と、耳から離してハンズフリーで通話をする場合とのスピーカーが同一であり、通話中のハンズフリーボタンの誤操作やハウリング現象などで、意図せず大音量となった場合への配慮が欠けていたものと考えられる。	ブラザー工業株式会社は、同様の事故の再発防止のため、ハンズフリー用のスピーカーを耳に接しない位置に別に設置し、また、誤操作を防ぐため、ハンズフリーボタンの周囲にガードを設置するなどの設計の変更を行った。	(受付:2008/09/11)
A200900057 2009-0269 2009/03/29 （事故発生地） 東京都	電気ストーブ 松下精工株式会社（現 パナソニックエコシステムズ株式会社） FE-08A1L	当該製品を使用したまま外で作業をしていると、室内から発煙しているのに気付き確認したところ、当該製品が燃えていた。 （火災）	事故原因は、当該製品の転倒オフスイッチの接続端子部に溶融痕が認められたため、長期使用（約１５年）により接続端子部に熱ストレスが繰り返しかかったことにより接触不良が生じ、出火に至ったものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/04/17)
A200900120 2009-0519 2009/05/03 （事故発生地） 愛知県	インターホン アイホン株式会社 MY-2MCUB	当該製品付近から発煙し、周辺が焼損する火災が発生した。 （火災）	調査の結果、電源基板の屋内配線接続用端子部付近が異常発熱して火災に至ったものと考えられるが、基板の一部が焼失しているため、屋内配線接続用端子が異常発熱した原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/05/15)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200900129 2009-0548 2009/05/09 （事故発生地） 東京都	インターホン アイホン株式会社 HB2-104VU	当該製品の電解コンデンサが破裂して異臭がした。 （火災）	事故原因は、長期使用（約１８年）により、低電圧回路の電解コンデンサに液漏れが生じ、電解コンデンサの端子間及び基板の銅箔パターン間で短絡が生じて異臭がしたものと考えられる。	アイホン株式会社では、インターホン製品全般において経年劣化によるシステムダウン等を回避するため、集合住宅用のものは設置後１５年を目安に交換することを呼びかけている。	(受付:2009/05/18)
A200900163 2009-0660 2009/05/19 （事故発生地） 東京都	照明器具 東京電気株式会社（現：株式会社ＬＤＦ） FPH-7087K（株式会社東芝ブランド）	当該製品を消灯し、しばらくした後、メインブレーカーが落ち、当該製品周辺から火災が発生していた。 （火災）	当該製品の焼損が著しく、一部の電気部品（安定器）が残存していたのみであったことから、製品に起因した事故かどうかも含めて、事故原因を特定することができなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/05/29)
A200900168 2009-0689 2009/05/20 （事故発生地） 兵庫県	テレビ（ブラウン管型） 株式会社日立製作所 C25-AV5	子供が当該製品の電源スイッチを頻繁に入り切りさせ遊んでいたところ、「パチン」という音がし、内部から発煙、発火した。 （火災）	事故の原因は、当該製品内部の基板上の部品（電解コンデンサー）が破裂して、着火した電解コンデンサー内部の電解紙が、基板上の他の部品（半固定ボリューム）を焼損させ、周囲の樹脂製外郭の内側を類焼したものと考えられた。なお、電解コンデンサーが破裂した原因の特定はできなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/06/02)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200900176 2009-0723 2009/05/05 （事故発生地） 東京都	電子レンジ 大宇電子ジャパン株式会社 DMW-H125B	当該製品で食品を加熱中に内部から発煙した。 （火災）	事故の原因は、当該製品のドアスイッチに接点不良があったため、ドアの開閉によって接点間でスパークが生じて、スイッチカバーが炭化し、異常発熱して、発煙・出火に至ったものと考えられた。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/06/04)
A200900195 2009-0782 2009/06/03 （事故発生地） 東京都	電気衣類乾燥機 ミーレ・ジャパン株式会社 T471C	当該製品を使用していたところ、当該製品から出火した。 （火災）	事故原因は、当該製品内部のクーリングファンモーターの巻線に溶融痕が認められたことから、モーター巻線でレイヤショートし出火したものと考えられるが、焼損が著しく、レイヤショートが生じた原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/06/11)
A200900281 2009-1026 2009/06/30 （事故発生地） 兵庫県	エアコン（室外機） シャープ株式会社 AU-G28SEY	火災が発生し、現場に当該製品があった。 （火災）	調査の結果、制御基板に取り付けられた部品端子のはんだ付け部に溶融痕が認められたことから、制御基板から出火したことが考えられたが、当該基板の焼損が著しく、原因を特定することができなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/07/08)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200900300 2009-1108 2009/06/25 （事故発生地） 沖縄県	エアコン ダイキン工業株式会社 F50BTEP-W	火災が発生し、当該製品及び周辺が焼損した。 （火災）	事故原因は、当該製品の焼損が激しく、回収されていない部品があることから、原因の特定には至らなかったが、火災の状況から当該製品から出火したものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/07/14)
A200900303 2009-1110 2009/07/07 （事故発生地） 茨城県	エアコン（室内機） ダイキン工業株式会社 F28FTUXS-C	火災が発生し、当該製品が現場にあった。 （火災）	調査の結果、 ○当該製品のファンモーター内部の基板に取り付けられているコネクター端子４本のうち１本が焼失しており、内部基板も一部溶融していた。 ○焼損した内部基板は樹脂に埋め込まれており、樹脂も局所的に焼損していた。 ○制御基板は大部分が残存しており、溶融痕等の発火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品のファンモーター内部の基板に水分などが浸入したため、基板部分でトラッキングが発生し、コネクター樹脂から出火に至ったものと推定されるが、水分が基板部分に浸入した原因については不明なため、製品起因か否かも含め事故原因の特定に至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/07/15)

製品区分：　01.家庭用電気製品

No. 0006

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200900310 2009-1142 2009/06/18 （事故発生地） 東京都	電子レンジ 燦坤日本電器株式会社 TSK-8402A5	当該製品でタイマーをセットして料理を温めていたところ、当該製品から出火する火災が発生した。 （火災）	調査の結果、 ○当該製品は庫内の焼損が著しい。 ○タイマー内のスイッチボックスの接点部に発熱の痕跡があり、接点が片減りし、荒れが認められたことから、接点が一時的に溶着していたものと考えられた。 ○タイマーの取付金具及び操作パネルに分解された痕跡が認められた。 ○その他の電気部品（トランス、マグネトロン、内部配線等）に焼損は認められなかった。 ○当該製品は２ヶ月前にリサイクル店で購入したものであった。 ●当該製品のタイマーの接点が溶着したためタイマーが切れず、加熱が継続して庫内の食品が焦げたものと推定されるが、出荷時からの使用履歴が不明であり、タイマー部が分解された痕跡も認められたことから、接点が溶着に至った原因も不明であるため、製品起因か否かも含め事故原因の特定に至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/07/16)
A200900315 2009-1139 2009/07/11 （事故発生地） 大分県	電気洗濯乾燥機 東芝家電製造株式会社（現　東芝ホームアプライアンス株式会社） TW-170VD	当該製品でタイマー予約をしていたところ、当該製品後方から発煙する火災が発生した。 （火災）	当該製品は焼損が著しく、樹脂部分はほとんど焼失し、ヒーターボックスに設置されていた安全装置（サーモスタット及び温度ヒューズ）も溶解欠落していたため、出火元を含め事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/07/17)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200900321 2009-1167 2009/07/05 （事故発生地） 東京都	扇風機 谷本実業株式会社 KL-408	テレビの上に置いて使用していた当該製品から出火して周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、当該製品のファンモーター巻線のレイヤーショートもしくはファンモーター用コンデンサーから出火したものと推定されるが、原因の特定はできなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/07/21)
A200900346 2009-1227 2009/07/21 （事故発生地） 山梨県	ポータブルＤＶＤプレーヤー 株式会社フィフティ DVT-750A	当該製品に付属している蓄電池に充電してしばらくすると、当該製品から出火し、周辺を焼損した。 （火災）	事故原因は、当該製品に装着されているバッテリーパックの電池セルが内部短絡し、異常発熱が生じて出火したものと考えられるが、電池セルの焼損が著しく、内部短絡が生じた原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/07/29)
A200900355 2009-1254 2009/07/26 （事故発生地） 大阪府	エアコン（窓用） 松下電器産業株式会社（現パナソニック株式会社） CW-165DS	当該製品を使用していたところ、当該製品から出火する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、本体隙間からエアコン内部に入り込んだ雨水や結露水等が、製品内部の制御基板に入り込んだことにより当該基板部分が絶縁不良となり、出火に至ったものと考えられる。	松下電器産業株式会社（現　パナソニック株式会社）では、当該機種を含む１２機種について平成１２年１２月４日からホームページに掲載し、注意喚起を行うとともに、無償点検・修理を実施している。	(受付:2009/07/31)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200900363 2009-1288 2009/07/19 （事故発生地） 愛媛県	パワーコンディショナ（太陽光発電システム用） オムロン株式会社（京セラ株式会社ブランド） PVN-402（京セラ株式会社ブランド）	当該製品から発煙し、周囲を汚損した。 （火災）	事故原因は、製品内部のフィルムコンデンサの絶縁性能のばらつきから雷など外部からの異常な高電圧や使用時の周辺温度等の影響により、当該部品がショートし、発煙に至ったものと考えられる。	オムロン株式会社では、当該製品を含む対象機種について、事故の再発防止を図るため、平成２３年１２月９日、プレスリリース、ホームページへの情報掲載及び使用者へのダイレクトメールを行うとともに、対象製品について無償点検・修理を実施する。また、京セラ株式会社も同時にホームページへの情報掲載を行う。	(受付:2009/08/03)
A200900416 2009-1461 2009/08/12 （事故発生地） 沖縄県	エアコン（室外機） シャープ株式会社 AU-198UB	エアコンを使用中、異臭がしたため確認すると、当該製品と配管の一部を焼損する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、長期使用（約２１年）により、当該製品の運転コンデンサーの接続端子部が発熱したため、接触不良が生じ、火災に至ったものと考えられるが、当該箇所の焼損が著しく、発熱した原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/08/24)
A200900417 2009-1455 2009/07/24 （事故発生地） 愛知県	扇風機 株式会社アピックスインターナショナル AFT-677RI	当該製品を使用していたところ、当該製品から出火する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、製品内部の電源コードが断線したため、製品内部から出火に至ったものと考えられるが、電源コードは塩化ビニルチューブで保護されており、容易に断線する構造ではないことから、原因の特定はできなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/08/25)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200900442 2009-1534 2009/08/23 （事故発生地） 神奈川県	エアコン（窓用） 株式会社トヨトミ TIW-187R	当該製品を使用し就寝中、製品内部からの出火と考えられる火災が発生し、消火する際に１名が軽傷を負った。当該製品及び周辺を焼損した。 (火災)	製品内部の右側下部にある制御基板上の電気部品が焼失しており、その付近から出火したものと推定されるが、原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/08/31)
A200900445 2009-1535 2009/08/21 （事故発生地） 神奈川県	扇風機 岩谷産業株式会社 IS-W201	当該製品を使用中、異臭がするとともに当該製品から出火し、当該製品及び周辺を焼損した。 (火災)	事故原因は、当該製品内部の溶融痕が認められたモーター巻線又はモーター部のコンデンサーから出火したものと考えられるが、いずれも焼損が著しく、原因の特定はできなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/08/31)
A200900477 2009-1679 2009/05/27 （事故発生地） 沖縄県	ポータブルＤＶＤプレイヤー 株式会社データバンクコマース（現　株式会社ブルーベース） YS-2731	当該製品を使用中、発煙し当該製品及び周辺を焼損した。 (火災)	事故原因は、当該製品に内蔵されたリチウムポリマー電池のセルの製造時に内部に異物等が混入したことから、内部短絡が生じて発火に至ったものと考えられるが、セル内部の電極箔の焼損が著しく、原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/09/11)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200900504 2009-1772 2009/09/11 （事故発生地） 大阪府	エアコン（窓用） 株式会社千石（小泉成器株式会社ブランド） KAW-1807（小泉成器株式会社ブランド）	当該製品を運転中、異臭がしたので確認すると、当該製品から発煙しており、製品を焼損した。 （火災）	事故原因は、当該製品の室外ファンモーターリード線コネクター部の金属端子間でトラッキングが発生し、出火したものと考えられるが、コネクター部分の焼損が著しいため、原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/09/24)
A200900514 2009-1774 2009/09/09 （事故発生地） 神奈川県	換気扇 エス・デイ・ケイ株式会社 CAF-180	当該製品から出火したと思われる火災が発生した。 （火災）	事故原因は、当該製品の内部配線接続部のカシメ不良またはコンデンサーの不良により、製品内部で異常発熱が生じて出火に至ったものと推定されるが、焼損が著しく確認できない部品があることから、原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/09/25)
A200900522 2009-1859 2009/09/15 （事故発生地） 三重県	エアコン 松下電器産業株式会社（現パナソニック株式会社） CS-K32F	火災が発生し、現場に当該製品があった。 （火災）	調査の結果、 ○当該製品の焼損は激しかった。 ○制御基板、ファンモーター、内部配線、電源コード、電源プラグ等、電気部品のほとんどが未回収であった。 ○事故当時、当該製品は使用されていなかった。 ●当該製品の焼損が著しく、回収できていない部品もあり、出火元も不明なため、製品起因か否かも含め事故原因の特定に至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/10/01)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200900534 2009-1913 2009/09/20 （事故発生地） 徳島県	扇風機 株式会社ドウシシャ FL-3021A	火災が発生し、現場に当該製品があった。 （火災）	事故原因は、当該製品内部の基板上の部品又は内部の電源配線から出火したものと考えられるが、台座部の焼損が著しく、原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/10/07)
A200900574 2009-2092 2009/10/11 （事故発生地） 広島県	電気冷蔵庫 株式会社日立製作所（現日立アプライアンス株式会社） R-463SFR	当該製品から発煙し、製品下部部品を焼損した。 （火災）	事故原因は、長期使用（約３０年間）により、当該製品背面下部の機械室内部にある配線の接続端子部の緩みや、端子ボディーからの可塑剤溶出等による端子部の腐食により、接触不良が生じて異常発熱し、出火に至ったものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/10/21)
A200900597 2009-2171 2009/10/18 （事故発生地） 神奈川県	エアコン ダイキン工業株式会社 CTXY25CFVP	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、当該製品の焼損が激しく、電気基板上の部品や内部配線の一部が確認できなかったことから原因の特定はできなかったが、火災状況から当該製品からの出火と考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/10/27)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事　故　通　知　内　容	事　故　原　因	再　発　防　止　措　置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200900602 2009-2163 2009/10/18 （事故発生地） 埼玉県	ノートパソコン ソニーイーエムシーエス株式会社 VGN-T92S	当該製品を使用後、しばらくすると、当該製品のバッテリー部が溶解し、周辺を焼損した。 （火災）	事故原因は、当該製品のバッテリー内部で短絡したことから、異常発熱し、焼損に至ったものと考えられるが、内部短絡の原因の特定には至らなかった。	ソニーイーエムシーエス株式会社では、平成１８年１１月７日よりバッテリーの自主交換プログラムを実施している。追加措置として、平成１９年４月　新聞に社告掲載、メールによる案内、平成２０年３月～４月　未交換のユーザ登録者へ電話による案内　、ＤＭによる案内を実施した。	(受付:2009/10/28)
A200900616 2009-2215 2009/10/23 （事故発生地） 東京都	蛍光灯照明器具 和光電気株式会社(現 株式会社LDF) IYD7800RELD（ＴＯＳＨＩＢＡブランド）	当該製品から異音とともに発煙・発火し、製品を焼損した。 （火災）	事故原因は、当該製品に搭載されているランプ寿命末期の保護回路の電解コンデンサーに部品不良があったことから、蛍光ランプの寿命末期に破裂し、飛び散った内容物が基板上で焼損したため、発煙・発火に至ったものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/11/04)
A200900654 2009-2393 2009/11/09 （事故発生地） 京都府	ノートパソコン NECｶｽﾀﾑﾃｸﾆｶ株式会社(現　NECﾊﾟｰｿﾅﾙﾌﾟﾛﾀﾞｸﾂ株式会社) PC-VA18SAG2BAHH	当該製品から発煙したため、バッテリーを外したところ、大きな音とともに破裂した。 （火災）	事故原因は、当該製品のバッテリーパックが長時間使用により劣化したことに加え、製造時にバッテリーパック内の８本のうち１本の電池セルに異物が混入したため、急激な異常発熱により内圧が上昇し、当該電池セルが破裂したものと考えられるが、当該電池セルの焼損が著しく、原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/11/18)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200900685 2009-2482 2009/11/03 （事故発生地） 大阪府	ノートパソコン 富士通株式会社 FMV-NF55X/D	火災が発生し、現場に当該製品があった。 （火災）	調査の結果、 ○当該製品は焼損が著しく、基板上の部品は全て焼失しており確認できなかった。 ○当該製品の残存部位（電池パックやＡＣアダプタ）に出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品に出火の痕跡は認められなかったが、焼損が著しく、回収できていない部品もあるため、製品起因か否かも含め事故原因の特定に至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/11/26)
A200900716 2009-2575 2009/11/03 （事故発生地） 東京都	テレビ（ブラウン管型） 三洋電機株式会社 C-14D3	当該製品の電源を入れたところ、異臭がし、当該製品の内部が焼損した。 （火災）	事故原因は、長年の使用（約１７年）により、トランジスタが劣化し、損傷・破壊までの間に抵抗に過電流が流れ、焼損したものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/12/02)
A200900724 2009-2582 2009/11/12 （事故発生地） 大阪府	電気カーペット 日本電熱株式会社 EM-E200	火災が発生し、当該製品及び周辺を焼損し、３名が軽傷を負った。 （火災）	調査の結果、 ○当該製品のコントローラー近傍及びヒーター中央部が一部焼失していたが、ヒーター中央部の畳の焼けは軽微であり、コントローラー基板に出火の痕跡は認められなかった。 ○当該製品の電源コードのプラグ側プロテクター部付近に溶融痕がみられ、断線部に屈曲の痕跡が認められた。 ●当該製品の電源コードの断線部に溶融痕が認められることから、断線部から出火した可能性があるが、溶融痕が一次痕か二次痕かは不明なため、製品起因か否かも含め事故原因の特定に至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/12/03)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200900743 2009-2661 2009/12/01 （事故発生地） 栃木県	電気冷蔵庫 松下冷機株式会社（現　パナソニック株式会社） NR-E36S1	当該製品から異臭がしたため、後部のカバーを開けると、部品が変形していた。 （火災）	事故原因は、当該製品のオーバーロードリレー端子部において接触不良による異常発熱が発生したか又は始動リレー端子間のトラッキングが発生したものと考えられるが、当該部分の焼損が著しく、原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/12/10)
A200900776 2009-2758 2009/04/18 （事故発生地） 神奈川県	食器洗い乾燥機（ビルトイン式） 松下電器産業株式会社(現パナソニック株式会社） ＴＤＷ-3000BP（タカラスタンダード株式会社ブランド）	当該製品から異臭とともに発火し、当該製品が焼損した。 （火災）	事故原因は、長期使用（約１５年）によりドアレバー固定部が破損したことでマイクロスイッチ端子部に外力が加わり、マイクロスイッチ端子部で接触不良が生じて異常発熱し、出火に至ったものと考えられる。なお、事故以前からドアレバーに支障があるにも関わらず継続使用されていたことも影響していると考えられる。	パナソニック株式会社では、当該機種を含む２０機種（他社ブランド含む）について平成２３年６月２日からホームページに掲載し、注意喚起を行うとともに、長期使用製品安全点検制度に基づく有償修理を実施している。	(受付:2009/12/18)
A200900790 2009-2794 2009/12/11 （事故発生地） 東京都	換気扇 ガデリウス株式会社 SIROC-T3/7-850705	当該製品のモーター部分から出火する火災が発生し、当該製品及び周辺を焼損した。 （火災）	事故原因は、当該製品のモーターの不具合により相間短絡が発生したことから、出火したものと推定されるが、相間短絡の原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/12/22)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200900804 2009-2976 2009/11/08 （事故発生地） 埼玉県	テレビチューナー（衛星放送用） 株式会社富士通ゼネラル ＢＳＴ－250	異臭がしていたため確認すると、当該製品から発煙しており、当該製品内部が焼損していた。 （火災）	事故原因は、長期使用（２０年間）により、当該製品の電解コンデンサーが劣化して電圧の制御ができなくなり、過電圧がかかってノイズフィルタが焼損したものと考えられる。	株式会社富士通ゼネラルは、事故の再発防止を図るため、平成２０年１１月２７日付けホームページにおいて当該製品を含む長期使用製品について、異常がある場合は使用を中止するよう注意喚起を行っている。	(受付:2009/12/25)
A200900837 2009-2982 2009/12/26 （事故発生地） 埼玉県	温水洗浄便座 日立化成工業株式会社（現株式会社ハウステック） HC-100	当該製品から発煙・発火する火災が発生した。当該製品が焼損し、周辺を汚損した。 （火災）	事故原因は、メイン基板から電解性成分が検出されたことから、長期使用（約２２年）によって発生した外郭の亀裂から当該液体（電解性）が侵入・付着し、メイン基板上で短絡したものと考えられるが、焼損が著しく亀裂が発生した原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/12/28)
A200900843 2009-3032 2009/12/22 （事故発生地） 京都府	ＩＨ調理器 株式会社永泰産業（株式会社テスコムブランド） TIH101（株式会社テスコムブランド）	当該製品から出火する火災が発生し、当該製品及び周辺が焼損した。 （火災）	事故原因は、当該製品のメイン基板からの出火と推定されるが、焼損が著しく、原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/01/04)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200900880 2009-3148 2009/12/08 （事故発生地） 千葉県	テレビ（ブラウン管型） 三菱電機株式会社 36W　-CZ10W	当該製品及び周辺が焼損する火災が発生した。 （火災）	調査の結果、 ○当該製品の電源スイッチを入れたままにしていたところ、焦げ臭いにおいがし、戻ってみると当該製品の裏側から火が出ていた。 ○当該製品は焼損が著しく、バックカバー底面を除いて外郭は焼失していた。 ○偏向ヨークコイルとつながるＣＲＴ基板が回収されていなかった。 ○偏向ヨークコイルのはんだ接続する端部に、配線が先細り状に細くなる異常や亜酸化銅が生じていた。 ○フライバックトランスの内部に異常は認められなかった。 ●当該製品の偏向ヨークコイルのはんだ接続する端部に異常が認められるが、当該製品の焼損が著しく、偏向ヨークコイルにつながるＣＲＴ基板は回収されていないため、製品起因か否かも含め事故原因の特定に至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/01/15)
A200900882 2009-3150 2010/01/05 （事故発生地） 東京都	電気温風機（セラミックファンヒーター） 森田電工株式会社（現　株式会社ユーイング） KC-125CS	当該製品が焼損し、周辺が汚損する火災が発生した。 （火災）	調査の結果、火災現場においては、当該製品のみ焼損していたことと、当該製品の転倒オフスイッチ周辺の焼損が著しく、スイッチ端子に接続されていたリード線が、接続端子近傍で断線し、その先端に溶融痕が認められたことから、当該スイッチ部から出火したものと考えられた。ただし、当該部品が焼失しており、原因を特定することができなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/01/15)
A200900895 2009-3206 2009/12/18 （事故発生地） 静岡県	電気マット アース・エコ・クラブ ナノ遠赤120	外出から帰宅したところ、当該製品から異臭と発煙が生じており、当該製品及び周辺を焼損した。 （火災）	事故原因は、当該製品の取扱説明書に「就寝中は製品を布団の外に出す」、「二つ折り禁止」等の記載がなかったことから、布団の中で長時間使用したため、ヒーターが異常発熱し、出火に至ったものと考えられる。	アース・エコ・クラブでは、事故の再発防止を図るため、事故発生後、当該製品全品について、回収を完了した。	(受付:2010/01/19)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200900896 2009-3207 2010/01/11 （事故発生地） 福岡県	エアコン（室外機） 東芝キャリア株式会社 RAS-2210AHL	当該製品が焼損する火災が発生した。 （火災）	調査の結果 ○当該品の圧縮機の端子が熱影響を受け最も変色し焼損 ○オーバーロードリレーから圧縮機に至る配線等に溶融痕が認められた ○オーバーロードリレーの可動接点及び固定接点の表面に荒れが発生 ○過去に当該品内部を修理・点検している痕跡がみられたが事業者系列の修理部門には当該品に関する修理履歴の記録がなかったため修理事業者は事業者系列外事業者であると推定 ●当該品の圧縮機接続端子部の接続不良が進行し熱影響を受けた内部配線が腐食断線するなどして発熱し周辺の可燃物が燃えたものと推定されるが接続端子部が接続不良になった原因は長期使用（約１８年）により製造時のわずかな接触不良が進行したものか設置後の修理・点検の際に接続端子に接続不良の状態となりその後の使用で進行したものかが不明なため製品起因か否かも含め事故原因の特定に至らず。 　なお修理を行った事業者ガ不明であるため修理を行った時期やその内容についても確認できなかった	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/01/19)
A200900914 2009-3256 2010/01/16 （事故発生地） 富山県	電気毛布 株式会社菱電王子製作所（現　三菱電機ホーム機器株式会社） SE-151A（三菱電機株式会社ブランド）	当該製品を使用中、当該製品から発煙し、当該製品及び周辺が焼損した。 （火災）	事故原因は、当該製品の長期保存（約４０年）により、発熱線がずれてループや捻れが生じたことから、接近した発熱線同士が局部的に過熱したため断線し、スパークが発生して出火に至ったものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/01/22)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200900920 2009-3378 2010/01/13 （事故発生地） 東京都	電気こたつ クレオ工業株式会社 NN8340	異臭がしたため確認すると、当該製品が焦げており、周辺が焼損した。 （火災）	事故原因は、ファンモーター巻線に製造不良があったため、当該巻線がレイヤーショートしたことで異常発熱し、巻線を覆っていた絶縁テープが溶融・焼損したことで、出火に至ったものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/01/25)
A200900932 2009-3379 2010/01/16 （事故発生地） 福島県	電気冷温風機 森田電工株式会社 MWH-305F	当該製品から電源を入れて、しばらくすると、当該製品から発煙し、焼損した。 （火災）	事故原因は、長期使用（約２３年）により、ファンモーター起動用コンデンサーが絶縁低下したため、コンデンサー内部で短絡し、発煙に至ったものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/01/27)
A200900969 2009-3524 2010/01/04 （事故発生地） 東京都	電子レンジ 大宇電子ジャパン株式会社（ＧＥブランド） JEI-631GVLG（ＧＥブランド）	当該製品で食品を加熱中、製品内部から発煙・出火し、当該製品が焼損し、周辺が汚損した。 （火災）	事故原因は、当該製品内部のドアスイッチまたは電源フィルター基板の接続端子のいずれかの接触不良により出火に至ったものと考えられるが、電源フィルター基板周辺の焼損が著しく確認できなかったことから原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/02/03)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事　故　通　知　内　容	事　故　原　因	再　発　防　止　措　置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200900975 2009-3531 2009/11/02 （事故発生地） 宮崎県	電気ストーブ（オイルヒーター） デロンギ・ジャパン株式会社 D091549ECF	当該製品を使用中、当該製品及び周辺が焼損する火災が発生した。 （火災）	調査の結果、 ○部屋を暖めるために当該製品の電源を入れたまま外出したところ、電源を入れてから約１５分後に火災が発生している。 ○当該製品の焼損が著しかった。 ○コントロール基板は回収されておらず、確認できなかった。 ○内部配線、オイルタンク、シーズヒーターに断線や溶融痕などの出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品の焼損が著しく、回収できていない部品もあり、出火元も不明なため、製品起因か否かも含め事故原因の特定に至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/02/05)
A200900977 2009-3552 2009/12/22 （事故発生地） 神奈川県	スチーマー（顔用） 株式会社オージーエヌ・ジャパン ES-0015(A-30)	当該製品を使用中、当該製品の水タンクが落下し、湯がこぼれ、１名が火傷を負った。 （重傷）	調査の結果、当該製品の取扱説明書に水タンクの取付方法に関する記載が無かったことから、水タンクを当該製品に確実に取り付けることができず、そのまま使用したため、水タンクが落下して湯がこぼれ、火傷を負ったものと考えられる。	株式会社オージーエヌ・ジャパンは当該製品の取扱説明書の記載内容の改善を図っている。具体的には、ビーカー取り付けに関する注意喚起及び取付方法の詳述な記載を行っている。なお、現在当該製品は平成２２年９月で販売を中止している。	(受付:2010/02/05)
A200901006 2009-3591 2010/02/04 （事故発生地） 新潟県	電気洗濯機 三洋電機株式会社 ATW-085P	当該製品を使用中、当該製品後部から発煙・出火し、当該製品及び周辺が焼損した。 （火災）	事故原因は、当該製品の洗濯用モーターのリード線が断線・短絡し、出火したものと推定されるが、リード線が断線・短絡した原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/02/10)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200901022 2009-3949 2010/02/03 （事故発生地） 神奈川県	電気ストーブ（オイルヒーター） 日本ゼネラル･アプライアンス株式会社（KAZブランド） KQ131HR（KAZブランド）	当該製品を使用中、異音とともに発煙し、当該製品の基盤の一部が焼損した。 （火災）	事故原因は、操作パネル内の基板上のリレー取付部にハンダ不良があったため、接触不良が生じて発熱し、出火に至ったものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/02/15)
A200901050 2009-4029 2010/02/07 （事故発生地） 広島県	テレビ（ブラウン管型） ソニーイーエムシーエス株式会社 KV-28DA55	火災が発生し、現場に当該製品があった。 （火災）	調査の結果、 ○当該製品を視聴していたところ、当該製品の後側から炎が出てきた。 ○当該製品は焼損が著しく、回収されていない部品が多かった。 ○フライバックトランスの内部に、発熱した痕跡は認められなかった。 ○電源コードは、途中で断線していたが、断線部に溶融痕などの異常は認められなかった。 ○電源ヒューズ（７Ａ）は断線していなかった。 ●当該製品の焼損が著しく、回収できていない部品もあるため、製品起因か否かも含め事故原因の特定に至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/02/22)
A200901070 2009-4071 2009/11/17 （事故発生地） 東京都	電気ストーブ 株式会社千石 KDH-0811	当該製品を使用したまま外出して戻ったところ、停電していたため確認すると、当該製品及び周辺が焼損していた。 （火災）	調査の結果、 ○当該製品のスイッチ部の焼損が著しく、可動接点板の一部を残して回収できていない。 ○内部配線の端子等、焼損状況が確認できなかった部品があった。 ○事故発生時の詳細な状況は不明である。 ●当該製品のスイッチ部周辺から発火した可能性が考えられるが、回収できていない部品もあり、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かも含め事故原因の特定に至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/02/25)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200901160 2009-4340 2010/03/19 （事故発生地）東京都	テレビ（ブラウン管型） 株式会社日立製作所 C25-FV100	当該製品で視聴中、当該製品から発煙した。当該製品内部の電解コンデンサーの不具合により安全弁が開き、電解液が気化したと考えられる。 （火災）	事故原因は、長年使用（約１８年）により、当該製品の電解コンデンサーが劣化し、電解コンデンサーの安全弁が作動して、内部の電解液が気化して蒸気が漏れたものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/03/26)
A201000010 2010-0194 2010/03/20 （事故発生地）大阪府	テレビ（ブラウン管型） 株式会社 東芝 25S77	当該製品を視聴中、当該製品から発煙し、異臭がした。 （火災）	事故原因は、当該製品の電源回路に使用されていた電解コンデンサーに不具合があったため、コンデンサー内部で異常発熱して内圧が上昇し、安全弁が作動した際に、噴出した電解液の蒸気が発煙したように見えたものと考えられる。	株式会社東芝では、事故の再発防止を図るため、２００４年１月１９日からリコールを開始して無償点検・修理を実施しており、当該機種も平成２２年６月２４日にリコール対象機種に追加した。	(受付:2010/04/02)
A201000031 2010-0270 2010/03/28 （事故発生地）埼玉県	電気洗濯機 シャープ株式会社 ES-U38A	当該製品を使用中、当該製品が焼損する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、当該製品の脱水槽を制御するソレノイド部品のうち、プランジャーが正常に作動しなかったことから、プランジャーを動かすための吸引コイルが過負荷となって異常発熱したため、ソレノイド部品から出火したものと考えられるが、プランジャーが正常に作動しなかった原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/04/09)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事　故　通　知　内　容	事　故　原　因	再　発　防　止　措　置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201000040 2010-0297 2010/04/01 （事故発生地） 福岡県	布団乾燥機 三菱電機ホーム機器株式会社 AD-E200	建物が全焼し、１名が負傷する火災が発生し、現場に当該製品があった。 （火災）	調査の結果、 ○当該製品の焼損が著しく、外郭樹脂の大部分は溶融していた。 ○残存するモーター部、ヒーター線及び電源コードを調べたところ、電源コードの一部とみられる溶融痕があったが、解析の結果は二次痕であり、モーター部及びヒーター線には溶融痕がなく、それらから出火した痕跡は認められなかった。 ○サーモスタット、ヒーター用温度ヒューズ及び電源プラグが現場から回収されておらず、確認できなかった。 ●当該製品の焼損が著しく、回収できていない部品があるため、製品起因か否かも含め事故原因の特定に至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/04/12)
A201000044 2010-0319 2010/04/03 （事故発生地） 大阪府	電子レンジ 三洋電機コンシューマエレクトロニクス株式会社 EMO-VC1	当該製品を使用中、当該製品庫内から出火する火災が発生し、当該製品が焼損した。 （火災）	事故原因は、長期使用（約１８年）により、本体内部にホコリが多量に堆積し、冷却不足の状態で繰り返し使用されたことから、高圧トランス端子部のはんだ部分にクラックを生じたため、リーク放電により周辺の樹脂が溶融・出火したものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/04/15)
A201000060 2010-0352 2010/04/03 （事故発生地） 岡山県	電気ストーブ 森田電工株式会社(現 株式会社ユーイング) MS-S22RE4	当該製品及び周辺が焼損する火災が発生した。 （火災）	調査の結果、 ○事故現場の状況から、出火元は当該製品である。 ○当該製品は焼損が著しく、本体上部にある操作基板は回収されていなかった。 ○電源コードは、製品内部のブッシング部近くで溶断しており、断線箇所には溶融痕がみられた。 ○ヒーターガードに繊維の付着物がみられたが、当該製品が倒れる前に付着したのか特定できなかった。 ●当該製品の焼損が著しく、溶融痕が一次痕か二次痕か不明であり、回収されていない部品もあるため、製品起因か否かも含め事故原因の特定に至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/04/19)

製品区分：　01.家庭用電気製品

No.0023

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201000067 2010-0349 2010/04/11 （事故発生地） 東京都	ＡＣアダプター（インターホン用） アイホン株式会社 PS-12S	当該製品から異臭がし、当該製品内部の部品に変色等の発熱した痕跡が見られた。 （火災）	事故原因は、長期使用（約３７年）により、ダイオードブリッジが故障したため、電源回路に過電流が流れて、電源トランスが発熱し、異臭がしたものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。なお、アイホン株式会社では、インターホン製品全般において経年劣化によるシステムダウン等を回避するため、一般住宅用のものは設置後１０年を目安に交換することを呼びかけている。	(受付:2010/04/21)
A201000110 2010-0637 2010/04/21 （事故発生地） 京都府	電気衣類乾燥機 東芝ホームアプライアンス株式会社 ED-D252	当該製品を使用中、異臭がしたため確認すると、当該製品背面部から出火しており、当該製品及び周辺が焼損した。 （火災）	事故原因は、長期使用（約２１年）により、ＰＴＣ素子と電極との固定に緩みが生じてＰＴＣ素子に施された銀メッキが部分的に剥がれたため接触部で異常発熱したか、ヒーターの電極間にホコリが堆積していたためトラッキング現象が発生したものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/04/30)
A201000154 2010-0910 2010/05/01 （事故発生地） 山口県	電気冷蔵庫 松下冷機株式会社（現　パナソニック株式会社） NR-DL35EA	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	調査の結果、 ○当該製品は、最上段の冷蔵室背面から天板にかけての焼損が著しかった。 ○最上部冷蔵室背面には、制御基板及び圧縮機駆動用モーターの始動コンデンサ並びに運転コンデンサが実装されていたと思われるが、制御基板に実装された電源トランス以外は回収されておらず、確認できなかった。 ○圧縮機及び圧縮機室冷却用ファンモーターに異常は認められなかった。 ○回収された電源コードや機内配線及び電装品に、溶融痕などの出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品の焼損が著しい箇所にある部品が回収されておらず、製品起因か否かも含め事故原因の特定に至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/05/19)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201000176 2010-0971 2010/05/18 （事故発生地） 大阪府	照明器具 トヨスター株式会社（大光電機株式会社ブランド） DP-36768（大光電機株式会社ブランド）	当該製品及び周辺が焼損する火災が発生した。 （火災）	調査の結果、 ○飲食店に設置された照明器具のスイッチを入れたところ、スイッチボックス内にある当該製品が焼損した。 ○回収された当該製品のうち、樹脂ケースや基板、ケーブル接続部等の焼失が認められた。 ○ケーブルの差し込み不足や基板のはんだ付け不良などを想定した実験を行ったが、発火に至らず、事故を再現できなかった。 ●当該製品の焼損が著しいため、製品起因か否かも含め事故原因の特定に至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/05/28)
A201000179 2010-0973 2010/05/23 （事故発生地） 北海道	テレビ（ブラウン管型） 船井電機株式会社 BV-140	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	調査の結果、当該製品内部の基板部の焼損が著しく、基板部から出火したものと考えられるが、基板の焼損が著しく、一部が焼失していたため、原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/05/28)
A201000192 2010-1027 2010/05/17 （事故発生地） 大阪府	コンセント付洗面化粧台 タカラスタンダード株式会社 SCL-75M	当該製品のコンセントにドライヤーを接続して使用中、当該製品から発煙する火災が発生した。 （火災）	調査の結果、当該製品の内部端子台のねじの緩みにより電源コードとの接続部が異常発熱したものと考えられるが、端子台のねじが緩んだ原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/06/03)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事　故　通　知　内　容	事　故　原　因	再　発　防　止　措　置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201000218 2010-1125 2010/06/06 （事故発生地） 島根県	照明器具 中野電器株式会社 BS-0263(小泉産業(株)ﾋｶﾘ照明器具ﾌﾞﾗﾝﾄﾞ)(現　ｺｲｽﾞﾐ照明(株))	当該製品から発煙する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、当該製品の長期使用（約２８年間）により、円形蛍光ランプ３２用安定器の一次側コイルが絶縁劣化したため、レイヤショートが生じて異常発熱し、発煙に至ったものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/06/15)
A201000228 2010-1159 2010/06/09 （事故発生地） 埼玉県	ＩＨ調理器 松下電器産業株式会社（現　パナソニック株式会社） CH-H6C	当該製品で調理後、当該製品から発煙する火災が発生した。現在、原因を調査中。 （火災）	事故原因は、制御基板に使用されているノイズ抑制用フィルムコンデンサーに不具合があったため絶縁破壊を起こし内部短絡したことにより発煙に至ったものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/06/16)
A201000242 2010-1203 2010/06/16 （事故発生地） 石川県	電気ストーブ（パネルヒーター） 象印マホービン株式会社 PHA-1200	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、長期使用（約３７年）により、電源コードの芯線が半断線となり、スパークが生じて、出火に至ったものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/06/22)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201000256 2010-1235 2010/06/18 （事故発生地） 東京都	電気冷蔵庫 シャープ株式会社 SJ-WA35C	当該製品から発煙する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、当該製品の圧縮機用始動リレーの内部素子（ＰＴＣ素子）が破損していたことから、ＰＴＣ素子の部品不良によって過電流が流れたため、異常発熱し、焼損に至ったものと考えられる。	シャープ株式会社では、事故の再発防止を図るため、平成２３年５月３０日から同社ホームページに注意喚起のお知らせを掲載し、無償点検・部品交換を実施している。	(受付:2010/06/25)
A201000292 2010-1361 2010/06/26 （事故発生地） 奈良県	扇風機 東芝ホームテクノ株式会社 S-35DC	当該製品及び周辺が焼損する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、長期使用（約３８年）により、電源コードが繰り返し屈曲を受けて損傷し短絡したか、もしくはモーター用コンデンサーが劣化し出火に至ったものと考えられる。　なお、通電してもファンが回らないで状態で使用を継続したことも事故発生に影響したものと考えられる。	東芝ホームテクノ株式会社では、同社ホームページに長年ご使用の扇風機についてのお知らせとお願いを掲載し、注意喚起を実施している。	(受付:2010/07/08)
A201000307 2010-1425 2010/07/04 （事故発生地） 和歌山県	電気洗濯機 シャープ株式会社 ES-A80EC	異音と共に当該製品から発煙する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、当該製品内部基板上のＩＣが損傷したことにより過電流が流れ、ヒューズ抵抗が溶断する際、基板に使用されている防湿剤が溶融して発煙したものと考えられるが、ＩＣが損傷した原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/07/13)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201000347 2010-1536 2010/07/14 （事故発生地） 京都府	エアコン 三洋電機株式会社 SAP-259VR	室内を焼損する火災が発生し、現場に当該製品があった。 （火災）	事故原因は、当該製品の端子盤の電源配線端子間でスパークが発生し出火に至ったものと考えられるが、焼損が著しく、原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/07/23)
A201000366 2010-1859 2010/07/22 （事故発生地） 石川県	エアコン ダイキン工業株式会社 F22CTDS-W	当該製品から出火する火災が発生し、当該製品が焼損、周辺を汚損した。 （火災）	事故原因は、当該製品内部のファンモーターコネクター部から出火したものと考えられるが、当該箇所の焼損が著しく、原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/07/30)
A201000367 2010-1865 2010/07/15 （事故発生地） 岡山県	除湿乾燥機 松下エコシステムズ株式会社（現　ﾊﾟﾅｿﾆｯｸｴｺｼｽﾃﾑｽﾞ(株)） F-Y100Z3	建物が焼損する火災が発生し、現場に当該製品があった。 （火災）	調査の結果、 ○生乾きの衣類を乾燥させるため、当該製品を運転していたところ、当該製品を置いていた部屋から出火した。 ○当該製品の高圧ユニット、メイン回路基板、電源回路基板、内部のリード線等の焼損が著しく、回収できていない部品があった。 ○ヒーターユニットのリード線端子部の一部や内部配線に溶融痕が認められた。 ○当該製品以外の火源については、特定できなかった。 ●当該製品の焼損が著しく、回収できていない部品があることや、出火元が不明なため、製品起因か否かも含め事故原因の特定に至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/07/30)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201000391 2010-1954 2010/07/18 （事故発生地） 高知県	エアコン 三洋電機株式会社 SAP-224AVR	当該製品から出火する火災が発生し、当該製品が焼損した。 （火災）	事故原因は、当該製品の電源基板上の電解コンデンサーが発熱して内部の電解液が気化し、内圧が高くなったため、防爆弁が動作し発煙（蒸気発生）に至ったものと推定されるが、コンデンサーが発熱した原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/08/05)
A201000465 2010-2333 2010/08/17 （事故発生地） 兵庫県	換気扇 三菱電機株式会社 WF-850AC	異臭及び発煙がしたため確認すると、当該製品から出火する火災が発生しており、当該製品が焼損し、周辺が汚損した。 （火災）	事故原因は、当該製品は、長期使用（約３４年）により、ファンモーターの起動用コンデンサーが絶縁劣化し、コンデンサー内部で短絡が生じたため、出火したものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/08/30)
A201000479 2010-2213 2010/08/22 （事故発生地） 大阪府	扇風機 株式会社オーム電機 OTK-30	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	調査の結果、 ○火災現場には、当該製品以外に、ろうそくや線香など、出火元になりえる製品があった。 ○当該製品は焼損が著しく、樹脂部、電源コードや内部配線の被覆、コンデンサー、スイッチ部が焼失していた。 ○残存する電気部品に、溶融痕などの出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品の残存部位に発火の痕跡は認められなかったが、一部の部品が回収されていないことや、出火元が不明なため、製品起因か否かも含め事故原因の特定に至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/09/02)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201000484 2010-2361 2010/08/20 （事故発生地） 長崎県	換気扇 東芝キヤリア株式会社 不明	当該製品を運転させたまま就寝したところ、当該製品及び周辺が焼損する火災が発生した。 (火災)	事故原因は、長期使用（約３５年）により、モーター用コンデンサーが絶縁劣化し、内部短絡したためスパークが発生し、出火に至ったものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/09/03)
A201000500 2010-2431 2010/08/30 （事故発生地） 東京都	食器洗い乾燥機（ビルトイン式） リンナイ株式会社 RKW-454A(A)（ナスステンレス(株)製システムキッチンに組み込まれたもの）	当該製品の扉を開けたところ、当該製品の水槽右後方部より出火する火災が発生し、当該製品が焼損した。 (火災)	調査の結果、当該製品の焼損部の裏面では、電源線が焼損、断線し、水槽裏面に取り付けられている洗浄ポンプの取付金具にスパーク痕が認められたことから、事故原因は、当該製品のドアを開閉した際に、連動して伸縮するようになっていた電源線が洗浄ポンプの取付金具と接触し、電源線の被覆が損傷したため、取付金具で短絡し、発煙に至ったものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。なお、事業者は平成１３年１２月から取付金具にテープを貼付する対策を実施している。	(受付:2010/09/09)
A201000537 2010-2646 2010/09/12 （事故発生地） 福島県	エアコン（室外機） 株式会社コロナ CO-S226	エアコンが停止し異臭がしたため確認すると、当該製品から出火する火災が発生しており、当該製品が焼損した。 (火災)	調査の結果、当該製品のコンプレッサー用始動コンデンサーの焼損が著しく、コンデンサー内部の詳細が確認できないため、原因の特定には至らなかったが、当該製品のみが焼損する事故であることから、製品内部から出火に至ったものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/09/22)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事　故　通　知　内　容	事　故　原　因	再　発　防　止　措　置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201000540 2010-2641 2010/09/01 （事故発生地） 熊本県	扇風機 東芝ホームテクノ株式会社 W-30SH	当該製品から出火する火災が発生し、当該製品及び周辺が焼損した。 （火災）	事故原因は、火災現場の状況から当該製品から出火したものと推定されるが、焼損が著しく、原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/09/24)
A201000543 2010-2686 2010/09/12 （事故発生地） 和歌山県	エアコン（室外機） シャープ株式会社 AU-185SS	当該製品から出火する火災が発生し、当該製品が焼損した。 （火災）	事故原因は、当該製品のコンプレッサーリード線の断線・欠損部分で半断線が生じた、もしくは運転コンデンサーの接続端子部で接触不良が生じ、異常発熱したものと考えられるが、半断線や接触不良が生じた原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/09/24)
A201000561 2010-2718 2010/09/21 （事故発生地） 東京都	電気洗濯乾燥機 三洋電機株式会社 AWD-AQS3	当該製品を使用中、異音がしたため確認すると、当該製品後方から発煙する火災が発生しており、当該製品が焼損した。 （火災）	事故原因は、当該製品内部基板上のモーター駆動用ＩＣが破損したことから、関連部品に過電流又は過電圧が印加されたため発火し、部品とその周辺が焦げ、発煙に至ったものと考えられるが、モーター駆動用ＩＣが破壊した原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/09/30)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201000567 2010-2749 2010/09/23 （事故発生地） 千葉県	電子レンジ シャープ株式会社 RE-F770	当該製品を使用中、当該製品右側から発煙・出火する火災が発生し、当該製品が焼損した。 （火災）	事故原因は、長期使用（約１９年）により、リレー端子の接続部にはんだクラック等の異常が生じたため接触不良となり、発煙・出火したものと考えられるが、リレー端子の接続部が焼損していることから、原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/10/04)
A201000579 2010-2772 2010/09/25 （事故発生地） 大阪府	電子レンジ シャープ株式会社 R-225	当該製品から異臭がしたため確認すると、当該製品の庫内右側上部から発煙・出火する火災が発生しており、当該製品が焼損した。 （火災）	事故原因は、当該製品の上ヒーター切替スイッチの接点部が異常発熱したものと推定されるが、事故発生直前の使用状態では通常通電されない部品で異常が発生していることから、事故発生に至るメカニズムが不明であり、原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/10/08)
A201000593 2010-2740 2010/09/26 （事故発生地） 東京都	電子レンジ 東芝コンシューママーケティング株式会社（現　東芝ﾎｰﾑﾃｸﾉ(株)） ER-B9	当該製品を使用中、当該製品から異臭と異音とともに発煙する火災が発生し、当該製品の一部が焼損した。 （火災）	事故原因は、当該製品の冷却用ファンモーター巻線にレイヤーショートが確認でき、冷却用ファンモーターの制御用部品が焼損していることから、製品に起因する事故と考えられるが、部品が焼損したメカニズムが不明であり、原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/10/18)

製品区分：　01.家庭用電気製品

No.0032

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201000597 2010-2858 2010/10/01 （事故発生地） 兵庫県	蛍光ランプ コーナン商事株式会社 ワークランプ替球　LFX-30-035	洗面所の照明器具に当該製品を取り付け使用していたところ、当該製品が溶損して落下し、周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、当該製品内部の基板から出火したものと推定されるが、基板周辺の焼損が著しく、原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/10/20)
A201000603 2010-2895 2010/09/17 （事故発生地） 千葉県	蛍光ランプ 東芝ライテック株式会社 EFA25EL/21-R	照明器具に当該製品を取り付けて使用していたところ、当該製品から発煙する火災が発生し、当該製品が焼損した。 （火災）	事故原因は、当該製品の寿命末期に点灯回路の電気部品であるＦＥＴ（電界効果トランジスター）に過電流が流れ、ＦＥＴがショートモードで破壊したため異常発熱し、焼損したものである。ＦＥＴは製品ばらつきによってショートモードで破壊する場合があり、その際には、パターンヒューズによって通電を停止する回路設計であったが、パターンヒューズの溶断電流が大きかったため、過電流が継続したものと考えられる。	東芝ライテック株式会社は、事故の再発防止を図るため、平成２２年６月生産分より、回路に電流ヒューズを追加した。	(受付:2010/10/22)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201000604 2010-2924 2010/10/14 （事故発生地） 埼玉県	携帯電話機 (株)カシオ日立モバイルコミュニケーションズ（現NECカシオモバイルコミュニケーションズ(株)） EXILIMケータイW53CA（カシオ計算機ブランド）	充電中の当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、現在、調査中であるが、以下の①から③の複合要因により事故に至ったものと考えられる。①電池パックが外部からの強い力を受け、キズやヘコミがつき、内部のセパレータ（絶縁シート）に損傷が発生②充放電を繰り返すことで内部ショート③長期使用により電池内部の化合物が相当量析出	株式会社カシオ日立モバイルコミュニケーションズ（現ＮＥＣカシオモバイルコミュニケーションズ株式会社）、電気通信事業者のＫＤＤＩ株式会社及び沖縄セルラー電話株式会社は、事故の再発防止を図るため、平成２３年９月３０日、プレス公表を行うとともにホームページへの情報掲載、携帯電話機購入者へダイレクトメール・交換品（電池パック）を１０月下旬から順次発送し、使用上の注意を呼び掛けるとともに、平成２３年９月３０日から、対象製品（電池パック）について無償交換を実施する。なお、株式会社カシオ日立モバイルコミュニケーションズ（現ＮＥＣカシオモバイルコミュニケーションズ株式会社）が製造した日立コンシューマエレクトロニクスブランドの携帯電話機に搭載された日立コンシューマエレクトロニクス株式会社製の電池パックについても、類似のものであるため同時にリコールを実施する。	(受付:2010/10/25)
A201000713 2010-3207 2010/11/19 （事故発生地） 大阪府	空気清浄機 ダイキン工業株式会社 ACM75G-W	当該製品から発煙・出火する火災が発生し、当該製品及び周辺が焼損した。 （火災）	事故原因は、当該製品のファンモーターリード線及び電源コードに溶融痕が認められることから、製品内部から出火したものと考えられるが、焼損が著しく、原因の特定に至らなかった。	ダイキン工業株式会社では、平成２２年４月９日、プレスリリースを行い、使用者に周知し、対象製品について、平成２２年４月１０日から無償で点検・修理を実施している。	(受付:2010/11/25)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201000740 2010-3289 2010/11/21 （事故発生地）和歌山県	エアコン 三菱電機株式会社 MSZ-G225	当該製品の設置してある部屋から異臭がしたため確認すると、当該製品の基板の一部が焦げていた。 （火災）	事故原因は、当該製品内の電解コンデンサーの封口ゴムが経年劣化したことから、電解液が蒸発し内部抵抗が増大したため、ツェナーダイオード及び三端子レギュレーターへの電流が増加し、異常発熱により異臭が発生したものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/12/06)
A201000760 2010-3371 2010/12/02 （事故発生地）東京都	電気冷蔵庫 シャープ株式会社 SJ-E35KC-H	当該製品から異音と異臭がしたため確認すると、当該製品背面部の内部部品の一部が焦げていた。 （火災）	事故原因は、当該製品の圧縮機用始動リレーの内部素子（ＰＴＣ素子）が破損していたことから、ＰＴＣ素子の部品不良によって過電流が流れたため、異常発熱し、焼損に至ったものと考えられる。	シャープ株式会社では、事故の再発防止を図るため、平成２３年５月３０日から同社ホームページに注意喚起のお知らせを掲載し、無償点検・部品交換を実施している。	(受付:2010/12/14)
A201000827 2010-3778 2011/01/02 （事故発生地）千葉県	電気冷蔵庫 シャープ株式会社 SJ-WA35C-H	当該製品の内部部品が焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、当該製品の圧縮機用始動リレーの内部素子（ＰＴＣ素子）が破損していたことから、ＰＴＣ素子の部品不良によって過電流が流れたため、異常発熱し、焼損に至ったものと考えられる。	シャープ株式会社では、事故の再発防止を図るため、平成２３年５月３０日から同社ホームページに注意喚起のお知らせを掲載し、無償点検・部品交換を実施している。	(受付:2011/01/12)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201000891 2010-4000 2011/01/15 （事故発生地） 神奈川県	電子レンジ シャープ株式会社 AX-M1	当該製品を使用して電子レンジ加熱式湯たんぽを加熱中、当該製品から発煙する火災が発生し、内部部品が焼損した。 （火災）	事故原因は、当該製品のマグネトロンに不具合があったことに加え、付属の角皿を使用したことでマグネトロンが過負荷となって異常発熱した影響で高圧トランスも異常発熱し、発煙、焼損したものと考えられる。なお、取扱説明書には、付属している角皿をレンジ加熱に使用すると火花が出て製品を傷める旨、記載されている。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2011/01/27)
A201000936 2010-4242 2011/02/05 （事故発生地） 茨城県	空気清浄機 ダイキン工業株式会社 MCK65KK-W	当該製品から出火する火災が発生し、当該製品が焼損、周辺が汚損した。 （火災）	事故原因は、当該製品のファンモーター内部基板の電子部品に不具合が生じたため短絡電流が流れ、基板上の電子部品が発熱し、出火に至ったものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2011/02/08)
A201001012 2010-4497 2011/02/07 （事故発生地） 埼玉県	蛍光ランプ 東芝ライテック株式会社 EFA25EL/21-R	当該製品を点灯中、異臭がしたため確認すると、当該製品及び周辺が焼損する火災が発生していた。 （火災）	当該製品の寿命末期に点灯回路の電気部品であるＦＥＴ（電界効果トランジスター　）に過電流が流れ、ＦＥＴがショートモードで破壊したため異常発熱し、焼損したものである。ＦＥＴは製品ばらつきによってショートモードで破壊する場合があり、その際には、パターンヒューズによって通電を停止する回路設計であったが、パターンヒューズの溶断電流が大きかったため、過電流が継続したものと考えられる。さらに、当該製品を取り付けていた照明器具が不適切な施工により、紙の断熱材が近接していたため、断熱材の紙が過熱され出火に至ったものと推定される。なお、当該製品のパッケージには、「断熱材施工器具には使用しない」旨、また、当該製品を取り付けていた照明器具の施工説明書には、「断熱材、防音材をかぶせた状態で使用しない。過熱による火災の原因になる。」旨、記載されている。	東芝ライテック株式会社は、事故の再発防止を図るため、平成２２年６月生産分より、回路に電流ヒューズを追加した。	(受付:2011/02/28)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事　故　通　知　内　容	事　故　原　因	再　発　防　止　措　置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201001057 2010-4597 2011/03/01 （事故発生地） 佐賀県	加湿器 吉井電気株式会社 ASK-233	当該製品を使用中、当該製品のスイッチ部周辺から火花が生じる火災が発生し、当該製品が焼損した。 （火災）	事故原因は、当該製品の表示灯基板において必要な絶縁距離が確保されていないことから、当該部分が短絡し出火に至ったものと考えられる。	吉井電気株式会社は、事故の再発防止を図るため、平成２３年８月２６日、同社ホームページに情報を掲載し、平成２３年９月１日から販売店を通じて判明している購入者へのダイレクトメール発送や販売店での店頭告知を行うとともに対象製品について無償点検・修理（基板交換）を実施。	(受付:2011/03/09)
A201001096 2010-4723 2011/03/10 （事故発生地） 千葉県	電気洗濯機 シャープ株式会社 ES-AG70D	当該製品を使用中、ブレーカーが作動したため確認すると、当該製品及び周辺が焼損する火災が発生していた。 （火災）	事故原因は、当該製品のクラッチソレノイドのリード線の結束部分に局部的なストレスが加わったことと、運転中の振動が重なり、リード線が断線し出火に至ったものと考えられる。なお、使用者が複数回のエラーが発生後も繰り返し使用していたことも事故発生に影響したものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2011/03/17)
A201100134 2011-0516 2011/05/11 （事故発生地） 東京都	テレビ（ブラウン管型） ソニーイーエムシーエス株式会社 KV-29DS65	当該製品を使用中、当該製品から出火する火災が発生し、当該製品が焼損した。 （火災）	事故原因は、当該製品の内部基板上に使用されているフィルムコンデンサーに不具合があったことから、フィルムコンデンサー内部で絶縁低下が生じて短絡したため、異常発熱し、焼損に至ったものと推定される。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2011/05/20)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201100165 2011-0617 2011/05/24 （事故発生地） 東京都	オーブントースター 象印マホービン株式会社 ET-MA70型	当該製品を使用中、異音がしたため確認すると、当該製品から発煙する火災が発生しており、当該製品が焼損した。 （火災）	事故原因は、当該製品の下ヒーターに接続される電源コードの丸形圧着端子にカシメ不良があったため、接触不良により異常発熱し、断線してスパークが生じたものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2011/06/03)
A201100179 2011-0674 2011/05/31 （事故発生地） 東京都	電気冷蔵庫 シャープ株式会社 SJ-E30B	発煙に気付き確認すると、当該製品の内部部品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生していた。 （火災）	事故原因は、当該製品の圧縮機用始動リレーの内部素子（ＰＴＣ素子）が破損していたことから、ＰＴＣ素子の部品不良によって過電流が流れたため、異常発熱し、焼損に至ったものと考えられる。	シャープ株式会社では、事故の再発防止を図るため、平成２３年５月３０日から同社ホームページに注意喚起のお知らせを掲載し、無償点検・部品交換を実施している。	(受付:2011/06/10)
A201100206 2011-0781 2011/06/05 （事故発生地） 神奈川県	ウォーターサーバー 株式会社トーエル YCH-720W	当該製品を使用中、異臭がしたため確認すると、当該製品の内部部品を焼損する火災が発生していた。 （火災）	事故原因は、当該製品の温度調整装置からの出火と推定されるが、温度調整装置の焼損が著しく、原因の特定には至らなかった。	株式会社トーエルは、自社レンタル品の使用者に対して、平成２３年６月９日（木）から電話連絡を行うとともに、平成２３年６月２８日（火）から自社ホームページへ当該情報の掲載を行い、当該製品の使用中止、回収と無償交換を呼び掛けている。	(受付:2011/06/23)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201100216 2011-0808 2011/03/19 （事故発生地） 福岡県	コンセント付洗面化粧台 TOTOハイリビング株式会社 LMJ951B3H	発煙に気付き確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。 （火災）	調査の結果、当該製品の内部配線に溶融痕が認められることから、製品内部から出火したものと考えられるが、当該製品の焼損が著しいことから、確認できない部品も多く、原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2011/06/27)
A201100222 2011-0805 2011/06/19 （事故発生地） 東京都	電気冷蔵庫 シャープ株式会社 SJ-23B-H	異臭がしたため確認すると、当該製品から発煙し、当該製品の内部部品を焼損する火災が発生していた。 （火災）	事故原因は、当該製品の圧縮機用始動リレーの内部素子（ＰＴＣ素子）が破損していたことから、ＰＴＣ素子の部品不良によって過電流が流れたため、異常発熱し、焼損に至ったものと考えられる。	シャープ株式会社では、事故の再発防止を図るため、平成２３年５月３０日から同社ホームページに注意喚起のお知らせを掲載し、無償点検・部品交換を実施している。	(受付:2011/06/29)
A201100258 2011-1502 2011/06/30 （事故発生地） 香川県	パワーコンディショナ（太陽光発電システム用） オムロン株式会社（京セラ株式会社ブランド） PVN-402（京セラ株式会社ブランド）	当該製品から発煙し、当該製品を焼損、周辺を汚損する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、製品内部のフィルムコンデンサの絶縁性能のばらつきから雷など外部からの異常な高電圧や使用時の周辺温度等の影響により、当該部品がショートし、発煙に至ったものと考えられる。	オムロン株式会社では、当該製品を含む対象機種について、事故の再発防止を図るため、平成２３年１２月９日、プレスリリース、ホームページへの情報掲載及び使用者へのダイレクトメールを行うとともに、対象製品について無償点検・修理を実施する。また、京セラ株式会社も同時にホームページへの情報掲載を行う。	(受付:2011/07/11)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201100340 2011-1871 2011/08/08 （事故発生地） 愛知県	エアコン 東芝キヤリア株式会社 RAS-406LDR	当該製品を使用中、当該製品から発煙し、当該製品を焼損する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、当該製品のファンモーターのリード線接続部分に、エアコン洗浄液等の電気を通しやすい物質が付着し、さらに当該製品内部で発生した結露がリード線接続部分に回りこんだことによって、トラッキング現象が生じ、発煙に至ったものと考えられる。	東芝キヤリア株式会社は、当該製品を含む対象機種について、事故の再発防止を図るため、平成１６年８月２０日より新聞社告を掲載するとともに、新聞折り込みチラシ、交通広告（電車内）等の注意喚起を行い、さらに、平成２３年度においても、全国自治体で広報誌への掲載を行い、対象製品の無償改修を呼び掛けている。	(受付:2011/08/11)
A201100346 2011-1872 2011/08/05 （事故発生地） 神奈川県	電気こんろ 松下電器産業株式会社（現パナソニック株式会社） NK-1102（松下電工（現ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ）製ﾐﾆｷｯﾁﾝ｢GG7475｣に組ﾐ込ﾏﾚﾀﾓﾉ	当該製品から出火する火災が発生し、当該製品及び周辺が焼損した。 （火災）	事故原因は、身体等が当該製品のつまみに触れてスイッチが入り、当該製品の上に置かれていた物（炊飯器）が燃えたものと考えられる。	小型キッチン等に組み込まれた電気こんろ（つまみが飛び出しているもの）については、身体や荷物がつまみ（スイッチ操作部）に触れ、スイッチが入ってしまう事故が多発していることから、各事業者においてつまみ（スイッチ部）の無償改修を行っている。さらに、電気こんろメーカー及びキッチンユニットメーカー１３社は、平成１９年６月２０日に「小形キッチンユニット用電気こんろ協議会」を設立し、再発防止のため、１００％改修を目指した抜本的対策を、平成１９年７月３日及び同年７月３１日に公表し、改修を進めている。「一口電気こんろ」と同様のスイッチ構造を持つ「上面操作一口電気こんろ」及び「複数口電気こんろ」については、平成１９年８月１日に改修対象に加え、新聞社告を掲載し、また、新聞折り込みチラシの配布を全国で展開する等改修を進めている。	(受付:2011/08/12)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201100398 2011-2292 2011/08/28 （事故発生地）広島県	電子レンジ 小泉成器株式会社 KRD-0106	当該製品を使用中、当該製品から出火する火災が発生し、当該製品が焼損した。 （火災）	事故原因は、当該製品を使用する際に、扉を開閉し、電源の入切が繰り返されることでドアの開閉を検知するスイッチが接触不良となり、スパーク（電気火花）が発生し、トラッキング現象（絶縁破壊による短絡）が起こり、出火に至ったと考えられる。	小泉成器株式会社は、当該製品を含む対象機種について、事故の再発防止を図るため、平成１９年９月１２日に新聞社告を掲載し、使用の中止を呼び掛けるとともに、無償改修を実施している。また、同社では、平成２０年３月以降複数回にわたり、テレビＣＭ放送で注意喚起を行い、対象製品について無償改修を呼び掛けている。	(受付:2011/09/07)
A201100455 2011-2679 2011/09/20 （事故発生地）福岡県	電子レンジ 株式会社千石（岩谷産業株式会社ブランド） IM-575（岩谷産業株式会社ブランド）	当該製品を使用中、当該製品から出火する火災が発生し、当該製品が焼損した。 （火災）	事故原因は、ドアの開閉を検知するスイッチの製造不良により、接点部でスパークが発生し、出火したと考えられる。	販売事業者である岩谷産業株式会社は、当該製品を含む対象機種について、平成１５年９月２日から複数回、新聞社告を掲載するとともにテレビＣＭ放送で、注意喚起を行い、対象製品について、無償改修（スイッチ部の交換）を実施している。また、本年は、４月５日から４月１３日までの間及び８月２５日から９月３日までの間、テレビＣＭ放送で使用者に対して注意喚起し、速やかに連絡を頂くよう呼び掛けている。	(受付:2011/10/03)
A201100476 2011-2706 2011/09/28 （事故発生地）長崎県	液晶テレビ ソニーイーエムシーエス株式会社 KDL-40W5000	当該製品で視聴中、電源が切れたため、電源の入切操作を繰り返したところ、当該製品後方から異臭とともに出火する火災が発生し、当該製品が焼損、周辺が汚損した。 （火災）	事故原因は、製品内部に使用されている部品（インバータートランスの一部の線材）に製造工程上の不良があり、使用を続けるうちに不良部品の劣化によって製品内部で出火し、熱の影響を受けた本体キャビネットの天井部分が溶融したものと考えられる。	ソニー株式会社では、当該製品を含む対象機種について、平成２３年１０月１２日プレス公表を行うとともにホームページへの情報掲載、新聞社告、ユーザー登録者への通知を行い、使用上の注意を呼び掛けるとともに、本日から対象製品について無償点検を実施し、部品の不良が発見された場合には修理を実施する。	(受付:2011/10/07)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201100483 2011-2762 2011/09/27 （事故発生地） 愛知県	電気こんろ 富士工業株式会社 SBE-101-100V（ｻﾝｳｪｰﾌﾞ工業㈱製ﾐﾆｷｯﾁﾝに組み込まれたもの）	当該製品の上に木枠を組んで板を置き、電気冷蔵庫を設置していたところ、周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、身体等が当該製品のつまみに触れてスイッチが入り、当該製品の上に置かれていた物（板及び電気冷蔵庫）が燃えたものと考えられる。	小型キッチン等に組み込まれた電気こんろ（つまみが飛び出しているもの）については、身体や荷物がつまみ（スイッチ操作部）に触れ、スイッチが入ってしまう事故が多発していることから、各事業者においてつまみ（スイッチ部）の無償改修を行っている。さらに、電気こんろメーカー及びキッチンユニットメーカー１３社は、平成１９年６月２０日に「小形キッチンユニット用電気こんろ協議会」を設立し、再発防止のため、１００％改修を目指した抜本的対策を、平成１９年７月３日及び同年７月３１日に公表し、改修を進めている。「一口電気こんろ」と同様のスイッチ構造を持つ「上面操作一口電気こんろ」及び「複数口電気こんろ」については、平成１９年８月１日に改修対象に加え、新聞社告を掲載し、また、新聞折り込みチラシの配布を全国で展開する等改修を進めている。	(受付:2011/10/13)
A201100500 2011-2798 2011/10/04 （事故発生地） 神奈川県	電子レンジ 株式会社千石（岩谷産業株式会社ブランド） IM-575（岩谷産業株式会社ブランド）	当該製品を使用中、異音とともに当該製品から出火する火災が発生し、当該製品が焼損した。 （火災）	事故原因は、ドアの開閉を検知するスイッチの製造不良により、接点部でスパークが発生し、出火に至ったものと考えられる。	販売事業者である岩谷産業株式会社は、当該製品を含む対象機種について、平成１５年９月２日から複数回、新聞社告を掲載するとともにテレビＣＭ放送で、注意喚起を行い、対象製品について、無償改修（スイッチ部の交換）を実施している。また、平成２３年は、４月５日から４月１３日までの間及び８月２５日から９月３日までの間、テレビＣＭ放送で使用者に対して注意喚起し、速やかに連絡を頂くよう呼び掛けている。	(受付:2011/10/17)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201100512 2011-2829 2011/10/06 （事故発生地） 東京都	電気こんろ 松下電器産業株式会社（現　パナソニック株式会社） HK-1102(日立ﾊｳｽﾃｯｸ(現ﾊｳｽﾃｯｸ)製ﾐﾆｷｯﾁﾝKM-903Dに組込ﾏﾚﾀﾓﾉ	火災警報器が鳴動したため確認すると、当該製品上部で火災が発生しており、当該製品及び周辺を焼損した。 （火災）	事故原因は、身体等が当該製品のつまみに触れてスイッチが入り、当該製品の上に置かれていた可燃物に引火したものと考えられる。	小型キッチン等に組み込まれた電気こんろ（つまみが飛び出しているもの）については、身体や荷物がつまみ（スイッチ操作部）に触れ、スイッチが入ってしまう事故が多発していることから、各事業者においてつまみ（スイッチ部）の無償改修を行っている。さらに、電気こんろメーカー及びキッチンユニットメーカー１３社は、平成１９年６月２０日に「小形キッチンユニット用電気こんろ協議会」を設立し、再発防止のため、１００％改修を目指した抜本的対策を、平成１９年７月３日及び同年７月３１日に公表し、改修を進めている。「一口電気こんろ」と同様のスイッチ構造を持つ「上面操作一口電気こんろ」及び「複数口電気こんろ」については、平成１９年８月１日に改修対象に加え、新聞社告を掲載し、また、新聞折り込みチラシの配布を全国で展開する等改修を進めている。	(受付:2011/10/21)
A201100521 2011-2851 2011/10/11 （事故発生地） 兵庫県	電気こんろ 日立熱器具株式会社（現 日立アプライアンス株式会社） HT-1290（ｻﾝｳｴｰﾌﾞ工業㈱（現㈱LIXIL)製ﾐﾆｷｯﾁﾝに組み込まれたもの	当該製品の上に炊飯器を置いていたところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、当該製品の上に置いた炊飯器がつまみに触れてスイッチが入り、炊飯器に引火したものと考えられる。	小型キッチン等に組み込まれた電気こんろ（つまみが飛び出しているもの）については、身体や荷物がつまみ（スイッチ操作部）に触れ、スイッチが入ってしまう事故が多発していることから、各事業者においてつまみ（スイッチ部）の無償改修を行っている。さらに、電気こんろメーカー及びキッチンユニットメーカー１３社は、平成１９年６月２０日に「小形キッチンユニット用電気こんろ協議会」を設立し、再発防止のため、１００％改修を目指した抜本的対策を、平成１９年７月３日及び同年７月３１日に公表し、改修を進めている。「一口電気こんろ」と同様のスイッチ構造を持つ「上面操作一口電気こんろ」及び「複数口電気こんろ」については、平成１９年８月１日に改修対象に加え、新聞社告を掲載し、また、新聞折り込みチラシの配布を全国で展開する等改修を進めている。	(受付:2011/10/25)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201100540 2011-2925 2011/10/23 （事故発生地） 岩手県	電気洗濯機 三洋ハイアール株式会社（現ハイアールジャパンセールス株式会社 HSW-50S2	当該製品を使用中、当該製品から出火する火災が発生し、当該製品が焼損した。 （火災）	事故原因は、当該製品のモーター用コンデンサーの製造工程において、異物が混入し、使用中に徐々に絶縁劣化を起こし、出火に至ったものと考えられる。	ハイアールジャパンセールス株式会社は、当該製品を含む対象機種について事故の再発防止を図るため、平成２２年１１月１２日から無償点検を実施し、必要に応じて部品の無償交換を実施することとした（三洋ハイアール株式会社（２００７年３月解散）が輸入した電気洗濯機も含む。）。	(受付:2011/11/02)
A201100550 2011-2950 2011/09/23 （事故発生地） 神奈川県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） 吉井電気株式会社 EHH-806TI	当該製品を使用中、ランプ部分が割れ、落ちた破片により周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、当該製品のヒーター部のフィラメントとリード線を溶着する際の不具合から、接触不良によって生じた熱でガラスランプ管が破損し、火災に至ったものと考えられる。	吉井電気株式会社は、当該製品を含む対象機種について、事故の再発防止を図るため、平成１９年２月１９日に同社ホームページへ情報を掲載し、製品回収を行い、返金対応を実施している。	(受付:2011/11/07)
A201100562 2011-2977 2011/05/07 （事故発生地） 福島県	電気ストーブ（カーボンヒーター） 燦坤日本電器株式会社 UHC-3T	当該製品を使用中、当該製品から出火する火災が発生し、当該製品及び周辺が焼損した。 （火災）	事故原因は、当該製品の強弱切り替えスイッチに使用されているダイオードの部品不良により、異常発熱し、火災に至ったものと考えられる。	燦坤日本電器株式会社は、当該製品を含む対象機種について、事故の再発防止を図るため、平成２３年２月１０日にホームページへ情報を掲載し、平成２３年２月１５日以降、対象製品について回収を行い、代替品への無償交換又は返金対応を実施している。	(受付:2011/11/10)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201100568 2011-2980 2011/06/15 （事故発生地） 東京都	電気こんろ 三菱電機株式会社 CR-1501	当該製品の上に置いていた可燃物（電気ケトル）を焼損する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、身体等が当該製品のつまみに触れてスイッチが入り、当該製品の上に置かれていた可燃物（電気ケトル）に引火したものと考えられる。	小型キッチン等に組み込まれた電気こんろ（つまみが飛び出しているもの）については、身体や荷物がつまみ（スイッチ操作部）に触れ、スイッチが入ってしまう事故が多発していることから、各事業者においてつまみ（スイッチ部）の無償改修を行っている。さらに、電気こんろメーカー及びキッチンユニットメーカー１３社は、平成１９年６月２０日に「小形キッチンユニット用電気こんろ協議会」を設立し、再発防止のため、１００％改修を目指した抜本的対策を、平成１９年７月３日及び同年７月３１日に公表し、改修を進めている。「一口電気こんろ」と同様のスイッチ構造を持つ「上面操作一口電気こんろ」及び「複数口電気こんろ」については、平成１９年８月１日に改修対象に加え、新聞社告を掲載し、また、新聞折り込みチラシの配布を全国で展開する等改修を進めている。	(受付:2011/11/11)
A201100569 2011-2981 2011/11/05 （事故発生地） 愛媛県	ＡＣアダプター（インターホン用） アイホン株式会社 PS-24N	当該製品を接続していた白黒テレビモニターから出火する火災が発生し、当該製品及び周辺が焼損した。 （火災）	事故原因は、長期間（約２３年）の使用により、電圧制御用の電解コンデンサが経年劣化し過電流が生じて発熱し、出火に至ったものと考えられる。	アイホン株式会社は、当該製品を含む対象機種について、事故の再発防止を図るため、平成２０年６月１０日にホームページに情報を掲載し、無償で点検と交換を実施している。	(受付:2011/11/11)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事　故　通　知　内　容	事　故　原　因	再　発　防　止　措　置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201100603 2011-3058 2011/10/24 （事故発生地） 神奈川県	電気こんろ 日立熱器具株式会社（現 日立アプライアンス株式会社） HT-1290（サンウエーブ工業㈱製ミニキッチンに組み込まれたもの）	当該製品の上面に可燃物（タオル及びボックスティッシュ）を置いていたところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、身体等が当該製品のつまみに触れてスイッチが入り、置かれていた可燃物に引火したものと考えられる。	小型キッチン等に組み込まれた電気こんろ（つまみが飛び出しているもの）については、身体や荷物がつまみ（スイッチ操作部）に触れ、スイッチが入ってしまう事故が多発していることから、各事業者においてつまみ（スイッチ部）の無償改修を行っている。さらに、電気こんろメーカー及びキッチンユニットメーカー１３社は、平成１９年６月２０日に「小形キッチンユニット用電気こんろ協議会」を設立し、再発防止のため、１００％改修を目指した「一口電気こんろ」の抜本的対策を、平成１９年７月３日及び同年７月３１日に公表し、改修を進めている。また、同様のスイッチ構造を持つ、当該製品を含む「上面操作一口電気こんろ」及び「複数口電気こんろ」については、平成１９年８月１日に改修対象に加え、新聞社告を掲載し、また、新聞折り込みチラシの配布を全国で展開する等改修を進めている。	(受付:2011/11/21)
A201100689 2011-3449 2011/11/21 （事故発生地） 熊本県	電気ストーブ（オイルヒーター） 株式会社セラヴィ CLV-065	当該製品を使用中、異音とともに当該製品から出火する火災が発生し、当該製品を焼損した。 （火災）	事故原因は、電源コードと内部配線を接続するネジの締め付けが弱かったため、接触不良を起こし、発熱して出火に至ったものと考えられる。	株式会社セラヴィは、対象機種について、事故の再発防止を図るため、平成２０年３月１５日に新聞社告を掲載するとともに、ホームページに情報を掲載し、対象製品について、使用の中止、無償点検・改修の呼び掛けを行っている。	(受付:2011/12/12)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事　故　通　知　内　容	事　故　原　因	再　発　防　止　措　置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201100691 2011-3450 2011/02/03 （事故発生地） 神奈川県	電気こんろ 株式会社巴商会 MK-1004	当該製品及び当該製品の上に置いていた可燃物を焼損する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、身体等が当該製品のつまみに触れてスイッチが入り、可燃物に引火したものと考えられる。	株式会社巴商会は、当該製品を含む対象機種について、事故の再発防止を図るため、平成２３年４月２０日からリコールを開始し、平成２３年１０月２１日にホームページへ掲載し、当該製品のスイッチ部の無償改修を呼び掛けている。	(受付:2011/12/13)
A201100751 2011-3601 2011/12/20 （事故発生地） 静岡県	電気ストーブ（カーボンヒーター） 燦坤日本電器株式会社 TSK-5328CT	当該製品を使用中、当該製品から出火する火災が発生し、当該製品及び周辺を焼損した。 （火災）	事故原因は、当該製品の強弱切り替えスイッチに使用されているダイオードの部品不良により、異常発熱し、火災に至ったものと考えられる。	燦坤日本電器株式会社社は、当該製品を含む対象機種について、事故の再発防止を図るため、平成２３年２月１０日にホームページへ情報を掲載し、平成２３年２月１５日以降、対象製品について回収を行い、代替品への無償交換又は返金対応を実施している。	(受付:2011/12/26)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200900384 2009-1351 2009/04/13 （事故発生地） 奈良県	スライサー パール金属株式会社 Ｖ刃スライサー	厚さ調節機能付きの当該製品を使用して、野菜を切っていたところ、指を切った。 （重傷）	調査の結果、当該製品使用時に強く押さえると当該製品の置き台がたわんでしまうため、切り刃と置き台との間に最大約４ｍｍの隙間が生じていたところ、使用者が付属の安全ホルダーを使用していなかったことから、食品をカット中に食材を支えていた指先が隙間に入って刃に擦れ、事故に至ったものと考えられる。また、当該製品のたわみ量は類似品と比較し、大きいことから、安全ホルダーを使用せずに使用した場合、たわみが大きい分だけ食品のスライスが早くなり手指に近づきやすくなる構造であった。	パール金属株式会社は、平成２２年１月に当該製品を廃番とし、輸入・販売を中止している。	(受付:2009/08/10)
A200901092 2009-4109 2010/01/24 （事故発生地） 神奈川県	圧力鍋 株式会社高敏 マローニエ　MR-1	当該製品で調理中、当該製品の縁から蒸気が漏れ、１名が火傷を負った。 （重傷）	調査の結果 ○当該品でタマネギなどの具材と水を鍋底から約２／３ぐらいまで入れ強火加熱中おもり付近から蒸気が抜ける音がした際取っ手を回転させたところ蒸気が噴き出し左後方にいた幼児が左顔面などに火傷 ○当該品の外観やパッキンには変形や破損などの異常は認められず ○当該品で加熱試験結果圧力調整装置及び安全装置は正常に作動。また作動時の圧力は共にＳＧ基準を満足 ○圧力調整装置及び安全装置を作動させない状態で加熱した結果蒸気は安全窓から排出されず蓋の爪と爪の間からパッキンと伴に強く吹き出した ○使用後はパッキンを洗浄してふきんで拭き取り当該品の蓋に装着。なおこれまでにパッキンを交換したことはない ●安全装置などが作動しない状態で加熱を続けていたため内圧が上昇し蓋の隙間から蒸気が突出したものと推定、安全装置などに異常が認められずパッキンの特性が確認できなかったことや事故時の使用状況が確認できないため製品起因か否か原因の特定に至らず	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/03/03)

製品区分：　02.台所・食卓用品　　No.0048

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事　故　通　知　内　容	事　故　原　因	再　発　防　止　措　置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200901163 2010-0152 2010/02/25 （事故発生地） 大分県	鍋 株式会社本間製作所 16026	調理中、当該製品を持ち上げた際、片側の取っ手が外れ、側にいた１名にお湯がかかり、火傷を負った。 （重傷）	事故原因は、取っ手のスポット溶接について、設計上８箇所されるべきであったが、当該製品は１箇所しか溶接されていなかったため、接合強度が不足していたことから、取っ手が外れ、事故に至ったものと考えられる。	事業者は、事故発生後から同様の仕様の在庫品をすべて再検品し、検査項目（溶接作業の電圧測定や数量計によるスポット溶接数の管理）、検査回数（①破壊検査回数②スポット溶接数の目視確認回数）を増やす改善を実施している。	(受付:2010/03/26)
A201000358 2010-1820 2010/06/18 （事故発生地） 神奈川県	トング 株式会社ミネックスメタル NKS600-712	当該製品を洗う際、当該製品の金属部で負傷した。 （重傷）	調査の結果、当該製品の金属の柄部分の仕上げが十分でなかったため、使用者が当該製品を洗浄していた際、当該部分を指で強く擦ったことにより、裂傷を負ったものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。なお、事業者は、当該製品の輸入・出荷を中止している。	(受付:2010/07/29)
A201000569 2010-2752 2010/09/18 （事故発生地） 兵庫県	瓶 株式会社徳岡 LVO20	ワインが入っている当該製品をコークスクリュー（コルク抜き）で開栓しようとしたところ、当該製品が割れ、負傷した。 （重傷）	調査の結果、当該製品の口部内面にコルク抜きの金属製スクリューによる傷が認められ、その傷が破壊起点であった。当該製品は、製造上の不具合により強度が低かったため、コルク栓をコルク抜きで開栓する際、斜めに入ったコルク抜きの金属製スクリューにより当該製品の口部内面に傷が付き、当該製品が破損して事故に至ったものと考えられる。事業者は、事故後、当該製品と同ロットの製品の販売を中止している。	株式会社徳岡は、事故後、当該製品と同日（平成２２年５月３１日）に通関された同ロットの製品については、販売を停止するとともに、流通在庫を処分している。また、再発防止措置として、ワイン製造元に厳重注意するとともに、「不完全強度」の瓶のワインは輸入しないことを徹底している。	(受付:2010/10/04)

製品区分：　02.台所・食卓用品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201000828 2010-3779 2010/12/28 （事故発生地） 千葉県	冷水筒 アスベル株式会社 D222	当該製品に沸騰させた熱湯を入れたところ、異音とともに当該製品が破裂し、熱湯がかかり、火傷を負った。 （重傷）	調査の結果、熱湯を入れた場合は冷ましてからふたを閉めることが必要な当該製品に熱湯を入れ、冷めないうちにふたを閉めたために、容器の内圧が高くなる状態となってき裂が生じ、き裂に気づかずに使用を続けたため、亀裂が拡大して破損に至ったものと考えられる。なお、当該製品は「熱湯ＯＫ」と表記されていたことから、冷めないうちにふたを閉めることも可能と誤解を与えたものと考えられ、また、熱湯を入れて密閉した場合に製品破損に至る危険があることについて、充分な注意喚起がなかったことが原因と考えられる。	事業者は、平成２０年１１月１４日から注意喚起、平成２１年１月から製品本体表示及び取扱説明書の改善を実施している。	(受付:2011/01/13)
A201100129 2011-0515 2011/05/05 （事故発生地） 愛知県	冷水筒 パール金属株式会社 H-5272	当該製品にお湯を注ぎ、中栓部分を持ち上げたところ、当該製品上部の樹脂製接合部が外れ、お湯がこぼれ、火傷を負った。 （重傷）	調査の結果、当該製品は、熱湯を入れて密閉した場合に、製品破損に至る危険があることについて、充分な注意喚起がなされていなかったため、使用者が当該製品に熱湯を入れ、持ち上げた際、容器上部の接合部が、内圧と内容物の重さで破断し、事故に至ったものと考えられる。	パール金属株式会社は、後継機種について、本体上面に注意ラベルの貼付及び取扱説明書に注意記載を行っている。	(受付:2011/05/20)
A201100367 2011-2160 2011/07/22 （事故発生地） 大阪府	鍋 株式会社ベストコ（イズミヤ株式会社ブランド） ND-6423（イズミヤ株式会社ブランド）	当該製品で調理中、取っ手を持って持ち上げたところ、取っ手が折れ、熱湯がこぼれ、火傷を負った。 （重傷）	調査の結果、当該製品の取っ手（樹脂製（フェノール樹脂））は、成形時のガス抜きが不十分で成形温度等が不適切であったため、取っ手内部のすが多く、強度が不十分となり、使用時の繰り返し荷重等により破損に至ったものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2011/08/25)

製品区分：　03.燃焼器具　　No.0050

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事　故　通　知　内　容	事　故　原　因	再　発　防　止　措　置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200700099 2007-1604 2007/05/14 （事故発生地） 宮城県	ガスこんろ（ＬＰガス用） パロマ工業株式会社 IC-M680F-R	住宅や隣接するふろ場、物置を全焼した。 （火災）	調査の結果、当該製品は、ベニア材の壁に隣接して設置されており、使用者が当該製品でお湯を沸かしたまま外出したため、炭化した壁に低温着火し、火災に至ったものと考えられるが、当該製品が、廃棄されていたため、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2007/06/07)
A200700152 2007-1937 2007/06/08 （事故発生地） 大阪府	屋内ゴム管（都市ガス用） 株式会社十川ゴム EB10023　（大阪ガス株式会社　品番：080-0142）	ガス炊飯器付近から出火し、炊飯器本体の外面（ゴム管接続口周辺）及び炊飯器に接続した当該製品と壁の一部を焼損した。 （火災）	調査の結果、当該製品焼損部以外の箇所の気密性や物性に異常が認められず、外的要因と見られる傷が多数認められたことから、外的要因により亀裂が生じガスが漏洩し，炊飯器の火が着火したため、火災に至ったものと考えられるが、ガス漏れが生じたと見られる箇所が焼失していることから、事故原因を特定することができなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2007/06/15)
A200700244 2007-2436 2007/06/30 （事故発生地） 広島県	ガスこんろ（ＬＰガス用） パロマ工業株式会社 IC-E600CP-L	当該機器の下に敷いてあった段ボールが燃える火災が発生した。 （火災）	調査の結果、当該製品の焼損状況から、当該製品の下に敷いてあった段ボールが燃えたことによって焼損したものと考えられるが、当該製品の焼損が著しいため、事故原因を特定することができなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。なお、製造事業者は、火災のおそれがあることから、ガスこんろの下に可燃物を敷かないよう注意喚起している。	(受付:2007/07/20)

製品区分：　03.燃焼器具

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200700365 2007-3210 2007/08/21 （事故発生地） 京都府	ガスこんろ（ＬＰガス用） 松下電器産業株式会社 GE-31DTKS	点火操作を行ったが点火しなかったため、何度も点火操作を繰り返したところ、器具天板後部より炎があがり器具内部を焼損した。 （火災）	事故原因は、点火ボタンを繰り返し操作したため、当該製品内に未燃ガスが滞留し、点火動作の際、滞留したガスに引火して、製品内部を焼損した可能性が考えられたが、器具栓、点火器ともに融解しており、ガス漏れや点火不良の可能性もあるため、原因の特定はできなかった。	平成１９年８月３１日ガス機器・石油機器の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故として公表済み事故。	(受付:2007/08/29)
A200700718 2007-5044 2007/12/01 （事故発生地） 新潟県	石油ふろがま 株式会社　コロナ BS-2010GSD	入浴して就寝後、異音に気がつき確認すると、浴室付近から出火していた。 （火災）	缶体と操作台（バーナー部）を固定するターンパルクが取り付けられておらず隙間が生じて炭化物が付着していたことから、当該箇所から漏れた熱気により出火した可能性が考えられるが、使用状況が不明なため原因の特定に至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする	(受付:2007/12/17)
A200700967 2007-6306 2008/01/27 （事故発生地） 山形県	石油給湯機 ＴＯＴＯ株式会社［製造：東陶ユプロ株式会社　（解散）］ ＲＰＥ３３ＫＳ	家の外から異音が聞こえ、ブレーカーが作動したため確認すると、当該機器が焼損していた。 （火災）	調査の結果、機器内部の送油経路部から漏れた灯油が発火燃焼したことによるものと考えられるが、灯油の漏洩箇所や漏洩した原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/02/13)

製品区分：　03.燃焼器具　　No.0052

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200800318 2008-1276 2008/06/16 （事故発生地） 岐阜県	ガス栓（ＬＰガス用） マツイ機器工業株式会社 MC-F-22H	マンションの一室でガス爆発が発生し、１名が死亡した。 （火災　死亡）	調査の結果、当該製品からのガス漏れが認められなかったことから、使用者がガス機器を接続していない側の当該製品の栓を開いたためにガス漏れが生じ、事故に至ったものと考えられるが、当該製品のヒューズ機構が火災の影響によって溶解し原型を留めていないことから、半解放によってガスが漏れ、事故に至ったものと考えられるが、原因を特定することができなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/06/24)
A200800493 2008-1949 2008/07/30 （事故発生地） 兵庫県	ゴム管（都市ガス用） ＳＲＩ ハイブリッド株式会社 都市ガス用ゴム管（大阪ガス株式会社ブランド）	ガスこんろを使用中に接続しているゴム管から漏れたガスに引火する火災が発生し、１名が右手に火傷を負った。 （火災）	事故原因は、長期間使用（約２５年）によりゴムが劣化し、外部からの力が加わったことで、亀裂等が生じてガスが漏れ、漏れたガスにこんろの火が引火したことにより、火災に至ったものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。なお、日本ガス石油機器工業会では、ひび割れて固くなったゴム管は取り替えるよう注意喚起している。	(受付:2008/08/08)
A200800609 2008-2619 2008/09/05 （事故発生地） 北海道	ガスこんろ（ＬＰガス用） リンナイ株式会社 ﾊｵM600VFT	火災が発生し、家屋が半焼した。天ぷら調理中に外出したため出火した可能性がある。 （火災）	当該事故品及び周辺の焼損が著しく、出火元を含め出火原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/09/12)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200801194 2008-4783 2009/01/25 （事故発生地） 福岡県	密閉式ガスふろがま（都市ガス用） リンナイ株式会社 RBF-11N	追い焚き運転中に異音がして確認すると、煙が立ちこめて風呂釜及び浴室が焼損した。またその際に、１名が煙を吸い込み軽傷を負った。 （火災）	当該製品に冠水を繰り返した跡が認められることから、ガス流路の腐食部若しくは炎あふれの影響によるパッキン類の劣化からガス漏れが発生して引火した可能性と、熱交換器が溶融していることから、空焚きの可能性が考えられるが、各部の焼損が著しいことから原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/02/02)
A200900044 2009-0231 2009/04/06 （事故発生地） 大分県	石油ふろがま（薪兼用） 長州産業株式会社 不明	風呂の湯を当該製品で沸かしていたところ、当該製品周辺が焼損した。現在、原因を調査中。 （火災）	調査の結果、灯油漏れが認められたことから、何らかの理由で漏れた灯油に引火したものと考えられるが、製品の焼損が著しいため、灯油が漏れた箇所が特定できず、原因の特定に至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/04/14)
A200900110 2009-0448 2009/04/27 （事故発生地） 滋賀県	ガスこんろ（ＬＰガス用） リンナイ株式会社 ハオ６００Ｆ	当該製品に鍋を掛けて調理していたところ、当該製品及びゴム管付近から出火する火災が発生した。 （火災）	調査の結果、火災現場の焼損が著しく、当該製品やゴム管の焼損も著しいこと、また、使用中の鍋の大きさ（直径約２８ｃｍ）が、当該製品のこんろ中心から背面までの距離と比較して小さく、はみ出る大きさではないことから、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/05/08)

製品区分：　03.燃焼器具

No.0054

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事　故　通　知　内　容	事　故　原　因	再　発　防　止　措　置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200900112 2009-0492 2009/02/28 （事故発生地） 岩手県	石油ストーブ（開放式） 株式会社コロナ RX-221	火災が発生し、出火元付近に当該製品があった。 （火災）	調査の結果、当該製品の焼損が著しいため、事故原因の特定には至らなかった。なお、当該製品には、給油時自動消火装置があり、給油タンクの口金がしっかりしまっていたことから、タンクを本体に入れる際に灯油が漏れることはないと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/05/11)
A200900127 2009-0544 2009/04/27 （事故発生地） 滋賀県	ゴム管（ＬＰガス用） 株式会社 十川ゴム AC10021	ガスこんろに鍋を掛けて調理していたところ、当該製品及びガスこんろ付近から出火する火災が発生した。 （火災）	調査の結果、火災現場の焼損が著しく、当該製品及びガスこんろの焼損も著しいこと、また、使用中の鍋の大きさ（直径約２８ｃｍ）が、ガスこんろ中心から背面までの距離と比較して小さく、はみ出る大きさではないことから、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/05/18)
A200900130 2009-0545 2009/05/15 （事故発生地） 北海道	石油温風暖房機（密閉式） 株式会社トヨトミ FF-356	当該製品を使用していたところ、異音とともに発煙・発火し、周辺が焼損する火災が発生した。 （火災）	製品内部の電源コードが断線しており、断線部からの出火が疑われるものの、断線原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/05/19)

製品区分： 03.燃焼器具

No.0055

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200900154 2009-0637 2009/05/18 （事故発生地） 神奈川県	屋外式ガス給湯器付ふろがま（都市ガス用） 高木産業株式会社 TP-SP244SZR	当該製品を使用中に排気口から出火し、周辺を焼損した。 （火災）	事故原因は、長期間使用（１３年）により、給気経路に多量の埃が詰まって燃焼不良となったことから、ススが熱交換器に詰まり、不完全燃焼を起こしたため、未燃ガスが排気口出口で再燃したものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/05/26)
A200900158 2009-0658 2009/05/18 （事故発生地） 茨城県	石油ふろがま（薪兼用） 株式会社長府製作所 不明	当該製品の鉄製の焚き口が赤くなっていたため、消費者は当該製品の電源プラグを抜き、水をかけてから外出した。しばらくして火災が発生し、建物等を焼損する火災が発生した。 （火災）	調査の結果、当該製品は木製の壁に隣接して設置されており、当該製品が空焚きとなったため、壁に低温着火し、火災に至ったものと考えられるが、当該製品が未使用時での出火であることから、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/05/28)
A200900201 2009-0781 2009/06/02 （事故発生地） 東京都	開放式ガス湯沸器（都市ガス用） ﾊﾟﾛﾏ工業株式会社 PH-5BW	当該製品を使用していたところ、当該製品の上方にある換気扇の防汚用のカバーシートが一部焼損した。 （火災）	使用者が、点火操作を繰り返したために生じた未燃ガスに引火して火災に至った可能性が考えられるが、当該製品にガス漏れは認められず、点火や燃焼状態は正常であり、問題が認められないため、事故原因の特定には至らなかった。したがって、事故原因は不明であり、製品に起因するか否かも不明と判断される。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/06/12)

製品区分： 03.燃焼器具

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200900204 2009-0817 2009/05/25 （事故発生地） 佐賀県	石油給湯機付ふろがま 株式会社長府製作所 JIB-6NE	当該機器から発火する火災が発生した。 （火災）	調査の結果、当該製品給湯機側の点火装置電極部付近に多量のスス付着が認められたことから、着火不良等により燃焼室内に灯油が滞留して、バーナーロパッキン等に灯油が染み込み、燃焼室の火が引火して、火災に至ったものと考えられるが、当該製品の焼損が著しいため、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/06/15)
A200900207 2009-0820 2009/01/26 （事故発生地） 兵庫県	カセットボンベ 日本瓦斯株式会社（岩谷産業株式会社ブランド） CB-250-OR（岩谷産業株式会社ブランド）	カセットこんろを使用中、当該製品とカセットこんろの接続口から出火した。 （火災）	カセットこんろを使用中、当該製品とカセットこんろの接続口から出火した。事故原因は、事故品は長期保管（約９年）されていたため温度・湿度等の影響でステムラバーが劣化し亀裂が生じてガスが漏れ、カセットこんろの火が引火し、出火に至ったものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/06/16)
A200900231 2009-0901 2009/06/14 （事故発生地） 北海道	石油給湯機 株式会社コロナ UIB-3030CX(F)	当該製品で風呂の湯張りをしていたところ、当該製品下部が赤熱し、当該製品を設置していた床面が焼損した。 （火災）	調査の結果、当該製品の燃焼室内に化学物質が侵入して底板の素材が変質し、耐熱性が低下していたこと及び長期間使用（約１４年）により水漏れが生じ、底板の腐食が進行して穴が開いていたことから、当該部から熱気が外部に漏れ、火災に至ったものと考えられるが、燃焼室内に化学物質が入った要因や化合物名及び水漏れの要因が特定できなかったことから、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/06/25)

製品区分：　03.燃焼器具

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200900236 2009-0902 2009/06/16 （事故発生地） 埼玉県	開放式ガス湯沸器（ＬＰガス用） リンナイ株式会社 RUS-V51RTA	当該製品に点火したところ爆発が生じ、１名が負傷した。 (火災)	調査の結果、当該製品の焼損が著しく、出火した痕跡が確認できなかったことから、製品起因であるか否かを含め事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/06/25)
A200900279 2009-1013 2009/06/29 （事故発生地） 東京都	屋外式ガス給湯暖房機（都市ガス用） パロマ工業株式会社 DH-N2412AWDL4-1	当該製品を使用していたところ、排気筒付近から出火する火災が発生した。 (火災)	当該製品の排気筒付近が黒くなっていたが、製品内部に、ガス漏れ、煤の付着、異常燃焼の形跡は認められなかった。このような状況から製品に起因しない事故と判断されるが、排気筒付近が焼損した原因は特定できなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/07/08)
A200900309 2009-1137 2009/07/07 （事故発生地） 東京都	密閉式ガス給湯付ふろがま（都市ガス用） 株式会社ガスター（東京ガス(株)ブランド） KG-816FFS-SAQ（東京ガス(株)ブランド）	異臭がしたため確認すると、当該製品から発煙していた。 (火災)	調査の結果、当該製品の電源基板の端子部に、はんだ付け不良があったため、ダイオードに過電流が流れ、発熱したことで電源基板が焼損したものと考えられるが、当該端子部の焼損が著しいため、原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/07/16)

製品区分：　03.燃焼器具　　No.0058

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200900319 2009-1165 2009/07/08 （事故発生地） 東京都	密閉式（ＢＦ式）ガスふろがま（都市ガス用） 株式会社ガスター ER	当該製品を点火したところ、当該製品から出火する火災が発生した。 （火災）	調査の結果、当該製品のフロントカバー下部が腐食し、穴が開いていたことから、強風の影響により、穴に風が吹き込み、バーナーの炎があおられて、当該製品内部の部品に引火して火災に至った可能性が考えられるが、、事故発生時の詳細な状況が不明なため、原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/07/21)
A200900332 2009-1199 2009/07/14 （事故発生地） 北海道	石油ストーブ（密閉式） 株式会社コロナ FF-65AM2	火災が発生し、現場に当該製品が設置されていた。 （火災）	調査の結果、当該製品周辺の焼損が著しかったが、当該製品に灯油漏れが無く、残存した電機部品に出火の痕跡が認められないこと及び当該製品の焼損が著しく、基板や配線類の一部が焼失していることから、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/07/23)
A200900388 2009-1345 2009/06/03 （事故発生地） 兵庫県	屋外式ガス給湯付ふろがま（都市ガス用） ﾊﾟﾛﾏ工業株式会社 FH-16AWD	当該製品でシャワーを使用していたところ、急に熱湯になり火傷を負った。 （重傷）	当該製品に給湯高温異常が記録されていたが、ガス比例弁やサーモスタットの動作に異常はなく、再現試験でも給湯の高温は再現はされなかったため、原因の特定には至らなかった。したがって、事故原因は不明である。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/08/11)

製品区分：　03.燃焼器具

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200900481 2009-1675 2008/10/22 （事故発生地） 千葉県	継ぎ手ホース（ＬＰガス用） 株式会社日豊 FTU-10	当該製品及び周辺が焼損する火災が発生した。 （火災）	調査の結果、当該製品又は当該製品とガス栓との接続部からガス洩れが生じ、運転中のガス衣類乾燥機の種火等の火が引火して火災に至ったと考えられるが、事故に至った経緯が不明なため、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/09/11)
A200900505 2009-1768 2009/08/18 （事故発生地） 宮城県	石油給湯機付ふろがま 株式会社長府製作所 JIB-2	当該製品で風呂を焚いたところ、当該製品から出火し、製品及び周辺を焼損した。 （火災）	調査の結果、追い焚き時に一時的に失火したことにより、炉内に未燃灯油が溜まり、再点火した際の火が未燃灯油に引火し、火災に至ったものと考えられるが、当該製品がすでに廃棄されてしまっていたことから、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/09/24)
A200900507 2009-1769 2009/08/27 （事故発生地） 愛知県	ガスこんろ（都市ガス用） リンナイ株式会社（東邦ガス株式会社ブランド） RTS-M550VF-1L（東邦ガス株式会社ブランドR-3WVF8-L）	火災が発生し、現場に当該製品があった。 （火災）	調査の結果、当該製品を使用中、当該製品付近の可燃物に引火し、火災に至ったものと考えられるが、当該製品及び周辺の焼損が著しいことから、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/09/24)

製品区分：　03.燃焼器具

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200900526 2009-1857 2009/09/24 （事故発生地）東京都	屋外式ガス給湯機付ふろがま（都市ガス用） 株式会社長府製作所 GFK-167PA	当該製品を使用中に異音がしたので確認すると、当該製品付近から出火し、製品を焼損した。 （火災）	調査の結果、当該製品の前パネルの外れや、給水管接続口にススの付着が認められたことから、当該製品の給湯時に爆発着火したことにより、給水管接続口から炎があふれ、火災に至ったものと考えられるが、当該製品に燃焼不良やガス漏洩等の異常が認められなかったことから、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/10/02)
A200900533 2009-1908 2009/09/30 （事故発生地）兵庫県	ガスこんろ（都市ガス用） 株式会社ハーマンプロ（現 株式会社ハーマン） DW31B2DTL	当該製品のグリルで調理中、製品内から発煙する火災が発生し、当該製品及び周辺を焼損した。 （火災）	事故原因は、製造事業者の系列店である修理事業者が、修理作業の際に小バーナーのガス通路接続部品に取り付けられているＯリングに亀裂を入れてしまったことにより、小バーナー使用時にガスが漏洩し、同時に使用していたこんろの火が漏洩したガスに引火して、火災に至ったものと考えられる。	株式会社ハーマンプロでは、系列店の修理事業者に対して、修理作業終了時のガス漏れ検査について、再度徹底されるよう、書面を送付するとともに、講習会を開催し指導を行っている。	(受付:2009/10/06)
A200900564 2009-2039 2009/10/06 （事故発生地）東京都	屋外式ガス給湯器（ＬＰガス用） 高木産業株式会社 TP-SQ160R-1	当該製品を使用中、湯温が変動したため確認すると、当該製品及び周辺を焼損していた。 （火災）	事故原因は、長期間使用（約１８年）により、Ｏリングが劣化して水が漏れ、サーミスタのコネクタ部が腐食した影響により、湯温を実際の温度より低く認識したため、燃焼ガス量が増え、熱交換器が過熱されたことから、熱交換器近傍の配線類が焼損したものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/10/16)

製品区分：　03.燃焼器具

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事　故　通　知　内　容	事　故　原　因	再　発　防　止　措　置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200900582 2009-2118 2009/10/13 （事故発生地） 北海道	石油温風暖房機（密閉式） 株式会社トヨトミ FF-356	火災が発生し、現場に当該製品があった。 （火災）	製品下部の定油面器周辺が激しく焼損しており、そこで灯油漏れが発生し引火したものと推定されるが、原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/10/23)
A200900592 2009-2156 2009/10/16 （事故発生地） 北海道	石油ストーブ（密閉式） 株式会社　コロナ FF-65AM	当該製品を使用中、製品から出火する火災が発生し、当該製品を焼損した。 （火災）	調査の結果、当該製品内部の操作部、定油面付近の送油配管及び送付機の焼損が著しいことから、操作部後方部の発熱による発火と考えられるが、発火元と思われる基板などの焼損が著しいことから、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/10/26)
A200900601 2009-2159 2009/10/14 （事故発生地） 神奈川県	ガスこんろ（都市ガス用） リンナイ株式会社 RTS-480VF	当該製品を使用後、外出したところ出火し、当該製品を焼損した。 （火災）	調査の結果、当該製品のグリルを使用後、火を消し忘れたため、グリル内が過熱され、出火に至ったと考えられるが、過熱防止装置の作動性について確認できておらず、事故当時の使用状況も不明であることから、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/10/28)

製品区分：　03.燃焼器具

No.0062

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200900612 2009-2212 2009/10/22 （事故発生地） 奈良県	石油給湯機付ふろがま 株式会社長府製作所 KIBF-423DSX	当該製品で追い焚き後、異音がしたため確認すると、当該製品から出火していた。 （火災）	調査の結果、当該製品の消音筒に灯油の染み込みが認められたことから、基板上に異常が発生したことにより、運転停止時においても、電磁ポンプが停止せず、消音筒内に灯油が溜まり、給気不足が生じて、異常燃焼となり火災に至ったものと考えられるが、基板上に異常が発生した原因を特定することができなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/11/02)
A200900615 2009-2213 2009/10/26 （事故発生地） 新潟県	石油ストーブ（開放式） 株式会社コロナ FH-323DXR	当該製品を点火したところ、当該製品下部から発煙・発火し、当該製品及び周辺を焼損した。 （火災）	調査の結果、長期間使用（２０年超）していた当該製品の点火用イグナイター基板の焼損が著しいことから、当該基板上の部品から出火したと考えられるが、当該部品の焼損が著しいことから、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/11/04)
A200900675 2009-2443 2009/10/26 （事故発生地） 宮城県	石油温風暖房機（開放式） 株式会社コロナ GT-328Y	火災が発生し、１名が死亡、２名が軽傷を負った。現場に当該製品があった。 （火災　死亡）	調査の結果、当該製品に油漏れや異常燃焼の痕跡は認められず、また、燃焼部の外筒の変色度合いから、製品内部からの出火ではないと考えられるが、使用状況が不明であり、確認できなかった部品もあることから、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/11/24)

製品区分：　03.燃焼器具

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200900690 2009-2467 2009/11/07 （事故発生地） 鹿児島県	ガスこんろ（ＬＰガス用） リンナイ株式会社 ﾊｵS630VGTS	当該製品を使用して調理中に異音がし、当該製品が破損した。 （火災）	調査の結果、当該製品の内部にガスが溜まり、点火操作の火花または別バーナーの火にガスが引火し爆発したものと考えられるが、事故当時の状況が不明であることから、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/11/27)
A200900696 2009-2471 2009/11/17 （事故発生地） 岩手県	石油温風暖房機（開放式） 株式会社コロナ FH-554DXR	当該製品を使用したところ、当該製品から発煙、発火し、当該製品を焼損した。 （火災）	調査の結果、外部に比べ内部の焼損が著しく、当該製品のバーナー下部又は燃焼用送風機付近から出火した可能性が考えられるが、バーナー下部から燃焼用送風機周辺の焼損が著しいため、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/11/27)
A200900698 2009-2473 2009/11/03 （事故発生地） 東京都	石油ストーブ（開放式） 株式会社コロナ SX-1840	火災が発生し、１名が死亡、１名が軽傷を負った。現場に当該製品があった。 （火災　死亡）	調査の結果、当該製品の焼損が著しいことから、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/11/27)

製品区分：　03.燃焼器具

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200900726 2009-2573 2009/11/23 （事故発生地） 滋賀県	石油ふろがま（薪兼用） 株式会社長府製作所 H2S	夕方に入浴後排水し、翌朝気がつくと、火災が発生しており、当該製品及び周辺を焼損した。現場に当該製品があった。 （火災）	調査の結果、当該製品の缶体が熱変色し、また、循環管に焼損が認められたことから、浴槽に水が入っていない状態で当該製品のスイッチが入ったため、空焚きとなり火災に至った可能性が考えられるが、スイッチが入った原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/12/04)
A200900747 2009-2658 2009/12/01 （事故発生地） 奈良県	石油温風暖房機（開放式） 株式会社コロナ ＦＨ－ｉＸ４６７ＢＹ	家屋が全焼する火災が発生し、１名が軽傷を負った。 （火災）	調査の結果、当該製品からカートリッジタンクを取り出した際、カートリッジタンクからこぼれた灯油が当該製品にかかり、引火したものと考えられるが、灯油がこぼれたときの状況が不明であること及び当該製品のワンタッチ式カートリッジタンクのふたヒンジ部の変形が認められたものの、その影響が不明であることから、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/12/11)
A200900757 2009-2711 2009/12/04 （事故発生地） 千葉県	開放式ガス瞬間湯沸器（ＬＰガス用） ﾊﾟﾛﾏ工業株式会社 PH-5TF	異臭がしたため確認すると、当該製品の上方に炎が見えた。当該製品上方に設置された水道配管が焼損した。 （火災）	長年の使用（約１８年）で劣化したダイヤフラム内のＯリング部からの水漏れにより、ガス弁開閉ロッド表面が腐食されロッドが戻りにくくなり、湯を停止してもガスが停止されず燃焼が継続したため過熱し、長年の使用により製品内部に付着していた油が発火したものと推定される。したがって、事故原因は製品の経年劣化によるものと判断される。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/12/15)

製品区分：　03.燃焼器具

No.0065

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事　故　通　知　内　容	事　故　原　因	再　発　防　止　措　置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200900770 2009-2747 2009/12/05 （事故発生地） 兵庫県	石油温風暖房機（開放式） 株式会社コロナ ＧＴ-2511	当該製品に点火したところ、しばらくして異常燃焼し、当該製品を焼損した。 （火災）	事故原因は、当該製品が１年以上灯油を入れたまま使用されない状態であったため、カートリッジタンク内で不良灯油となり、点火後に異常燃焼が生じ、出火した可能性が考えられるが、当該製品の詳細が不明であることから、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/12/17)
A200900786 2009-2792 2009/12/09 （事故発生地） 埼玉県	石油温風暖房機（開放式） ダイニチ工業株式会社 FW-453L	火災が発生し、１名が死亡した。現場に当該製品があった。 （火災　死亡）	製品全体が焼損しており、基板等の部品は確認できなかった。一方、内部の送風用ファン、油経路、カートリッジタンク等に異常は認められなかった。製品内部からの出火ではないと推定されるが原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/12/21)
A200900813 2009-2962 2009/12/14 （事故発生地） 高知県	石油温風暖房機（開放式） 株式会社コロナ ＦＨ-ｉＸ３４５ＢＹ	当該製品のタイマー点火をセットしたところ、セットした時間頃に当該製品及び周辺が焼損する火災が発生した。 （火災）	調査の結果、当該製品の内部に焼損が無く、配線等の各部品に異常が無かったことから、外部からの延焼と考えられるが、電源コードの状態や電源プラグが確認できなかったことから、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/12/28)

製品区分：　03.燃焼器具

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事　故　通　知　内　容	事　故　原　因	再　発　防　止　措　置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200900815 2009-2964 2009/12/18 （事故発生地）北海道	石油給湯機 株式会社コロナ ＵＩＢ-3100ＴＸ	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	調査の結果、当該製品の制御基板及び同基板周辺の防音材の焼損が著しかったことから、当該製品内部の制御基板などから出火したものと考えられるが、基板周辺の焼損が著しいことから事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/12/28)
A200900845 2009-3028 2009/12/23 （事故発生地）千葉県	石油ふろがま 株式会社長府製作所 JPK-N3	異臭がしたので確認すると、当該製品付近から出火し、当該製品が焼損し、周辺が汚損した。 （火災）	調査の結果、当該製品の缶体と消音筒の接合部が腐食していたため、排気漏れが生じ、排気漏れの熱により近接にあった可燃物に着火し、火災に至ったものと考えられるが、当該製品のスイッチを切ってから約１０時間後に出火していることから、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/01/04)
A200900865 2009-3103 2009/12/31 （事故発生地）福島県	石油温風暖房機（開放式） 株式会社コロナ FH-323ＤＸＤ	今シーズン初めて当該製品のスイッチを入れ部屋を離れた。しばらくすると発煙していたため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。 （火災）	調査の結果、当該製品には異常燃焼、油漏れ、溶融痕等の出火痕跡は認められなかったが、製品全体の焼損が著しく、確認できない電気部品もあることから、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/01/12)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200900871 2009-3138 2009/12/31 （事故発生地）北海道	石油ストーブ（密閉式） 株式会社コロナ FF-68PR7	当該製品を点火し、その場を離れ戻ったところ、当該製品から出火しており、当該製品及び周辺が焼損した。 （火災）	調査の結果、当該製品の背面の床及び当該箇所に位置する電源コードが著しく焼損していたことから、電源コード等からの出火の可能性が考えられるが、当該製品の焼損が著しく、焼失などにより確認できなかった部品があることから、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/01/14)
A200900872 2009-3139 2010/01/05 （事故発生地）山梨県	石油ストーブ（開放式） 株式会社コロナ SX-1850	当該製品から出火したと思われる火災が発生し、１名が死亡した。 （火災　死亡）	調査の結果、燃焼筒を外した状態で点火操作を行ったため、異常燃焼が生じて出火したと考えられるが、詳細な使用状況が不明であることから、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/01/14)
A200900891 2009-3197 2009/11/10 （事故発生地）群馬県	ガスこんろ（ＬＰガス用） リンナイ株式会社 ＲＴＳ－３３６－２ＦＴＳ	火災が発生し、現場に当該製品があった。 （火災）	調査の結果、当該製品の焼損が著しく、使用されていたかどうかが不明であり、また、使用状況も不明であることから、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/01/18)

製品区分：　03.燃焼器具

No.0068

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200900921 2009-3374 2009/12/27 （事故発生地） 福岡県	石油ストーブ（開放式） 株式会社トヨトミ RCA-106	当該製品を点火し、部屋を離れ、しばらくして戻ったところ、当該製品から出火していた。 （火災）	燃焼筒ガラスに煤の付着が認められ、芯の噛み込み等により異常燃焼を起こした可能性が考えられるが、製品の保存状態が悪く原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/01/25)
A200900925 2009-3375 2010/01/15 （事故発生地） 京都府	屋外式ガス瞬間湯沸器（都市ガス用） ﾊﾟﾛﾏ工業株式会社 PH-16CW(50)	当該製品の排気口から炎が出ているのを発見した。当該製品が汚損していた。 （火災）	長期間使用（約１５年）によって、当該製品の熱交換器にススが詰まり不完全燃焼の未燃焼ガスが排気口内に滞留し、燃焼の火が引火したため排気口から炎が出たものと推定される。なお当該製品の排気口前方に洗濯物が干されていたことにより、排気ガスが再給気されて不完全燃焼を促進したことも一因と考えられる。したがって、事故原因は経年劣化および消費者の不注意によるものと判断される。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/01/26)
A200900931 2009-3377 2010/01/12 （事故発生地） 富山県	石油ストーブ（開放式） 株式会社コロナ SX-2200DX	当該製品を点火し、目を離したところ、当該製品から出火する火災が発生していた。 （火災）	調査の結果、異常燃焼や灯油漏れの痕跡が認められなかったが、事故品全体の焼損が著しいことから、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/01/27)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200900963 2009-3461 2010/01/24 （事故発生地） 熊本県	石油給湯機 株式会社　ノーリツ ＯＱＢ－４０５Ｙ	当該製品を使用中、異常に気付き確認すると、当該製品及び周辺が焼損する火災が発生していた。 （火災）	調査の結果、電磁ポンプから油漏れが無いことが確認できたが、当該製品及び建屋の焼損が著しく、確認できない部品があり、また、他の出火元となりうる製品等を回収できなかったことから、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/02/02)
A200900968 2009-3519 2010/01/27 （事故発生地） 愛媛県	石油ストーブ（開放式） 株式会社トヨトミ RCA-101	１名が倒れた状態で発見され、病院に搬送され、一酸化炭素中毒と診断された。現場に当該製品があった。 （重傷　CO中毒）	燃焼筒ガラスの内側及び脱臭フィルターに大量の煤が付着しており、脱臭フィルターが取付部から外れたまま使用されたため不完全燃焼を起こしたと推定される。脱臭フィルターが外れた原因については特定できなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/02/03)
A200900986 2009-3549 2010/01/27 （事故発生地） 香川県	石油給湯機 株式会社長府製作所 IB-3SM	当該製品を使用後、しばらくして異常に気付き確認したところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、長期間使用（約３２年）により、当該製品の底面が腐食して開いた穴から、燃焼ガスが吹き出し、油タンクから漏洩していた灯油に着火したため火災に至ったものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/02/08)

製品区分：　03.燃焼器具

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　　名	事　故　通　知　内　容	事　　故　　原　　因	再　発　防　止　措　置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200900988 2009-3550 2010/01/27 （事故発生地） 北海道	ガスこんろ（ＬＰガス用） パロマ工業株式会社（現株式会社パロマ） PA-38P-L	火災が発生し、２名が死亡した。現場に当該製品があった。 （火災　死亡）	当該製品の焼損が著しく当該製品の使用状態が不明であり、家屋全体の焼損が著しく出火元も含めて不明であるため、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/02/08)
A200901019 2009-3586 2010/02/03 （事故発生地） 北海道	ガスこんろ（ＬＰガス用） リンナイ株式会社 KGS-4000GF	当該製品及び周辺が焼損する火災が発生し、１名が重傷を負った。 （火災　重傷）	調査の結果、当該製品のグリル器具栓が開の位置であったことから、当該製品のグリル庫内から出火して火災に至ったものと考えられるが、焼損が著しく、使用状況が不明のため、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/02/12)
A200901041 2009-3975 2010/02/09 （事故発生地） 福井県	石油ストーブ（開放式） 株式会社　コロナ ＳＸ－３０８０Ｙ	建物が全焼し、１名が火傷を負う火災が発生した。 （火災）	事故原因は、カートリッジタンクに給油した後、カートリッジタンクのふたが完全にロックされていない状態であったために、本体に戻そうとふたを下にした際にふたが開き、こぼれた灯油が石油ストーブにかかり出火したものと考えられる。	製造事業者であるコロナ株式会社では、平成２０年９月１７日に新聞社告及びホームページにおいて、使用時の注意喚起・啓発を実施するとともに、対象製品について、無償点検・修理を実施している。	(受付:2010/02/19)

製品区分：　03.燃焼器具　　　　No.0071

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200901042 2009-3976 2010/02/06 （事故発生地） 千葉県	石油ストーブ（開放式） 株式会社コロナ ＳＸ-Ｃ２６０Ｙ	当該製品及び周辺が焼損する火災が発生した。 （火災）	調査の結果、消火せずに給油を行った際、灯油を給油口にこぼすなどで給油口周囲の口金受板凹み部分に灯油が溜まった状態で、カートリッジタンクを本体に戻すため給油口を下にしたことから、溜まっていた灯油が垂れ落ちて当該製品の燃焼部に掛かり、引火して火災に至った物と考えられるが、使用状況が不明のため、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/02/19)
A200901048 2009-3982 2010/02/17 （事故発生地） 長野県	石油給湯機 株式会社ノーリツ ＯＱＢ-４０７Ｙ	異音がしたため確認すると、当該製品下部から発煙・出火する火災が発生しており、当該製品が焼損した。 （火災）	調査の結果、当該製品のＯリングの成形不良に加え、制御弁を組み立てる際のＯリングの取付不良が加わり、制御弁から油が漏れて排気集合筒内に油が溜まり、その灯油に引火して製品内部を焼損したと考えられる。	株式会社ノーリツは、平成１５年１０月からＯリングの制御弁取り付け方法の改善及び平成２１年１１月１９日からＯリングの成形方法・検品方法の変更を行っている。	(受付:2010/02/19)
A200901068 2009-4057 2010/02/15 （事故発生地） 新潟県	石油温風暖房機（開放式） 株式会社コロナ KCF-464BY	当該製品及び周辺が焼損する火災が発生した。 （火災）	調査の結果、当該製品の燃焼部には、スス付着などの異常燃焼の痕跡が認められず、電気部品には、溶融痕などの発火痕跡が認められなかったことから、当該製品を使用中、温風吹出口近くの可燃物が引火して出火に至ったと考えられるが、使用状況が不明であることから、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/02/24)

製品区分：　03.燃焼器具

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200901072 2009-4059 2010/02/12 （事故発生地） 福島県	石油ストーブ（開放式） 株式会社コロナ ＳＸ-Ｅ３３１ＷＹ	当該製品から出火する火災が発生し、建物が全焼し、１名が負傷した。 （火災）	調査の結果、灯油を入れたカートリッジタンクを当該製品に装填しようとした際、タンクを当該製品にぶつけたため、当該製品のカートリッジタンクのふたが開き、灯油がこぼれ、当該製品に掛かり出火に至ったものと考えるが、カートリッジタンクの状況及び使用状況が不明であることから、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/02/25)
A200901073 2009-4060 2010/02/16 （事故発生地） 北海道	石油ストーブ（半密閉式） 株式会社コロナ ＳＶ-８５ＭＲ	当該製品を点火し、その場を離れたところ、火災報知器が鳴動したため確認すると、当該製品及び周辺が焼損する火災が発生していた。 （火災）	調査の結果、当該製品の異常燃焼、灯油漏れの痕跡がないことから、焼損が著しい製品背面側の電源コードからの出火の可能性が考えられるが、当該電源コードが焼失していることから、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/02/25)
A200901087 2009-4103 2010/02/22 （事故発生地） 愛知県	屋外式ガス給湯付ふろがま（都市ガス用） 株式会社ノーリツ ＧＴ-１６１ＡＲ	当該製品及び当該製品の上に置いてあった可燃物が焼損する火災が発生した。 （火災）	調査の結果、電気とガス・水道が供給された状態で長期間使用（約１５年）されていなかった。製品内部に器具に漏水による腐食が生じ、その影響により、制御回路に異常が生じて点火した可能性が考えられるが、使用状況が不明のため、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/03/01)

製品区分：　03.燃焼器具

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200901099 2009-4132 2010/02/21 （事故発生地） 京都府	石油給湯機付ふろがま 株式会社長府製作所 ＪＩＢ-７ＳＧ	入浴中、ブレーカーが作動したため確認すると、当該製品から発煙・出火する火災が発生していた。 （火災）	調査の結果、当該製品のバーナーOパッキン及び燃焼室内部の断熱材に灯油の染み込みが認められたことから、ふろがまバーナーノズルの噴霧不良等により、未燃灯油が燃焼室内部に滞留し、燃焼室外に漏洩したため、火災に至ったものと考えられるが、漏れ出した灯油への着火元を特定することができず、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/03/05)
A200901103 2009-4134 2010/02/17 （事故発生地） 大阪府	ガスこんろ（ＬＰガス用） ﾊﾟﾛﾏ工業株式会社 PKS-408	建物が全焼する火災が発生し、１名が火傷を負った。現場に当該製品があった。 （火災）	当該製品の全ての器具栓の鋼製の点火つまみ軸位置が「閉」であったことより、使用状態でなかった可能性が高いものの、製品の焼損が激しく、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/03/05)
A200901106 2009-4166 2010/02/24 （事故発生地） 北海道	石油ストーブ（半密閉式） 株式会社コロナ UH-85MR3	当該製品を使用中、当該製品の操作部から出火し、当該製品及び周辺が焼損した。 （火災）	調査の結果、本体操作部内の基板や電源コードの接続端子部等から出火した可能性が考えられるが、当該製品の焼損が著しく、焼失した部品（表示基板、操作基板、リレー基板）が確認できなかったことから、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/03/08)

製品区分：　03.燃焼器具

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200901110 2009-4168 2010/03/02 （事故発生地） 東京都	屋外式ガス瞬間湯沸器（都市ガス用） リンナイ株式会社 RUJ-V2010W	当該製品を使用中、お湯が出なくなったため確認すると、発煙しており、当該製品の基板が焼損していた。 （火災）	調査の結果、水量制御装置のモーターブラシ先端が折れ、ブラシが接触してショートしたため基板のＩＣが損傷するとともに、その周辺部の基板が焼損して発煙に至ったものと考えられるが、モーターブラシが折れた原因の特定ができなかったことから、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/03/09)
A200901120 2009-4200 2010/02/26 （事故発生地） 東京都	石油ストーブ（開放式） シャープ株式会社（三菱電機株式会社ブランド） KB-C22（三菱電機株式会社ブランド）	火災が発生し、現場に当該製品があった。 （火災）	調査の結果、事故当時の詳細な情報が得られず、当該製品の使用状況及び状態が不明なため、出火元を含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/03/12)
A200901127 2009-4254 2010/03/05 （事故発生地） 千葉県	石油ストーブ（開放式） 株式会社コロナ RX-229Y	建物が全焼する火災が発生した。現場に当該製品があった。 （火災）	調査の結果、当該製品の周辺の焼損が著しかったが、前回使用時から事故発生までに時間が経っていたこと及び事故当時の状況が不明であることから、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/03/15)

製品区分：　03.燃焼器具

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200901136 2009-4280 2010/03/03 （事故発生地） 愛知県	石油ふろがま 株式会社長府製作所 CK-11S	当該製品で風呂を沸かしたところ、当該製品及び周辺が焼損する火災が発生した。 （火災）	調査の結果、長期間の使用（約２０年）によりノズルに異物が付着して噴霧不良が生じたため、燃焼筒内部に未燃灯油が滞留し、バーナー等の炎が引火したことにより火災に至ったものと考えられるが、当該製品の基板が焼失しており、確認ができなかったことから、事故原因の特定には至らなかった。	当該事故事象とは、別事象であるが、株式会社長府製作所は、当該製品を含む点検用コネクターが付属されている対象機種について、平成１９年７月２７日にプレスリリースを行い、無償点検・改修を実施し、平成１９年７月２８日に新聞社告を掲載するとともに、販売店・サービス店を通じ、チラシ、ポスター、ＴＶＣＭやホームページ等による改修の呼び掛けを行っている。	(受付:2010/03/18)
A200901140 2009-4307 2010/03/10 （事故発生地） 岩手県	灯油供給機 佐鳥エス・テック株式会社 OS-302U	当該製品付近から出火する火災が発生し、当該製品が焼損した。 （火災）	調査の結果、当該製品の基板の電源コードはんだ付け部近傍の焼損が著しく、溶融痕が見られたことから、はんだ付け不良などにより出火に至ったものと考えられるが、電源コードはんだ付け部周辺の焼損が著しいため、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/03/19)
A200901162 2009-4339 2010/02/03 （事故発生地） 新潟県	石油ストーブ（開放式） 株式会社コロナ SX-3060	当該製品から出火する火災が発生し、建物が全焼し、１名が火傷を負った。 （火災）	調査の結果、給油のために当該製品を消火して給油後、カートリッジタンクを本体に戻す際、周囲にぶつけたため、タンクのふたが開き、こぼれた灯油が当該製品に掛かって引火に至ったものと考えられるが、当該製品のカートリッジタンクは焼損が著しく半ロックが生じたこと及び使用状況が、不明であることから、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/03/26)

製品区分：　03.燃焼器具

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事　故　通　知　内　容	事　故　原　因	再　発　防　止　措　置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201000047 2010-0326 2010/04/07 （事故発生地） 大阪府	開放式ガス温風暖房機（都市ガス用） リンナイ株式会社（大阪ガス株式会社ブランド） RC-214（大阪ガス株式会社ブランド：型式1-043-560）	当該製品を使用中、異臭がしたため確認すると、当該製品から発煙する火災が発生し、当該製品が焼損していた。 （火災）	調査の結果、当該製品の樹脂製天板は、外側に比べて内側の焼損が強く、燃焼室の空気取り入れ口付近に焼損が認められたが、天板を除く外郭や内部には、焼損の痕跡は認められなかったことから、燃焼室上方の天板付近が何らかの要因で高温となり、天板を焼損したものと考えられるが、詳細な使用状況などが不明のため、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/04/15)
A201000072 2010-0570 2010/03/23 （事故発生地） 埼玉県	石油温風暖房機（開放式） ダイニチ工業株式会社 FW-571LX	建物３棟が全焼し、１名が死亡、２名が負傷する火災が発生した。現場に当該製品があった。 （火災　死亡　重傷）	当該製品は、焼損が著しく、また激しい外力を受けて原型を留めない程に変形していた。確認できない部品もあり、使用状況も不明のため、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/04/23)
A201000081 2010-0600 2010/03/10 （事故発生地） 鹿児島県	ガスこんろ（都市ガス用） リンナイ株式会社 RTS-3SGE1	当該製品を使用後、当該製品から出火する火災が発生し、当該製品が焼損した。 （火災）	調査の結果、器具栓内のロッド部に取り付けられているガスシール用のＯリングが摩耗したため、ガス漏れが発生し、バーナーの火が引火したものと推定されるが、Ｏリングが摩耗した原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/04/26)

製品区分： 03.燃焼器具

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事　故　通　知　内　容	事　故　原　因	再　発　防　止　措　置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A201000083 2010-0602 2010/04/15 （事故発生地） 青森県	石油給湯機付ふろがま 株式会社コロナ UKB-3300TXA(FF)	当該製品に接続された排気管に巻き付けた断熱材から発煙し、当該断熱材が焼損した。 （火災）	調査の結果、当該製品のサイレンサ内部の吸音材に未燃灯油がしみ込み、気化した灯油がサイレンサ及び排気筒内で引火したため、排気管が高温となって事故に至ったと考えられるが、油漏れから発火に至る原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/04/26)
A201000106 2010-0631 2010/04/18 （事故発生地） 滋賀県	石油ストーブ（開放式） 株式会社コロナ SX-C180	建物が焼損（うち２棟全焼）し、４名が負傷する火災が発生した。現場に当該製品があった。 （火災）	調査の結果、当該製品は、火災前に異常はなく、異常燃焼や油漏れの痕跡は認められなかったことから、事故原因は、使用者が当該製品の側を通った際に、近くにあった可燃物が、当該製品付近に落下し引火して火災に至った可能性が考えられるが、当該製品の焼損が著しく、詳細な使用状況などが不明のため、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/04/30)
A201000107 2010-0632 2010/04/18 （事故発生地） 新潟県	石油ストーブ（開放式） 株式会社コロナ SX-2250	当該製品から出火する火災が発生し、建物が全焼し、１名が負傷した。 （火災）	調査の結果、使用者が、給油後、当該製品のカートリッジタンクを本体に戻そうとした際に、タンクのフタが開き、こぼれ出た灯油が当該製品に掛かって火災に至ったものと考えられるが、詳細な使用状況が不明のため、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/04/30)

製品区分：　03.燃焼器具

No. 0078

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201000114 2010-0676 2010/04/25 （事故発生地） 北海道	石油ストーブ（半密閉式） 株式会社トヨトミ HR-683D	当該製品から出火し、当該製品が焼損する火災が発生した。 （火災）	当該製品内部の電気部品からの出火や異常燃焼の痕跡は認められなかったものの、製品の焼損が著しく、使用状況も不明なため、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/05/06)
A201000183 2010-1001 2010/02/12 （事故発生地） 岡山県	石油温風暖房機（開放式） シャープ株式会社 OK-H35X	建物が全焼し、１名が負傷する火災が発生した。現場に当該製品があった。 （火災）	調査の結果、当該製品の残存部品には発火の痕跡は確認されなかったが、焼失している部品もあるなど、当該製品の焼損が著しいため、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/05/31)
A201000194 2010-1026 2010/04/25 （事故発生地） 滋賀県	ガスこんろ（ＬＰガス用） リンナイ株式会社 RTS-336WNTS	建物が全焼し、１名が死亡する火災が発生した。現場に当該製品があった。 （火災　死亡）	調査の結果、当該製品は変形や焼損が著しく、また、グリル庫内に焼損物が認められないこと及び使用状況が不明なため、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/06/03)

製品区分：　03.燃焼器具

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201000246 2010-1199 2010/06/17 （事故発生地）神奈川県	屋外式ガス給湯付ふろがま（都市ガス用） 株式会社ノーリツ GT-1611ARX（東京ガス株式会社ブランド）	当該製品付近より異音がしたため確認すると、当該製品及び周辺が焼損していた。 （火災）	調査の結果、当該製品の内部はガラリのある左側が腐食していたことから、当該製品の外部から水が侵入し、ガスパイプを腐食させ、穴を空けたため、そこから漏洩したガスに点火プラグのスパークが着火して事故に至ったと考えられるが、ガスパイプが腐食に至る程度の水が侵入した要因が不明であるため、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/06/23)
A201000293 2010-1356 2010/06/30 （事故発生地）熊本県	屋外式ガス瞬間湯沸器（ＬＰガス用） 高木産業株式会社 TP-SQ204R-1	当該製品を使用中、異臭がしたため確認すると、当該製品が汚損し、周辺が焼損する火災が発生していた。 （火災）	事故原因は、長期間使用（約１４年）により、当該製品の熱交換器へのススの付着が経年的に徐々に進行したことにより、通気性が低下して不完全燃焼し、ススで熱交換器が閉塞状態となったため、未燃焼ガスが排気口付近で燃焼して、火災に至ったものと考えられる。）	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/07/08)
A201000414 2010-2112 2010/08/05 （事故発生地）岐阜県	ガスカートリッジ直結型ガスこんろ パール金属株式会社 M-8254	キャンプ場にてこんろが２口ある当該製品で調理中、当該製品の２個あるうちの１個のボンベが空になったため、もう一方のこんろの炎を消さずにボンベを交換したところ、こんろとボンベの接続部から漏れたガスに引火したと思われる火災が発生し、３名が重傷、２名が軽傷の火傷を負った。当該製品及び周辺が焼損した。 （火災　重傷）	事故原因は、長期（１８年）間使用された当該製品の器具栓内のＯリングパッキンが、ガスボンベねじ部の締付けの繰り返しなどで劣化損傷してガスの気密性が無くなっており、気密性を補完するガスボンベのＯリングパッキンも当該製品への締付け過ぎでねじれてずれてしまったため、隙間が生じて当該製品とガスボンベの接続部からガス漏れが発生してバーナの火が引火し、引火した炎の熱によりガスボンベ内部の樹脂製バルブが溶融・脱落してボンベのノズルでさらに隙間が生じ、ガスボンベを当該製品から取り外したときにガスボンベのノズルからガスが噴出して炎が噴き出し、周辺に延焼して火災に至ったものと考えられる。	事業者は平成５年８月からガスボンベの取付けを容易にするため、器具栓案内部（ガイド）の改善及び平成６年２月からガスボンベの締め込み過ぎによるＯリングの変形及び損傷防止のため、器具栓の改善を行っている。	(受付:2010/08/17)

製品区分：　03.燃焼器具

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201000489 2010-2394 2010/08/20 （事故発生地） 埼玉県	ガスこんろ（ＬＰガス用） パロマ工業株式会社 IC-700B-R	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	当該製品は、器具の内側よりも外側の焼損が著しいものの、家人が留守中の火災であり使用状況などが不明なため、製品起因か否かも含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/09/06)
A201000522 2010-2600 2010/09/09 （事故発生地） 秋田県	石油給湯機付ふろがま タカラスタンダード株式会社 FDW-470FFA	当該製品のリモコンが警報を発していたため確認すると、当該製品後方から出火する火災が発生しており、当該製品が焼損、周辺が汚損した。 （火災）	調査の結果、当該製品の送油管とバーナーの接続部のＯリングが硬化して灯油漏れが認められ、バーナーパッキンには灯油の浸み込みが認められたことから、送油管とバーナーの接続部から漏れ出た灯油に、何らかの要因により引火したと考えられるが、当該製品の焼損が著しいため、原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/09/16)
A201000590 2010-2824 2010/10/07 （事故発生地） 北海道	石油ふろがま 株式会社トヨトミ AF-210F	当該製品に点火し、その場を離れたところ、浴槽から出火する火災が発生し、当該製品及び周辺が焼損した。 （火災）	当該製品には空焚きとみられる痕跡が認められ、空焚き状態となって火災に至ったものと考えられる。当該製品には、空焚き防止装置が付いていたが、詳細な使用状況などが不明のため、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/10/15)

製品区分：　03.燃焼器具

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201000614 2010-2937 2010/09/29 （事故発生地） 岩手県	石油温風暖房機（開放式） シャープ株式会社 OK-M32X	建物が全焼する火災が発生し、１名が死亡した。 （火災　死亡）	調査の結果、当該製品の残存部品には発火の痕跡及び、出火に至る異常は認められなかったが、当該製品の焼損が著しく、焼失し確認できない部品もあり、詳細な使用状況も不明なため事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/10/28)
A201000626 2010-2970 2010/10/24 （事故発生地） 群馬県	屋外式（ＲＦ式）ガス瞬間湯沸器（ＬＰガス用） 高木産業株式会社 TP-SQ160R-1	当該製品を使用中、ブレーカーが作動したため確認すると、当該製品の排気口から発煙しており、当該製品の一部が焼損し、周辺が汚損する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、長期間使用（約２０年）により、給気経路に土埃などが浸入しつづけ、給気が妨げられて給気不足となったため、不完全燃焼が生じてススが発生し、ススの付着によって熱交換器フィン部右側が閉塞されたことから、不完全燃焼の炎が、熱交換器外郭の左側にある基板などを過熱し、火災に至ったものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/11/01)
A201000631 2010-2972 2010/10/22 （事故発生地） 青森県	石油給湯機（薪兼用） 株式会社　ノーリツ EB-1200	当該製品を薪焚きで使用した後、しばらくすると異音がしたので確認すると、当該製品の灯油タンクと薪が置かれていたボイラー室から出火する火災が発生していた。同火災により建物が二棟全焼し、現場に当該製品があった。 （火災）	調査の結果、当該製品の焼損は著しいが、変形などの爆発の痕跡が認められず、薪が消火してから３時間後に室内から出火していることから、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/11/02)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事　故　通　知　内　容	事　故　原　因	再　発　防　止　措　置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201000647 2010-3029 2010/09/28 （事故発生地） 鹿児島県	石油給湯機 TOTO株式会社［製造：東陶ユプロ株式会社（解散）］ RQH30S	当該製品を使用中、ブレーカーが作動したため確認すると、当該製品内部を焼損する火災が発生していた。 （火災）	調査の結果、当該製品の基板の電源回路部の電源入力コネクターまたは、コンデンサーの端子のはんだ付け不良、あるいは、コンデンサーの絶縁劣化により異常発熱して出火したものと推定されるが、端子のはんだ付け部及びコンデンサーが焼失しているため、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/11/08)
A201000661 2010-3061 2010/11/02 （事故発生地） 北海道	石油ストーブ（密閉式） サンポット株式会社 FF-383BF	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生し、建物が半焼、１名が火傷を負った。 （火災）	調査の結果、当該製品内部の定油面器周辺で何らかが出火し、定油面器などを溶融して油が漏れて火災が拡大した可能性も考えられるが、当該製品の焼損が著しく、発火源が特定できないため、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/11/11)
A201000672 2010-3065 2010/11/03 （事故発生地） 兵庫県	ガスこんろ（都市ガス用） リンナイ株式会社（大阪ガス株式会社ブランド） RTS-400VA(大阪ｶﾞｽ株式会社ﾌﾞﾗﾝﾄﾞ:型式10-837)	当該製品を使用中、火災が発生し、当該製品及び周辺が焼損した。 （火災）	調査の結果、当該製品は焼損が著しいため、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/11/12)

製品区分：　03.燃焼器具

No.0083

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事　故　通　知　内　容	事　故　原　因	再　発　防　止　措　置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201000679 2010-3099 2010/11/11 （事故発生地）兵庫県	石油給湯機 株式会社ノーリツ OQB-3000Y	当該製品から発煙する火災が発生し、当該製品及び周辺が焼損した。 （火災）	調査の結果、当該製品の焼損が著しいため、製品内部から出火したものか外部からの延焼により出火したものか特定できず、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/11/17)
A201000703 2010-3170 2010/11/13 （事故発生地）静岡県	屋外式（ＲＦ式）ガス給湯付ふろがま（ＬＰガス用） 高木産業株式会社 TP-FQ161R-2	当該製品を使用して浴槽にお湯を溜めていたところ、異臭がしたため確認すると、当該製品の一部が汚損し、周辺が焼損していた。 （火災）	事故原因は、長期間使用（約１６年）により、給湯側熱交換器内部の水路に亀裂が発生したことにより水漏れが生じ、製品内部に水が侵入したため、不完全燃焼を起こし、排気口から出た未燃ガスがフィンから剥がれたスス（火の粉）を発火源として燃焼し、火災に至ったものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/11/24)
A201000722 2010-3233 2010/11/18 （事故発生地）静岡県	石油温風暖房機（開放式） ダイニチ工業株式会社 FW-3050S	建物が全焼し、１名が死亡する火災が発生した。現場に当該製品があった。 （火災　死亡）	当該製品自体の焼損が著しく、また、製品背面のテレビ台が著しく焼損しており、他の出火元の可能性も考えられることから、製品起因か否かも含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/11/29)

製品区分：　03.燃焼器具

No.0084

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201000749 2010-3333 2010/11/24 （事故発生地） 北海道	油だき温水ボイラ サンポット株式会社 HUG-331WFRF	当該製品から発煙する火災が発生し、ブレーカーが作動した。当該製品が焼損し、周辺が汚損した。 （火災）	調査の結果、漏電遮断機の電源入力端子部の焼損が著しく、当該部に接続される電源コード端子のネジの締め付けが不十分であったため、接触不良が生じて異常発熱し、出火したものと考えられるが、当該箇所が溶融しているため、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/12/09)
A201000754 2010-3334 2010/11/28 （事故発生地） 秋田県	石油ストーブ（半密閉式） 株式会社コロナ UH-85MR2	当該製品を消火後、しばらくして、火災報知器が鳴動したため確認すると、当該製品から発煙・出火する火災が発生し、当該製品及び周辺が焼損した。 （火災）	調査の結果、当該製品の操作パネル部の焼損が著しいことから、リレー基板の電源コードまたはサポートヒーターの接続端子部から出火したものと考えられるが、リレー基板の接続端子部周辺が消失して確認できないため、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/12/09)
A201000781 2010-3431 2010/12/01 （事故発生地） 北海道	石油ストーブ（開放式） 株式会社コロナ SX-1820	当該製品を消火後、当該製品から給油タンクを取り外して給油を行い、給油タンクを当該製品に戻そうとした際、灯油がこぼれ、当該製品から出火する火災が発生した。当該製品及び周辺が焼損し、１名が負傷した。 （火災）	調査の結果、使用者が当該製品を消火して当該製品のワンタッチ式カートリッジタンクに給油後、カートリッジタンクを本体に戻そうとした際に、カートリッジタンクのふたが開いて灯油がこぼれ、高温の余熱がある当該製品に灯油がかかって出火し、火災に至ったものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。製造事業者である株式会社コロナは、平成２０年９月１７日プレスリリース、平成２０年９月１８日新聞社告を掲載し、石油ストーブ等に付属するカートリッジタンク（よごれま栓タンク）使用時の注意喚起・啓発を実施するとともに、２０００年以前の給油タンクについては無償点検・修理を実施することで、積極的に事故の発生防止を実施している。	(受付:2010/12/20)

製品区分：　03.燃焼器具

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201000795 2010-3504 2010/12/18 （事故発生地） 京都府	開放式ガス温風暖房機（ＬＰガス用） リンナイ株式会社（大阪ガス株式会社ブランド） RC-A338E-2(大阪ガス株式会社ブランド：型式140-9163)	建物が全焼し、１名が負傷する火災が発生した。 （火災）	調査の結果、当該製品は焼損が著しく、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/12/27)
A201000817 2010-3712 2010/12/22 （事故発生地） 兵庫県	ガスこんろ（ＬＰガス用） パロマ工業株式会社 PA-2200CE	当該製品で調理中、当該製品を焼損する火災が発生した。 （火災）	当該製品の器具栓樹脂部および操作ボタンが焼損していた。器具栓ロッド部から漏れたガスにバーナーの炎が引火したものと考えられるが、ロッド部のＯリングが焼失しているため、原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2011/01/06)
A201000822 2010-3746 2010/12/30 （事故発生地） 東京都	屋外式（ＲＦ式）ガス瞬間湯沸器（都市ガス用） 高木産業株式会社 TP-GQ10R	当該製品を使用中、当該製品から発煙・出火する火災が発生し、当該製品が焼損した。 （火災）	事故原因は、長期間使用（約２６年）により、運転スイッチ端子のはんだ付け部で接触不良による異常発熱が発生し、発火に至ったものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2011/01/11)

製品区分：　03.燃焼器具

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201000840 2010-3775 2011/01/12 （事故発生地） 兵庫県	屋外式（ＲＦ式）ガス給湯付ふろがま（ＬＰガス用） 株式会社ノーリツ GT-162AR	当該製品で給湯中、お湯が冷たくなり、また煙に気付いたことから確認すると、火災が発生しており、建物が半焼した。 （火災）	調査の結果、当該製品は長期間使用（約１８年）により給湯側熱交換器がススで閉塞して不完全燃焼となり、未燃ガスが排気口付近で燃焼し、排気口から炎が出て前方の可燃物に着火した可能性が考えられるが、当該製品の焼損が著しく可燃物の詳細な設置状況が不明のため、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2011/01/14)
A201000866 2010-3898 2011/01/11 （事故発生地） 福岡県	石油給湯機 長州産業株式会社 CXM-352	当該製品を使用中、ブレーカーが作動し、異臭がしたため確認すると、当該製品から出火する火災が発生しており、当該製品が焼損した。 （火災）	事故原因は、長期間使用（約２０年）により、ノズルおよび点火電極にススが付着し点火性が悪くなっていたところ、再点火を繰り返して使用していたことから、燃焼室内に未燃焼灯油がたまり、たまった灯油に着火したため異常燃焼が発生してバーナー外側へ延焼したものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2011/01/21)
A201000872 2010-3924 2011/01/12 （事故発生地） 山形県	石油温風暖房機（開放式） ダイニチ工業株式会社 FB-564LD	当該製品を使用中、給油をするため消火をせずにカートリッジタンクを取り出したところ、口金が外れ、漏れた灯油に引火する火災が発生し、当該製品及び周辺が焼損、消火の際に１名が負傷した。 （火災）	当該製品のカートリッジタンクのふたのロック操作が確実でなかったため、ふたが外れ漏れた灯油に引火したものと考えられるが、詳細な使用状況などが不明のため、製品起因か否かも含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2011/01/24)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201000885 2010-3987 2011/01/14 （事故発生地） 富山県	開放式ガス温風暖房機（ＬＰガス用） リンナイ株式会社 RC-400	当該製品の点火操作を繰り返したところ、当該製品から出火する火災が発生し、建物が全焼、１名が火傷を負った。 （火災）	調査の結果、当該製品は焼損が著しく、確認できない部品があり、また、製品内部からのガス漏れも確認できないことから、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2011/01/27)
A201000893 2010-3988 2011/01/18 （事故発生地） 神奈川県	石油温風暖房機（開放式） 株式会社コロナ FH-554DXR	当該製品を点火してしばらくして火災報知器が鳴動したため確認すると、当該製品及び周辺が焼損する火災が発生していた。 （火災）	調査の結果、当該製品の基板のスパークキラー（燃焼モーターから発生するノイズ除去回路）取付部周辺から出火したものと推定されるが、スパークキラーは消失していることから確認できず、基板の焼損も著しいため、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2011/01/28)
A201000904 2010-4078 2010/12/24 （事故発生地） 愛知県	石油ストーブ（開放式） 株式会社コロナ SX-C260Y	当該製品を消火せずにカートリッジタンクを抜き、給油後、カートリッジタンクを戻す際に灯油がこぼれ、当該製品が焼損した。 （火災）	調査の結果、当該製品のワンタッチ式カートリッジタンクに給油後、使用者が完全にふたを閉めなかったことにより、カートリッジタンクのふたが半ロック状態で維持されたため、カートリッジタンクを本体に戻す際、カートリッジタンクのふたが開いて灯油がこぼれ、当該製品にかかって出火し、火災に至ったものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。製造事業者である株式会社コロナは、平成２０年９月１７日プレスリリース、平成２０年９月１８日新聞社告を掲載し、石油ストーブ等に付属するカートリッジタンク（よごれま栓タンク）使用時の注意喚起・啓発を実施するとともに、２０００年以前の給油タンクについては無償点検・修理を実施することで、積極的に事故の発生防止を実施している。	(受付:2011/01/31)

製品区分：　03.燃焼器具

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201000905 2010-4079 2011/01/10 （事故発生地） 兵庫県	石油ストーブ（開放式） 株式会社コロナ SX-3020	当該製品の消火操作をした後、カートリッジタンクを抜いて給油し、カートリッジタンクを戻す際、カートリッジタンクの入りが悪かったため、再度抜いたところ、灯油がこぼれて当該製品が焼損、建物が半焼する火災が発生し、消火の際に１名が負傷した。 （火災）	調査の結果、当該製品はカートリッジタンクを含め焼損が著しく、事故当時の詳細な状況も不明であるため、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2011/01/31)
A201000907 2010-4081 2010/12/29 （事故発生地） 神奈川県	石油温風暖房機（開放式） 株式会社トヨトミ LC-L347(RO)(W)	当該製品の給油タンクに給油後、点火し、その場を離れ、しばらくすると当該製品の警報が鳴動した。運転スイッチを切ったが、異臭がしたため確認すると、当該製品の下部から出火する火災が発生しており、当該製品及び周辺が焼損した。 （火災）	周囲には、他に出火源となるものはなく、当該製品から出火したと推定されるが、製品内部の焼損が著しく、基板や内部配線がほとんど残っていないことから、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2011/01/31)
A201000927 2010-4236 2010/12/28 （事故発生地） 愛媛県	石油ストーブ（開放式） 株式会社トヨトミ RS-H293E	１棟が全焼し、隣接する２棟が延焼する火災が発生し、１名が死亡した。現場に当該製品があった。 （火災　死亡）	当該製品に異常燃焼の痕跡は認められなかったが、製品全体の焼損が著しく、事故当時の使用状況も不明のため、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2011/02/07)

製品区分：　03.燃焼器具

No.0089

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事　故　通　知　内　容	事　故　原　因	再　発　防　止　措　置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A201000955 2010-4338 2010/12/21 （事故発生地） 宮城県	石油ストーブ（開放式） 株式会社コロナ SX-E210Y	２棟が全焼し、１名が死亡する火災が発生した。現場に当該製品があった。 （火災　死亡）	調査の結果、当該製品のワンタッチ式カートリッジは給油口のふたが開いた状態で発見されたことから、当該製品のカートリッジタンク給油口ふたを確実に締めなかったか、給油口ふたの半ロック状態であったため、カートリッジタンクのふたが開いて、灯油がこぼれて引火したと考えられるが、カートリッジタンクの焼損が著しいことから、給油口ふたのロックの状況が確認できず、使用状況の詳細も不明であるため、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2011/02/14)
A201000960 2010-4341 2011/01/06 （事故発生地） 北海道	石油ストーブ（密閉式） 株式会社トヨトミ FFA-80	当該製品及び周辺が焼損する火災が発生した。 （火災）	当該製品は内部から出火した可能性が高いが、事故品が既に廃棄されており製品の調査ができず、使用時の詳細な状況も不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2011/02/14)
A201001002 2010-4457 2011/02/15 （事故発生地） 長崎県	開放式ガス瞬間湯沸器（ＬＰガス用） リンナイ株式会社 RUS-5BX	当該製品の点火操作を行ったが点火しなかったため、再度点火操作を行ったところ、しばらくして当該製品上部から出火する火災が発生し、当該製品が焼損した。 （火災）	調査の結果、当該製品の燃焼・出湯状態から出湯停止操作を行った際、当該製品の水ガバナのＯリング摩耗の水漏れによる腐食でガス弁が開いたまま固着していたことに加え、出湯が停止した後も何らかの要因で当該製品のガス栓軸が戻らなかったため、燃焼が継続して空焚き状態となり、当該製品が焼損したものと考えられるが、ガス栓軸が戻らなかった原因の特定はできなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2011/02/24)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事　故　通　知　内　容	事　故　原　因	再　発　防　止　措　置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201001028 2010-4535 2011/02/16 （事故発生地） 神奈川県	ガスこんろ（都市ガス用） パロマ工業株式会社（現株式会社パロマ） PKM-E504B-R	当該製品で調理中、当該製品が焼損、建物が３棟全焼、１名が死亡する火災が発生した。 （火災　死亡）	当該製品で加熱していた油が発火し、事故に至った可能性が考えられるが、詳細な使用状況が不明であり、当該製品の焼損が著しいため、製品起因か否かも含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2011/03/03)
A201001046 2010-4591 2011/02/22 （事故発生地） 山形県	石油給湯機付ふろがま 株式会社コロナ UKB-3300TX（F）	当該製品が焼損する火災が発生した。 （火災）	調査の結果、当該製品は、内部の電磁ポンプ及びファンモーター周辺の焼損が著しく、電磁ポンプのＯリングに亀裂や発泡状の焼損が認められたことから、当該製品内部の電磁ポンプのＯリングから灯油が漏れ、何らかの原因により漏れた灯油に引火し、当該製品を焼損したと考えられるが、Ｏリングの焼損が著しく、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2011/03/07)
A201001050 2010-4592 2011/02/26 （事故発生地） 北海道	半密閉式（ＦＥ式）ガス瞬間湯沸器（ＬＰガス用） パロマ工業株式会社（現株式会社パロマ） PH-16CBF	当該製品を使用中、当該製品後方から発煙する火災が発生し、当該製品が焼損した。 （火災）	当該製品は、長期間（約２１年）メンテナンスが行われないまま使用されていたため、製品内部への埃とススの堆積により燃焼室内が異常な高温となった。これが長年に渡り繰り返されて断熱材が剥がれたため、製品の後パネルが加熱して発煙に至ったものと推定される。したがって、事故原因は経年劣化によるものと判断される。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2011/03/07)

製品区分： 03.燃焼器具

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201001084 2010-4653 2011/02/24 （事故発生地） 北海道	石油ふろがま 株式会社コロナ BS-2010GSD	当該製品及び周辺が焼損する火災が発生した。 （火災）	調査の結果、当該製品は焼損が著しく、電源コードなど確認できない部品があることから、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2011/03/14)
A201001087 2010-4688 2011/03/04 （事故発生地） 東京都	半密閉式（ＣＦ式）ガス瞬間湯沸器（都市ガス用） パロマ工業株式会社（現株式会社パロマ） PH-24A(40)	店舗において、当該製品を使用中、ダクトと天井の隙間から出火する火災が発生し、当該製品及び周辺が焼損した。 （火災）	当該製品は、業務使用で長期間使用（約１２年）により、点火・消火機構のスピンドルが戻り不良となって、残火が生じて燃焼筒胴部が過熱し、胴部に付着していた油汚れや埃が燃えて、火がダクト内に入り、ダクト内に堆積していた粉じんや油汚れに着火し、火災に至ったものと推定される。したがって、事故原因は経年劣化によるものと判断される。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2011/03/15)
A201001105 2010-4739 2011/02/22 （事故発生地） 大阪府	石油温風暖房機（開放式） ダイニチ工業株式会社 FW-322S	当該製品が焼損し、周辺が汚損する火災が発生し、１名が火傷を負った。 （火災）	当該製品を消火せずに給油し、カートリッジタンクのふた（ネジ式）を十分に締めなかったため、ふたが外れてこぼれた灯油に引火した可能性が考えられるが、事故時の詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2011/03/22)

製品区分：　03.燃焼器具

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201001107 2010-4740 2011/03/08 （事故発生地） 東京都	屋外式（ＲＦ式）ガス瞬間湯沸器（都市ガス用） 高木産業株式会社 TP-PS16HX	熱湯が出ないため確認すると、当該製品及び周辺が焦げていた。 （火災）	事故原因は、長期間使用（約２３年）により、熱交換器にススや燃焼生成物が詰まり、不完全燃焼が生じていたため、湯温が上昇せず、排気口周辺が過熱し、当該製品及び周辺を焦がしたものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2011/03/22)
A201001111 2010-4743 2011/03/14 （事故発生地） 北海道	石油ストーブ（開放式） 株式会社コロナ SX-1870	当該製品及び周辺が焼損する火災が発生した。 （火災）	調査の結果、当該製品のワンタッチ式カートリッジタンクは、社告事象の半ロック状態が認められたことから、使用者が、当該製品を使用中に給油を行い、ふたをきちんと締めなかったため、当該製品本体に挿入しようとした際に、灯油がこぼれて出火したと考えられるが、使用状況の詳細が不明であるため、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2011/03/23)
A201100041 2011-0224 2011/04/09 （事故発生地） 山梨県	石油給湯機付ふろがま 株式会社ノーリツ（株式会社ハウステックブランド） ORM-300Y（株式会社ハウステックブランド：型式KZO-300）	当該製品を使用中、当該製品から出火する火災が発生しており、当該製品及び周辺が焼損した。 （火災）	調査の結果、当該製品は長期間使用（２６～２８年）により給湯バーナー組み付け部に隙間が生じて高温の排気が漏れ、当該製品の内部を焼損した可能性が考えられ、当該製品内部からの出火であると考えられるが、当該製品の焼損が著しく、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2011/04/18)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事　故　通　知　内　容	事　故　原　因	再　発　防　止　措　置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201100074 2011-0378 2011/04/18 （事故発生地） 山口県	屋外式（ＲＦ式）ガス瞬間湯沸器（ＬＰガス用） 高木産業株式会社 TP-SQ164R-1	当該製品を使用中、異臭がしたため確認すると、当該製品から発煙する火災が発生しており、当該製品が焼損し、周辺が汚損した。 (火災)	調査の結果、当該製品の右側バーナー部に過熱痕跡が認められたことから、右側バーナー部が異常燃焼して過熱したものと考えられるが、ガス電磁弁等各部の動作に異常は認められず事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2011/04/27)
A201100148 2011-0571 2011/03/24 （事故発生地） 三重県	石油温風暖房機（開放式） ダイニチ工業株式会社 FW-3040S	建物が全焼、近隣の建物に延焼する火災が発生し、１名が火傷を負った。現場に当該製品があった。 (火災)	当該製品には、出火の痕跡は認められなかったが、焼損が著しく、確認できない部品があることから、出火元か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2011/05/27)
A201100155 2011-0593 2011/05/06 （事故発生地） 大阪府	ガスこんろ（都市ガス用） サンウエーブ工業株式会社 G-216S	当該製品及び周辺が焼損する火災が発生し、１名が死亡、１名が負傷した。 (火災　死亡)	調査の結果、当該製品は、焼損が著しく、詳細な使用状況などが不明のため、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2011/05/30)

製品区分：　03.燃焼器具

No.0094

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事　故　通　知　内　容	事　故　原　因	再　発　防　止　措　置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201100168 2011-0615 2011/05/19 （事故発生地） 長崎県	ガスこんろ（ＬＰガス用） パロマ工業株式会社（現株式会社パロマ） 不明	建物が全焼する火災が発生し、現場に当該製品があった。 （火災）	当該製品の焼損が著しく、点火状態であったか否かの特定ができず、調理油過熱防止装置の作動状況も不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2011/06/03)
A201100209 2011-0778 2011/01/28 （事故発生地） 岡山県	石油ストーブ（開放式） 株式会社トヨトミ RCA-206	当該製品を消火操作後、当該製品から出火する火災が発生し、建物が全焼した。 （火災　重傷）	当該製品は焼損が著く、出火の痕跡を確認できず、使用時の詳細な状況も不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2011/06/24)
A201100228 2011-0937 2011/06/22 （事故発生地） 広島県	屋外式（ＲＦ式）ガス給湯器（都市ガス用） リンナイ株式会社 RUX-1611WO-E	当該製品を使用中、異音がしたため確認すると、当該製品の前方上部に設置されていたエアコン（室外機）周辺を焼損する火災が発生していた。 （火災）	事故原因は、当該製品は、長期間使用（約２２年）による電装ユニットのガス比例弁制御回路のトランジスタの故障により、点火時に正常時よりも多いガスが流れたことから異常着火となり、排気口から炎が出てエアコン（室外機）周辺を焼損し、火災に至ったものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2011/06/30)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事　故　通　知　内　容	事　故　原　因	再　発　防　止　措　置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201100240 2011-0976 2011/04/01 （事故発生地） 岩手県	石油温風暖房機（開放式） ダイニチ工業株式会社 FW-322E	建物が全焼する火災が発生し、現場に当該製品があった。 （火災）	当該製品には、異常燃焼や出火の痕跡は認められなかったが、焼損が著しく、基板などが確認できないため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2011/07/04)
A201100251 2011-0999 2011/06/17 （事故発生地） 東京都	ガス栓（都市ガス用） 株式会社サンコー フレキ1/2U-Ｌネジガス栓	当該製品のつまみが外れ、漏えいしたガスに引火する火災が発生し、当該製品及び周辺が焼損した。 （火災）	事故原因は、現在調査中であるが、システムキッチンの引き出し型キャビネット内に設置されている当該製品に、収納物が接触した状態で、キャビネットを強く引いたところ、当該製品のつまみが外れ、漏れたガスに使用中のガスこんろの火が引火し、火災に至ったと考えられる。	東京ガス株式会社は、事故の再発防止を図るため、平成２３年７月１２日に、ホームページに情報の掲載を行い、注意を呼び掛けるとともに、システムキッチンの設置等に伴い当該製品及び同様な他社製ガス栓の設置工事を行った顧客あてにダイレクトメールを発送し、使用上の注意事項を周知する。ダイレクトメールを送付した顧客のうち、「ガス設備定期保安点検」並びに「開栓作業」等の業務機会において、引き出し型キャビネットタイプのシステムキッチンを使用している場合には、安全チラシによる使用上の注意について周知する。また、ガスこんろ下部のキャビネット内部に対象となるガス栓が設置されている場合には、ガス栓への緩衝材の装着作業を実施する。	(受付:2011/07/07)
A201100277 2011-1641 2011/05/20 （事故発生地） 福井県	ガスこんろ（ＬＰガス用） リンナイ株式会社 ハオS630VCTS(DB)	建物が全焼する火災が発生し、現場に当該製品があった。 （火災）	調査の結果、当該製品は焼損が著しく、使用状況が不明のため、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2011/07/19)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201100286 2011-1645 2011/07/10 （事故発生地） 熊本県	石油給湯機 株式会社ノーリツ OX-310Y	当該製品を使用中、熱湯が出ないため確認すると、当該製品から発煙し、当該製品を焼損する火災が発生していた。 （火災）	調査の結果、当該製品は、バーナー取付部又は点火トランス周辺の焼損が著しいことから、当該箇所から出火したものと考えられるが、当該製品が廃棄されており、焼損部周辺の詳細な状況が確認できないため、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2011/07/20)
A201100329 2011-1833 2011/07/16 （事故発生地） 栃木県	石油給湯機付ふろがま TOTO(株)[製造：東陶ユプロ(株)(解散)](高木産業(株)ブランド) RPE40KAB（高木産業株式会社ブランド：型式TP-BS402AZR-D）	当該製品から出火する火災が発生し、当該製品及び周辺が焼損した。 （火災）	事故原因は、電磁弁に使用されている部品のＯリング（パッキン）が劣化により硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。この漏れた灯油に引火して機器内部が焼損したと考えられる。	東陶ユプロ株式会社（現ＴＯＴＯ株式会社）は、事故の再発防止を図るため、当該製品を含む対象機種については、平成１４年１０月及び平成１８年１２月に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、ＯＥＭ製品を含む対象製品について無償改修を実施している。さらに、販売店・サービス店を通じて、リコール対象機種がないかの確認を継続実施しており、平成２１年１２月からの取組みとして、戸建住宅へチラシを直接配布し、対象製品の改修促進を図っている。	(受付:2011/08/05)
A201100344 2011-1870 2011/08/02 （事故発生地） 京都府	石油ふろがま 株式会社長府製作所 CK-11S	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、機器の修理や点検の際に使用する点検用コネクター（空焚き防止装置を働かせないようにし、他の装置の作動点検をするもの）を修理・点検後に戻し忘れたため、空焚きとなった際に空焚き防止装置が作動せず、火災に至ったものと考えられる。	株式会社長府製作所は、当該製品を含む対象機種について、事故の再発防止を図るため、点検用コネクターが付属されている全ての機種について、平成１９年７月２７日にプレスリリースを行い、無償点検・改修を実施し、平成１９年７月２８日に新聞社告を掲載するとともに、販売店・サービス店を通じ、チラシ、ポスター、ＴＶＣＭやホームページ等による改修の呼び掛けを行っている。	(受付:2011/08/12)

製品区分：　03.燃焼器具

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　　名	事　故　通　知　内　容	事　故　原　因	再　発　防　止　措　置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201100437 2011-2449 2011/09/12 （事故発生地） 香川県	ガスこんろ（都市ガス用） リンナイ株式会社 RTS-4600GF	当該製品で調理中、外出したところ、建物が全焼し、１名が死亡する火災が発生した。 （火災　死亡）	調査の結果、当該製品は焼損が著しく、使用状況も不明なため、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2011/09/22)
A201100530 2011-2872 2011/10/25 （事故発生地） 富山県	石油給湯機 株式会社ノーリツ OQB-302Y	当該製品を使用中、異音がしたため確認すると、当該製品から出火する火災が発生しており、当該製品が焼損した。 （火災）	事故原因は、電磁弁に使用されているＯリング（パッキン）が劣化して硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生したことから、漏れた灯油に引火し、火災に至ったものと考えられる。	株式会社ノーリツは、当該製品を含む対象機種の石油給湯機付ふろがま及び石油給湯機について、平成１４年１０月２４日から無償改修を開始し、平成１８年１２月４日には、再度新聞社告を掲載し、注意喚起を行っている。さらに、平成２１年１２月からは、戸建住宅へのチラシ直接配布や、全石連（全国石油商業組合連合会、全国石油共済協同組合連合会）を通じて、４７都道府県の石油商業組合及び石油組合に加盟している石油販売事業者に協力を依頼し、灯油の納入先にリコール対象製品がないのかの確認を行うなど対象製品の改修促進を図っている。	(受付:2011/10/27)
A201100560 2011-2949 2011/03/08 （事故発生地） 宮城県	石油給湯機付ふろがま 株式会社コロナ UKB-3200TX3(A)	当該製品を使用中、当該製品から発煙し、当該製品を焼損する火災が発生した。 （火災）	調査の結果、当該製品の熱交換器に何らかの原因で亀裂が生じ、高温の排気が当該製品内部に漏れた際、温度ヒューズが外れていたため燃焼が停止しなかったことから、当該製品内部を焼損したものと考えられるが、温度ヒューズが外れていた原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2011/11/08)

製品区分：　03.燃焼器具　　　　　　No.0098

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事　故　通　知　内　容	事　故　原　因	再　発　防　止　措　置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201100728 2011-3511 2011/12/12 （事故発生地） 静岡県	石油給湯機 株式会社ノーリツ OQB-302Y	当該製品を使用中、異音がしたため確認すると、当該製品から出火する火災が発生しており、当該製品を焼損した。 （火災）	事故原因は、電磁弁に使用されているＯリング（パッキン）が劣化して硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生したことから、漏れた灯油に引火し、火災に至ったものと考えられる。	株式会社ノーリツは、当該製品を含む対象機種の石油給湯機付ふろがま及び石油給湯機について、平成１４年１０月２４日から無償改修を開始し、平成１８年１２月４日には、再度新聞社告を掲載し、注意喚起を行っている。さらに、平成２１年１２月からは、戸建住宅へのチラシ直接配布や、全石連（全国石油商業組合連合会、全国石油共済協同組合連合会）を通じて、４７都道府県の石油商業組合及び石油組合に加盟している石油販売事業者に協力を依頼し、灯油の納入先にリコール対象製品がないのかの確認を行うなど対象製品の改修促進を図っている。	(受付:2011/12/20)
A201100737 2011-3540 2011/12/11 （事故発生地） 岩手県	石油ストーブ（開放式） 株式会社千石（株式会社グリーンウッドブランド） GKP-S241N（株式会社グリーンウッドブランド）	当該製品に給油しようと、カートリッジタンクを引き抜いたところ、灯油が漏れて出火する火災が発生し、建物が全焼した。 （火災）	事故原因は、当該製品のカートリッジタンクの蓋（口金キャップ）が本体に確実にロックされない状態であったにもかかわらず、蓋が閉まったと誤認しやすい構造であったため、カートリッジタンクを出した際に蓋が外れ、漏れた灯油に引火したと考えられる。	株式会社千石は、当該製品を含む対象機種について、平成２２年９月１日に新聞社告を掲載し、また、ホームページへの情報掲載により、注意喚起を行うとともに、蓋の部品を変更したカートリッジタンクとの無償交換を実施している。	(受付:2011/12/21)
A201100799 2011-3680 2011/12/31 （事故発生地） 滋賀県	石油給湯機 株式会社ノーリツ OQB-302Y	当該製品を使用中、ブレーカーが作動したため確認すると、当該製品から出火する火災が発生しており、当該製品を焼損した。 （火災）	事故原因は、電磁弁に使用されているＯリング（パッキン）が劣化して硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生したことから、漏れた灯油に引火し、火災に至ったものと考えられる。	株式会社ノーリツは、当該製品を含む対象機種の石油給湯機付ふろがま及び石油給湯機について、平成１４年１０月２４日から無償改修を開始し、平成１８年１２月４日には、再度新聞社告を掲載し、注意喚起を行っている。さらに、平成２１年１２月からは、戸建住宅へのチラシ直接配布や、全石連（全国石油商業組合連合会、全国石油共済協同組合連合会）を通じて、４７都道府県の石油商業組合及び石油組合に加盟している石油販売事業者に協力を依頼し、灯油の納入先にリコール対象製品がないのかの確認を行うなど対象製品の改修促進を図っている。	(受付:2012/01/10)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200900354 2009-1260 2009/07/21 （事故発生地） 福岡県	手すり（洋式トイレ用） アロン化成株式会社 SUS-45	トイレでタンクの手洗いカランで手を洗うために、当該製品をつかんだところ、当該製品の固定部分が外れ、転倒した。 （重傷）	当該製品は、洋式トイレでの立ち座りを補助するために、肘掛けを固定具で便器に固定して使用するものである。調査の結果、当該製品はフレームと固定具を接続するねじの掛かりが、殆どない状況であった。そこに、使用状況の詳細は不明であるが、便器前方へ引っ張る力が加わり、便器から手すりが外れ、転倒したものと考えられる。当該製品は、手前方向に引っ張る力が加わると、取付状況により、便器から製品が外れるおそれがあるが、その注意喚起が取扱説明書には記載されていなかった。	アロン化成株式会社は、取扱説明書の改訂（手前方向に引っ張ることについて注意事項を追加）を行うとともに、固定具が脱落しないよう構造変更を実施している。	(受付:2009/07/31)
A200900545 2009-1984 2009/09/30 （事故発生地） 兵庫県	椅子（入浴用） 株式会社リッチェル やわらかシャワーチェア	当該製品に座ろうとした際に、転倒し、負傷した。 （重傷）	事故原因は、当該製品の背もたれクッションに手をかけて体の支えにしたため、背もたれクッションが背フレームの穴から外れ、バランスを崩し転倒したものであり、背フレームに嵌め込まれた背もたれクッションの外れやすさと使用方法が影響したものと考えられる。	株式会社リッチェルでは、平成２３年６月２３日より同社ホームページで注意喚起を行い、平成２３年１０月生産分から注意喚起チラシの同梱と背もたれクッションに容易に手がかからないよう、背フレーム形状の設計変更を行うこととした。	(受付:2009/10/09)
A200900749 2009-2668 2009/12/02 （事故発生地） 神奈川県	折りたたみ椅子 株式会社オーヤマ ＡＳＦ－０２７ＡＳ	当該製品に座っていたところ、当該製品の座面が破損して、転倒し、重傷を負った。 （重傷）	調査の結果、座面を固定している後脚金具について、製造工程において、誤って一部の強度の低い材料が混入したため、それによる強度不足が生じ、リベットに接合されていた箇所から変形及び破断し、事故に至ったものと考えられる。	事業者において、使用部品材質の品質管理を強化し、製造工程における規格外部品の誤使用の再発防止に努めている。また、平成２１年１２月１９月より販売先を通じ、消費者に対してダイレクトメール等の個別通知により回収の呼びかけを実施している。	(受付:2009/12/11)

製品区分：　04.家具・住宅用品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　　名	事　故　通　知　内　容	事　故　原　因	再　発　防　止　措　置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200900783 2009-2797 2009/12/18 （事故発生地） 東京都	ロフトベッド 大平産業株式会社 SMILE-0305	就寝中に当該製品から転落し、重傷を負った。 （重傷）	事故の原因は、使用者が何らかの理由で当該製品の手すりを乗り越えて転落し事故に至ったものと考えられるが、当該製品の本体表示に、使用対象年齢が適切に表示されておらず、また、取扱説明書や本体に転落の危険性について記載がなかったことも事故に影響したものと考えられる。	大平産業株式会社は、平成２３年９月よりホームページ及び購入者に対するチラシの配布による注意喚起を実施している。また、希望者に対し、製品回収（返金）を実施している。	(受付:2009/12/21)
A200901064 2009-4069 2010/02/06 （事故発生地） 熊本県	木製テーブル 野村貿易株式会社 TSW-334	当該製品に手をかけ、立ち上がろうとしたところ、当該製品の脚が折れて転倒し、負傷した。 （重傷）	当該製品は、円形の木製テーブルで、天板中央に取り付けられた支柱の先に三脚が取り付けられたもの。調査の結果、使用者が当該製品三脚開脚部上の天板外縁側に手をついたことにより、当該製品が傾いたため、バランスを崩して、転倒し、負傷したものと考えられる。なお、取扱説明書には、天板に手をつくことについて注意事項の記載がされていなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。なお、野村貿易株式会社では、ホームページにて、安全な使用方法についての注意喚起を行っている。	(受付:2010/02/25)
A200901078 2009-4074 2010/02/07 （事故発生地） 北海道	除雪機（歩行型） ヤナセ産業機器販売株式会社 KS-Y914HSTD	建物が全焼する火災が発生し、現場に当該製品があった。 （火災）	調査の結果、 ○使用者が、１時間ほどの除雪作業を終え、当該製品のエンジンキーを抜いて物置兼車庫に保管していたが、約１時間後に物置兼車庫から出火した。 ○当該製品は、雪取込口のオーガ（ロータリー部）周辺を除き、全体的に著しい焼損が認められた。 ○本体内部にある樹脂製の燃料タンクキャップには、焼損は認められなかった。 ○配線は、被覆が溶融しているが、断線や溶融痕などの異常は認められなかった。 ●当該製品の本体内部から出火痕跡は認められないが、焼損が著しいため、製品起因か否かも含め事故原因の特定に至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/02/25)

製品区分：　04.家具・住宅用品　　No. 0101

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201000092 2010-0643 2010/04/17 （事故発生地） 石川県	ドア トステム株式会社（現　株式会社LIXIL） なし	扉を開こうとした際、丁番と扉の隙間に指を挟み、負傷した。 （重傷）	調査の結果、扉が４５度開いた際、扉板と丁番の間に１０ｍｍの隙間が認められ、扉が全開した際の隙間は２ｍｍであった。使用者（８歳）が、当該製品が取り付けてある押し入れの内側で布団の上に乗っていたところ、バランスを崩し、とっさに丁番に手をついたことから、指が隙間に入り込み、そのまま扉が開いて隙間が縮小したため、指が挟まれて事故に至ったものと考えられる。	トステム株式会社（現　株式会社ＬＩＸＩＬ）は、平成２２年５月６日からホームページにて注意喚起を実施している。また、平成２２年７月以降の出荷分については、挟み込み防止保護材をセットで販売している。	(受付:2010/04/28)
A201000172 2010-0967 2010/05/14 （事故発生地） 千葉県	机 コクヨファニチャー株式会社 SSD-NFU6BP	当該製品の高さを調整する際、天板が落下し、負傷した。 （重傷）	調査の結果、当該製品の取扱説明書に、高さの調節方法に関する注意事項の記載が不十分であった。そのため、当該製品の多量の収納物を取り除かずに、天板が上の通常状態で高さ調節を行ったことから、過荷重で当該製品上部が急降下して指先が挟まり事故に至ったものと考えられる。	コクヨファニチャー株式会社者は、平成２２年１２月１０日製造分から、本体表示を改善し、注意喚起の記載及び脚部に注意ラベルの貼付を実施している。	(受付:2010/05/27)
A201000244 2010-1205 2010/05/09 （事故発生地） 兵庫県	棚（テレビ台） 土井インテリヤ工業株式会社 ノブレス	室内を歩行中、当該製品に接触し、負傷した。 （重傷）	事故原因は、当該製品の前を通過する際、当該製品に接近しすぎたため、当該製品の前方にひさし状に出た取っ手に接触して負傷したものと考えられるが、当該製品の取扱説明書には取っ手の角への身体の接触について注意表記がなかったことも、事故発生に影響したものと考えられる。	土井インテリヤ工業株式会社は、取扱説明書に注意書きの追加を実施している。	(受付:2010/06/22)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事　故　通　知　内　容	事　故　原　因	再　発　防　止　措　置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201000272 2010-1298 2010/06/18 （事故発生地） 千葉県	折りたたみ椅子 コクヨファニチャー株式会社 CF-B7N	当該製品に座ったまま、当該製品の支点付近を持って持ち上げ、当該製品の向きを変えた際、パイプの間に指を挟み、負傷した。当該製品は、折りたたみ時に支点部を構成する前脚部と後脚部の間に隙間が生じる構造であった。 （重傷）	調査の結果、当該製品は、折りたたみ開閉時に前脚と後脚の視点部が離れ、隙間が生じる構造であった。また、支点部の後脚上端に付けられた脚キャップが、長年（約２３年）の使用により破断し、右側後脚のパイプ端部が露出していた。当該製品の座面固定用ネジが外れていたため、使用者が中腰のまま当該製品の支点付近を持って向きを変えたことにより、当該製品の支点部の前脚と後脚パイプ端部に生じた隙間に指を挟み、事故に至ったものと考えられる。なお、座面固定ネジが外れた原因は、使用状況が不明であり、特定には至らなかった。事業者は部品（脚キャップ等）受注の際、注意喚起ラベル、ポスターを配布している。また、新製品については、構造の設計変更を実施している。	コクヨファニチャー株式会社では、既販品については、部品（脚キャップ等）発注があった際、製品に貼付する注意ラベル（（社）日本オフィス家具協会で統一）及び注意喚起のための安全啓発ポスター（同協会作成）を配布している。また、１９９５年以降の新製品について、前脚と後脚の支点部が離れない構造に設計変更している。	(受付:2010/07/01)
A201000280 2010-1338 2010/06/22 （事故発生地） 神奈川県	書棚 イケア・ジャパン株式会社 ビリー 書棚 80x106 ホワイト 636.883.10	当該製品の落下した下部棚板を修理中、上部棚板が落下し、負傷した。 （重傷）	調査の結果、 ○当該製品の可動棚は事業者の想定耐荷重（３０ｋｇ）の範囲内で使用されていた。 ○当該製品の棚板や側板にたわみは認められなかった。 ○事故前１週間の気候条件をもとに、高湿度下の使用を想定した再現試験を行ったが、事故当時の積載荷重では、棚板が大きくたわんだり、側板と棚板との隙間が大きく広がることはなかった。 ○当該製品の棚板支持具が一部紛失していたが、どの時点で紛失したかは特定できなかった。 ●当該製品には、棚板のたわみや過積載の痕跡が認められず、事故当時の積載量で、棚板がたわんだり、側板と棚板の隙間が大きく広がる状況はみられなかったが、棚板支持具が一部紛失するなど、使用時の状況が不明であることから、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/07/05)
A201000407 2010-2026 （事故発生地） 高知県	窓 新日軽株式会社（現　株式会社LIXIL） PXIHP0712	上げ下げ式の当該製品の下側の窓障子を上に上げ、窓の下側の枠に手を掛けたところ、突然、上げた窓障子が落下し、右手指を負傷した。 （重傷）	当該製品は、上下に可動する窓障子を、窓枠の左右に内蔵したバネ部品で支えることにより、窓障子を任意の位置で止め、また、軽く上げ下げできる機構となっている。調査の結果、左右のバネが破損していた。当該製品は、長期使用（約１０年）により、片側のバネが劣化により破損し、上げ下げ部窓障子の開閉時にガタツキなどが生じて作動が悪くなり、その状態で使用を続けたことから、反対側のバネに負荷が加わって破損し、窓障子が保持できなくなったため、使用時に窓障子が落下し、事故に至ったものと考えられる。	新日軽株式会社（現株式会社ＬＩＸＩＬ）は、ホームページで経年劣化による落下等の注意喚起を行っていた。	(受付:2010/08/12)

製品区分：　04.家具・住宅用品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201000459 2010-2336 2010/08/07 （事故発生地） 山形県	ドア 新日軽株式会社（現　株式会社LIXIL） XE6B06920R	当該製品の勝手口ドアを開扉するためドアノブを操作した際、ハンドル取り付けネジが抜け落ちていたため、ドアノブが抜け、体勢を崩し、転倒して負傷した。 （重傷）	調査の結果、当該製品の施工指示書には推奨締付トルクが記載されていなかったため、当該製品を取り付ける際、固定ネジを低い締付トルクで締付けたことから、使用者が当該製品を使用していくうちに固定ネジが緩み、抜け落ちたことで、ドアノブが抜け、事故に至ったものと考えられる。	新日軽株式会社（現　株式会社ＬＩＸＩＬ）者は、ドアノブの委託製造事業者とともにホームページに平成２３年１１月１４日から、ネジが緩んだまま使用しない旨の注意喚起し、希望者には緩み止め処理を施したネジを送付する対策を実施している。	(受付:2010/08/30)
A201000485 2010-2362 2010/07/19 （事故発生地） 千葉県	モップ 株式会社オオヌキ（カインズホームブランド） HMG-60（カインズホームブランド）	当該製品を使用中、当該製品のグリップが外れ、柄の部分が手に刺さり、負傷した。 （重傷）	調査の結果、当該製品は、グリップに、亀裂や浮きは認められなかったが、柄の端面処理がされていなく鋭利であり、強い力で引けばグリップが抜けることから、使用者が当該製品で清掃中、何らかの原因でグリップが抜け、使用者の手が鋭利な柄の端面に当たり、事故に至った可能性が考えられるが、詳細な使用状況などが不明なため、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。なお、事業者はグリップの形状を変更し、カシメ止めするよう設計変更している。	(受付:2010/09/03)
A201000514 2010-2462 2010/07/03 （事故発生地） 愛知県	木製椅子 株式会社大川家具 パーティー	当該製品を使用中、脚部が折れ、転倒し、負傷した。 （重傷）	調査の結果、当該製品の脚部のダボ穴などの加工時に、前脚に亀裂が生じていたため、使用時の荷重で亀裂が進行し破損した可能性も考えられるが、破損に至るプロセスが解明できなかったことから、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/09/13)

製品区分：　04.家具・住宅用品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201000568 2010-2751 2010/09/20 （事故発生地） 滋賀県	戸棚 イケア・ジャパン株式会社 501-504-69	当該製品の扉を開けた際、ヒンジ部が外れて扉が落下し、負傷した。 （火災　重傷）	調査の結果、当該製品は、ヒンジ受けを扉に接着する工程で、接着剤が完全に硬化する前にヒンジ受けの接着確認（トルク検査）を行ったため、接着剤に微小な裂け目が生じ、高湿度環境で使用を続けるうちに、接着剤に生じた微小な裂け目に水分等が入り込んで接着強度が弱まり、扉が落下して事故に至ったものと考えられる。	イケア・ジャパン株式会社は、平成２２年５月に同型品の販売を中止した。また、接着と品質管理工程の再度見直しを行い、以下の改善を行っている。①接着確認（トルク検査）は、接着剤の硬化後に行う。②ヒンジを増やす設計変更。	(受付:2010/10/04)
A201000708 2010-3203 2010/08/21 （事故発生地） 東京都	ロッカー アルプススチール株式会社(プラス株式会社ブランド） QE-A322（プラス株式会社ブランド）	当該製品の扉が外れ、落下し、負傷した。 （重傷）	調査の結果、落下した扉の蝶番は、上側の蝶番では、かしめがされていなかったが、下側の蝶番では、かしめられていた痕跡が認められたことから、当該製品の製造工程において扉の蝶番を固定するかしめ量が不足していたため、蝶番の固定力が低下していたところへ、偶発的に扉へ上向きの力が加わって扉が外れて落下し、事故に至ったものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/11/25)
A201000771 2010-3403 2010/10/17 （事故発生地） 神奈川県	シャワーヘッド（ハンド式） ＴＯＴＯ株式会社 TH721	当該製品を使用して幼児（９ヶ月男児）の体を洗っていたところ、急にお湯が熱くなり、幼児が火傷を負った。 （重傷）	調査の結果、当該製品は、長期間使用（７～８年）によるパッキンの経年劣化により、シャワーが止水せず、少量（２．８㍑／分）の水が漏れ出る状態で故障していたことから、事故発生時、男児の母親により、何らかの原因で当該製品のボタンが押された際に、ふろがまから高温の湯が供給され、事故に至ったものと考えられる。なお、当該製品が接続されているふろがまの最低作動流量は２．６㍑／分であり、２．８㍑／分の流量の際の出湯温度は６０℃であった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/12/16)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事　故　通　知　内　容	事　故　原　因	再　発　防　止　措　置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201000954 2010-4344 2010/12/31 （事故発生地） 香川県	浴室用混合栓 株式会社KVK KF120	保護者が当該製品を使用中、側にいた幼児（１歳男児）が火傷を負った。 （重傷）	事故原因は、当該製品を使用中、給湯機の給湯温度が高温に設定されており、水栓本体左側表面部も給湯温度に近い温度になっていたから、高温になった水栓本体左側表面部に手を触れて火傷を負ったものと考えられる。	株式会社ＫＶＫは、ホームページで、サーモスタット式水栓の表面温度に関する注意喚起を行うとともに、後継機種について、熱伝導の少ない二重構造に設計変更している。	(受付:2011/02/14)
A201001005 2010-4461 2011/02/12 （事故発生地） 兵庫県	折りたたみ椅子 株式会社山善 YZX-35 SB	当該製品に座ったところ、当該製品座面裏の脚取付け用リベットが外れ、転倒し、負傷した。 （重傷）	調査の結果、当該製品の座面と後脚を接続するリベットに亀裂が生じ、繰り返し使用の負荷により亀裂が進展し、リベットの破断に至ったものと考えられるが、リベットの強度には異常が認められなかったことから、リベットに亀裂が生じた原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2011/02/25)
A201001031 2010-4546 2010/12/03 （事故発生地） 愛知県	椅子 株式会社山善 SOA-315	当該製品に座った際、臀部に違和感を感じたが、座布団を敷いて使用を継続したところ、負傷した。 （重傷）	事故原因は、当該製品の座面裏側から取り付けている座面固定ボルトが容易に突き出す状態であったことに加え、繰り返し使用により座面ウレタンフォーム部が圧縮され薄くなっていたため、座面固定ボルト先端が座面カバーから突き出し、接触部を負傷したものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2011/03/03)

製品区分：　04.家具・住宅用品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事　故　通　知　内　容	事　故　原　因	再　発　防　止　措　置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201001037 2010-4543 2010/08/13 （事故発生地） 大阪府	椅子 住商インテリアインターナショナル（株）［(株)良品計画ﾌﾞﾗﾝﾄﾞ］ SET OF CHAIR AND OTTOMAN A1001M+A1531M(良品計画	当該製品のオットマン（足乗せ部）に腰掛けていたところ、クッション下の板が抜け、手をついた際に負傷した。 （重傷）	調査の結果、当該製品は、足乗せ板を支えている前後の桟の溝が深く加工され、足乗せ板のサイズも小さく加工されていたため、足乗せ板が前桟から外れ、落下し、事故に至ったものと考えられる。	事業者は当該製品について、平成２２年６月より製造工程の改善、品質管理の強化及び注意表示の改善を実施している。また、平成２３年３月８日よりブランド事業者（良品計画）ホームページ、店頭及び同年４月７日よりダイレクトメールにて注意喚起し、パーツ（フエルト）の無償提供を呼びかけている。	(受付:2011/03/04)
A201001059 2010-4599 2011/02/08 （事故発生地） 群馬県	椅子 株式会社ニトリ LBCG-01-01G	当該製品に座った際、当該製品の背もたれが破損し、転倒して、負傷した。 （重傷）	調査の結果、当該製品の背もたれの強度が不足していたため、使用中に背もたれの取付部にき裂が生じ、その後の繰り返し使用によりき裂が伸展して背もたれが破損し、事故に至ったものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2011/03/09)
A201100323 2011-1807 2011/06/04 （事故発生地） 熊本県	椅子 株式会社ニッセン 1318-7781-111	当該製品の座面の前縁部に座ったところ、背もたれ部が後ろに倒れ、転倒し、負傷した。 （重傷）	事故原因は、座面前縁部に浅く着座して体重をかけ続けてきたため、背もたれと座面の接続部に疲労が蓄積していたこと及び、今回着座した際、座面に大きな衝撃が加わったことから、接続部が故障して背もたれ部分が１８０度以上倒れ、事故に至ったものと考えられる。	株式会社ニッセンは、事故の再発防止を図るため、平成２３年９月１６日、同社ホームページに情報を掲載するとともに、判明している購入者へのダイレクトメール発送を行い、平成２３年１０月から対象製品について無償改修を実施。	(受付:2011/08/03)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200900302 2009-1109 2009/07/05 （事故発生地） 静岡県	自転車 宮田工業株式会社 DOLW-73L7	当該製品で坂を下っていたところ、前輪ホークの肩部が折損して、転倒し、重傷を負った。 （重傷）	調査の結果、当該製品の前ホーク肩とホークステムとの間に、ろう付け不良があったため、前ホーク肩に走行時の応力が集中してき裂が発生し、使用時の繰り返し荷重によりき裂が進行して折損し、事故に至ったものと考えられる。	宮田工業株式会社は、同型式の前ホークについて、平成１９年３月に肩部の形状を変更しており、その際にろう付け面積を拡大する設計改善を実施。また、製造工場を変更し、検査員を増やし、２度の目視検査を全数に対し行っている。	(受付:2009/07/15)
A200900409 2009-1457 2009/07/19 （事故発生地） 愛知県	自転車用空気入れ 株式会社サギサカ AIR CONCEPT	当該製品を使用し、自転車に空気を注入していたところ、当該製品のピストンロッド部が折損し、重傷を負った。 （重傷）	事故の原因は、当該製品のピストンロッド断面の肉厚が均一で無く、肉厚が薄い部分に気泡が生じていたため、ピストンロッドを押し込んだ際、気泡部分に応力が集中し、折損して事故に至ったものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。なお、後継品については、第三者機関にて強度等のＪＩＳ適合についての確認を実施している。また、当該製品は、生産及び販売を中止している。	(受付:2009/08/24)
A200900441 2009-1533 2009/06/18 （事故発生地） 北海道	自転車 ジック株式会社 TR246（社内品番73046-1199）	当該製品で走行中、ブレーキ部品が脱落し、前輪に引っ掛かり車輪がロックしたため、転倒し、重傷を負った。 （重傷）	調査の結果、前ブレーキ部品を固定する貫通ボルトのネジ部に緩み防止剤が塗布されていなかったため、走行中の振動等により貫通ボルトのナットが徐々に緩んで脱落し、前ブレーキ部品が本体より外れて前輪に引っ掛かり、車輪がロックして事故に至ったものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/08/31)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事　故　通　知　内　容	事　故　原　因	再　発　防　止　措　置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200900495 2009-1743 2009/07/27 （事故発生地） 兵庫県	電動アシスト自転車 ブリヂストンサイクル株式会社 アシスタライト	当該製品で走行中にフレームが折損して転倒し、重傷を負った。 （重傷）	調査の結果、当該製品のメインパイプにあるドライブユニット固定部の溶接部付近にパイプの破断が認められたことから、当該製品を使用時に、障害物等と衝突して溶接部付近に微細な亀裂が生じ、使用を続ける間に亀裂が進展し破断したと考えられるが、当該製品の詳細が確認できなかったため、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/09/17)
A200900655 2009-2400 2009/11/06 （事故発生地） 京都府	折りたたみ自転車 株式会社 阪和 BC-626	当該製品で走行中、ハンドルが不安定になり、転倒して重傷を負った。 （重傷）	事故原因は、生産時において、当該製品のハンドルバー固定ネジの締め付け不足により、ハンドルが半固定の状態であったため、使用者が急な下り坂を走行してハンドルに荷重が大きく加わった際にハンドルが下方に回転してしまい、バランスを崩して転倒したものと考えられる。	株式会社阪和は、２０１０年度生産分から製造工程の作業改善を行い、抜き取り検品と全数検品に変更している。また、取扱説明書の乗車前点検項目を警告表記に変更して注意喚起を行っている。	(受付:2009/11/19)
A200900881 2009-3149 2010/01/06 （事故発生地） 愛知県	自転車 株式会社 ジャイアント ESCAPE-Ri3	当該製品で走行中、転倒し、重傷を負った。 （重傷）	調査の結果、当該製品のチェーンには、たるみあり、ギヤに大きな力が加わった際に、チェーンがギアから外れることが認められたことから、チェーンの張り調整が適切でなかったため、走行時にチェーンが外れ、転倒に至ったものと考えられる。なお、チェーンの張りについては、販売店にて調整を行うこととなっているが、事業者から販売店に対し、チェーンの張りの調整に関する情報が提供されていなかったため、適切な調整が行われなかった。	株式会社ジャイアントは、当該販売店に対し、チェーンの調整方法の説明書を配布した。また、販売店では、平成２２年２月に系列全店で教育訓練を実施するとともに、販売済みの自転車及び店舗在庫品の点検を実施している。	(受付:2010/01/15)

製品区分：　05.乗物・乗物用品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　　名	事　故　通　知　内　容	事　故　原　因	再　発　防　止　措　置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200901007 2009-3602 2010/01/10 （事故発生地） 愛知県	歩行車 シャープトレーディング株式会社 XYEVRL001	当該製品を使用中、前輪フォーク根元のベアリングが壊れ転倒し、負傷した。 （重傷）	調査の結果 ○当該製品の左前輪フォーク（車輪固定部）の根元にある金属製ベアリング部が破損し左前輪が外れていた ○ベアリングの外輪と内輪は残っていたがベアリングを構成する玉、保持器やシールドは紛失していた ○左前輪部の寸法及び取付けには異常が認められず右前輪部にも破損などの異常は認められなかった ○使用者は普段から座席シートに座って車いすのような使い方をするなど前輪に負担が掛かる使い方をしていた ●当該製品使用時に左前輪へ過大な荷重が加わりベアリングが破損した可能性が考えられるがベアリングの一部部品が確認できず右前輪のベアリングには異常は認められないため製品起因か否かも含め事故原因の特定に至らなかった。 　なお取扱説明書には座席シート使用時はパーキングブリーキを両輪に掛けること歩行時は必ず両手でハンドルグリップを握ることやハンドルグリップ以外の部分を持って歩行しない旨、記載されている	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/02/10)
A201000029 2010-0275 2010/03/31 （事故発生地） 石川県	自転車用空気入れ 株式会社サギサカ 33305	当該製品を使用中、シリンダキャップが外れ、指が挟まれ、負傷したと思われる事故が発生した。 （重傷）	事故原因は、ポンチ（かしめ）工程において、シリンダキャップのかしめが不十分であったことから、シリンダキャップが外れて握りとシリンダの間に指が挟まれ、負傷に至ったものと考えられる。	当該製品については、生産及び販売を中止し、ＳＧ規格（空気入れ）への移行を実施済み。なお、第三者機関にて強度検査等の適合についての確認を実施している。	(受付:2010/04/08)

製品区分：　05.乗物・乗物用品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201000161 2010-0916 2010/04/13 （事故発生地） 東京都	自転車用幼児座席 ブリヂストンサイクル株式会社 RCSNRX.A	幼児を当該製品に乗せて自転車で走行中、幼児の右足が車輪に挟み込まれて負傷した。足乗せ部が脱落していた。 （重傷）	調査の結果、脱落していた右側足乗せが回収されておらず、破断面も潰れたり腐食していたため、詳細な観察ができないことから、事故の原因の特定には至らなかった。	ブリヂストンサイクル株式会社は、事故の再発防止のため、１２製品について、平成２２年９月２１日にホームページに掲載するとともに、平成２２年９月２２日に新聞社告を掲載し、樹脂製の製品と無償交換を実施しています。さらに、平成２３年１月２７日に再社告、幼稚園など施設へのポスター、チラシの配布など、当該リコールの周知活動に努めている。	(受付:2010/05/21)
A201000325 2010-1469 2010/06/24 （事故発生地） 東京都	自転車 ブリヂストンサイクル株式会社 アンジェリーノ	当該製品前部の幼児座席に幼児を乗せた状態で押し歩こうとしたところ、バランスを崩して、転倒し、母親が負傷した。 （重傷）	事故原因は、当該製品の前子乗せに子供を乗せていた状態でバランスを崩し、ハンドルが回転した際、偶発的にブレーキレバーグリップ式変速機との隙間に指が入り込み、容易に抜くことができなかったため、ハンドルの回転で指が挟まれて、負傷したものと考えられる。	ブリヂストンサイクル株式会社は、再発防止として、平成２２年８月３１日に同社ホームページにおいて指はさみの注意喚起を実施するとともに、平成２３年１月以降入荷するグリップ式変速機について、隙間を小さくするなどの設計変更を実施している。	(受付:2010/07/16)
A201000373 2010-1868 2010/06/04 （事故発生地） 神奈川県	自転車用幼児座席 ブリヂストンサイクル株式会社 RCSNRX.A	幼児を当該製品に乗せて自転車で走行中、幼児の左足が車輪にまき込まれて負傷した。足乗せ部が脱落していた。 （重傷）	調査の結果、製品本体に足乗せを組み付けてあった痕跡からは、適切な組み付けが行われていたと推測されるが、脱落した足乗せが廃棄されており、足乗せの破損部の確認・分析ができなかったため、事故の原因の特定には至らなかった。	事業者は、事故の再発防止のため、１２製品について、平成２２年９月２１日にホームページに掲載するとともに、平成２２年９月２２日に新聞社告を掲載し、樹脂製の製品と無償交換を実施しています。更に、平成２３年１月２７日に再社告、幼稚園など施設へのポスター、チラシの配布など、当該リコールの周知活動に努めている。	(受付:2010/08/02)

製品区分：　05.乗物・乗物用品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事　故　通　知　内　容	事　故　原　因	再　発　防　止　措　置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201000607 2010-2860 2010/10/15 （事故発生地） 東京都	自転車 株式会社サイテック LW276A	当該製品で登り坂を走行中、当該製品のハンドルから右側グリップが抜けたため、バランスを崩し負傷した。 （重傷）	調査の結果、右グリップの内側全体に、当該材質から浸み出したと考えられる油状物質が付着しており、シフターの操作時、グリップが一緒に動いてしまう状況にあったことから、その影響でグリップが外れて事故に至った可能性が考えられるが、可塑剤が浸み出た原因が不明なため、原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/10/28)
A201000700 2010-3174 2010/11/09 （事故発生地） 大阪府	自転車 株式会社ジャイアント CITY-STORM（2007モデル）	当該製品で走行中、前輪がロック状態になり、転倒し、負傷した。 （重傷）	調査の結果、当該製品は、前どろよけを固定するボルトが緩んで脱落したため、前どろよけが前輪と接触して車輪回転方向へ引っ張られたことから、前どろよけステーが前輪に接触し、急ブレーキ状態となり、転倒し、事故に至ったものと考えられる。なお、前どろよけは、販売店で組み付けるもので、使用者は、当該製品の前どろよけが、ガタついていたことに気づいており、継続使用していた。	株式会社ジャイアントは、系列の販売店に対し、前どろよけの組付に関する指導を実施している。	(受付:2010/11/22)
A201000991 2010-4465 2011/02/02 （事故発生地） 兵庫県	自転車 武田産業株式会社 FJ-ST276SLHD-DS　PI	当該製品で走行中、当該製品の後輪タイヤの一部が外れ、フレームに接触してロック状態となり転倒しかけたため、左足で踏ん張ったところ、負傷した。 （重傷）	調査の結果、当該製品の組み付け工程において、後輪タイヤの一部がリムにはまっていなかったため、当該製品で走行中の荷重等により後輪タイヤの外れが徐々に進行し、後輪タイヤが膨らみ、チェーンステーに接触してロック状態となり、事故に至ったものと考えられる。	武田産業株式会社では、事故発生後、タイヤの組み付け確認の徹底を実施している。	(受付:2011/02/24)

製品区分：　05.乗物・乗物用品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201001052 2010-4596 2011/02/18 （事故発生地） 福岡県	自転車 株式会社あさひ Wサスペンション付マウンテンバイク	当該製品で左カーブを走行中、当該製品の右グリップが抜けて転倒し、負傷した。 （重傷）	調査の結果、当該製品のグリップの根元部分にねじり力を加えた場合に、グリップ根元が変形してハンドルとの間に隙間が生じた。当該製品で走行中に、当該製品のグリップ部が雨水で濡れた状態でグリップを握りながら変速操作を行うなどした際、ハンドルバーとグリップの間に生じた隙間から雨水が浸入し、グリップの離脱力が低下してグリップが抜けて事故に至ったものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。また、事業者である株式会社あさひは、後継機種のグリップを改良する対策を実施している。	(受付:2011/03/08)
A201001106 2010-4744 2011/02/25 （事故発生地） 長野県	折りたたみ自転車 ブリヂストンサイクル株式会社 TS207	当該製品で走行中、ハンドルポストの上端にあるハンドルクランプ（ハンドルバーを支える部品）が破断し、転倒しそうになった際、バランスを取ろうとして負傷した。 （重傷）	調査の結果、当該製品のハンドルクランプ部の鍛造工程又は熱処理工程において、熱履歴に異常があったため、ハンドルクランプ部金属組織の結晶粒が粗大化して強度が低下し、粒界割れが生じてハンドルクランプ部が破断して事故に至ったものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2011/03/22)
A201100116 2011-0451 2011/04/21 （事故発生地） 大阪府	自転車用空気入れ コーナン商事株式会社 KG23-4883	当該製品を使用中、蓄圧タンク部が破損し、１名が負傷した。 （重傷）	調査の結果、当該製品は、材質や安全弁に異常が認められないことから、当該製品の蓄圧タンク加工時に、ねじ部に過大な荷重が加わって亀裂が生じていたところへ、使用中の加圧で亀裂が進展し、安全弁が作動する圧力に至る前にねじ部が破断して、蓄圧タンクが飛び出し、事故に至ったものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2011/05/13)

製品区分：　05.乗物・乗物用品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201100117 2011-0452 2011/04/10 （事故発生地） 神奈川県	自転車用空気入れ 株式会社エンチョー ＥＣＬ－Ｔ02	当該製品を使用中、蓄圧タンク部が破損し、１名が負傷した。 （重傷）	調査の結果、当該製品は、蓄圧タンクと台座との接着面に接着剤が塗布されていない領域があったため、蓄圧タンクが使用時の内圧に耐えられなくなって破損し、蓄圧タンクが飛んで事故に至ったものと考えられる。	株式会社エンチョーは、平成２３年５月１３日から、ホームページ、店頭にて無償交換又は代金の返金の呼びかけを行っている。	(受付:2011/05/13)
A201100141 2011-0551 2011/04/10 （事故発生地） 静岡県	自転車 株式会社紀洋産業 トライデムR-2	二人同時に漕ぐことができる当該製品で走行中、後部に乗車した子供（６歳女児）の足がバックホークとタイヤの間に挟まれ負傷した。 （重傷）	調査の結果、当該製品及び取扱説明書に、適用年齢、適用身長など適切な使用方法が記載されていなかったことから、施設が、親子で使用する利用者に当該製品を貸し出し、走行中、後座席の子供が足を引っかけていた後ホークから後輪に足を巻き込まれて事故に至ったと考えられる。当該施設では、以前にも同様の事故が起こっていたが、貸し出しを行っていた。	株式会社紀洋産業は、再発防止として、２０１１年７月より、二人乗り自転車を販売した個人及びレンタル事業者に対し、適用年齢等の使用上の注意を送付し、注意喚起を行っている。	(受付:2011/05/25)
A201100330 2011-1856 2011/04/15 （事故発生地） 埼玉県	自転車用幼児座席 ブリヂストンサイクル株式会社 RCSNRX.A	幼児を当該製品に乗せて自転車で走行中、右側足乗せ部分が脱落し、幼児の足が車輪に巻き込まれ、負傷した。 （重傷）	事故原因は、当該製品を取り付けた際に、足乗せ部を説明書と異なる組付け方をして、製品本体に十分に固定されていなかったことから、使用中に繰り返される負荷により足乗せ部の取付部板が破損し、事故の発生に至ったと考えられる。	ブリヂストンサイクル株式会社は、事故の再発防止のため、１２製品について、平成２２年９月２１日にホームページに掲載するとともに、平成２２年９月２２日に新聞社告を掲載し、樹脂製の製品と無償交換を実施している。更に、平成２３年１月２７日に再社告、幼稚園など施設へのポスター、チラシの配布など、当該リコールの周知活動に努めている。	(受付:2011/08/08)

製品区分：　05.乗物・乗物用品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201100453 2011-2678 2011/09/25 （事故発生地） 島根県	自転車用空気入れ 株式会社サギサカ CC-308	当該製品を使用中、蓄圧タンク部の蓋が外れて飛び、負傷した。 （重傷）	調査の結果、当該製品の蓋ネジ部の接着剤の塗布量が少なかったことから、耐圧性が低下していたため、安全弁が作動する前に蓋が外れて事故に至ったものと考えられる。なお、安全弁は正常に作動していた。	株式会社サギサカは、再発防止として、蓋ネジ部への接着剤の塗布方法の改善を実施し、また、毎生産時に定数の圧力検査による品質確認を実施している。	(受付:2011/10/03)
A201100497 2011-2796 2011/07/15 （事故発生地） 埼玉県	自転車用幼児座席 ブリヂストンサイクル株式会社 RCS-NAS	幼児（３歳）を当該製品に乗せて自転車で走行中、左側足乗せ部分が外れ、幼児の足が車輪に巻き込まれ、負傷した。 （重傷）	事故原因は、使用中に繰り返される負荷により足乗せ部の取付部板が破損し、足乗せ部分が外れ、事故の発生に至ったものと考えられる。	ブリヂストンサイクル株式会社は、当該製品を含む型式について、事故の再発防止を図るため、平成２２年９月２２日に新聞社告を掲載し、その後も継続して、事業者のオンライン登録者へのメール発出、子育て中の女性向けウェブサイトへの広告の掲載、育児雑誌に広告を掲載し、樹脂製の製品と無償交換を呼び掛けている。また、・本年１月２７日には主要紙への新聞社告を再度掲載・本年１月末に全国の自転車販売店へポスター及びチラシの再配布を実施、全国の幼稚園及び保育園へのポスター掲示とチラシの配布等を実施・本年４月１２日には更にポスターをより注意を引きやすい形に改訂し、新聞折込の開始、全国自転車販売店への再配布及び全国幼稚園、保育園へのポスター再掲示とチラシの再配布を実施・本年９月１３日には３回目となる主要紙への新聞社告を掲載及び内容を改訂したチラシを再配布し、継続して無償交換を呼び掛けています。	(受付:2011/10/17)

製品区分：　05.乗物・乗物用品 No.0115

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事　故　通　知　内　容	事　故　原　因	再　発　防　止　措　置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201100498 2011-2797 2011/07/26 （事故発生地） 兵庫県	電動アシスト自転車 ブリヂストンサイクル株式会社 AF40・A12	当該製品に乗車し、電源を入れたところ、当該製品が突然動き出し、道路から田んぼに転落し、負傷した。 （重傷）	事故原因は、当該製品に搭載された電動部品の内部の摩耗又は部品取付けはんだに亀裂が入る不良により、ペダルの踏み力が誤って検知され、人がペダルを踏んでいないにもかかわらず、モーターの駆動力が数秒間継続したため、事故の発生に至ったものと考えられる。	ブリヂストンサイクル株式会社は、当該製品を含む型式について、事故の再発防止を図るため、平成１９年５月１５日にホームページ、平成１９年５月１６日に新聞社告の掲載を行い、対象製品について、無償修理（対策部品への交換）を実施するとともに、同社及び販売店から３回に渡るダイレクトメールの送付、使用者への電話連絡、バッテリー交換時における改修の案内、販売店店頭掲示用ポスターの再配布、また平成２３年１０月中旬から販売店へ下敷き状の周知ポスターを配布し、注意喚起を累次実施している。また、当該電動部品を搭載し、別ブランドで販売しているヤマハ発動機株式会社及び宮田工業株式会社からも無償修理についてお知らせを実施している。	(受付:2011/10/17)
A201100538 2011-2900 2011/09/10 （事故発生地） 神奈川県	自転車用幼児座席 ブリヂストンサイクル株式会社 RCSNRX.A	幼児（５歳）を当該製品に乗せて自転車で走行中、幼児の足が車輪に巻き込まれ、負傷した。 （重傷）	事故原因は、使用中に繰り返される負荷により足乗せ部の支柱が破損し、足乗せ部分が外れ、事故の発生に至ったものと考えられる。	ブリヂストンサイクル株式会社は当該製品を含む型式について事故の再発防止を図るため平成２２年９月２２日に新聞社告を掲載しその後も継続して事業者のオンライン登録者へのメール発出子育て中の女性向けウェブサイトへの広告の掲載育児雑誌に広告を掲載し樹脂製の製品と無償交換を呼び掛けている。また次のとおり継続して無償交換を呼び掛けている。・本年１月７日に主要紙への新聞社告を再度掲載・本年１月末に全国の自転車販売店へポスター及びチラシの再配布を実施、全国の幼稚園及び保育園へのポスター掲示とチラシの配布等を実施・本年４月１２日に更にポスターをより注意を引きやすい形に改訂し新聞折込の開始全国自転車販売店への再配布及び全国幼稚園、保育園へのポスター再掲示とチラシの再配布を実施・本年９月１３日に３回目となる主要紙への新聞社告を掲載及び内容を改訂したチラシを再配布・本年１０月１１日に全国販売店へリコールの呼びかけチラシをＡ３サイズの下敷で配布実施中	(受付:2011/11/01)

製品区分：　06.身のまわり品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200900218 2009-0876 2009/06/12 （事故発生地） 大阪府	ライター（使い切り型） タイメリージャパン有限会社 RIO(リオ)	台所の流し台の一部が焼損する火災が発生し、引き出しに当該製品があった。 （火災）	調査の結果、 ○台所の引き出しの中には、焼損した当該製品以外に焼損していない同等品（同型式品）があった。 ○焼損した当該製品は風防周辺の焼損が著しく、火炎の消火時間、操作力等の確認はできなかったが、X線透過写真から残存部の部品の組み付けに異常は認められなかった。 ○２本のライターのうち事故前に使用していたライターの特定はできなかった。 ●当該製品の着火レバーが引き出しの中のトレーで押されて点火した、又は残火が発生した可能性はあるが、当該製品は焼損が著しく、また、事故前に使用したライターの特定ができなかったことから、製品起因か否かも含め事故原因の特定に至らなかった。 　なお、同等品の火炎の消火時間は、ＩＳＯ　９９９４（シガレットライター）の基準を満たしていた。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/06/22)
A200900984 2009-3589 2010/01/14 （事故発生地） 大阪府	充電池（充電式懐中電灯用） 株式会社ユニバーサル・イメージ B14H（マックステルブランド）	当該製品を充電していたところ、発煙し、当該製品が焼損した。 （火災）	事故原因は、当該製品の電解コンデンサーのはんだ付けが不十分であったことから、基板上の電気部品に高電圧が加わったため、周辺の電気部品が焼損したものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/02/06)

製品区分：　06.身のまわり品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事　故　通　知　内　容	事　故　原　因	再　発　防　止　措　置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201000981 2010-4418 2011/01/05 （事故発生地） 東京都	電子レンジ加熱式湯たんぽ 株式会社白元 レンジでゆたぽん	幼児（６歳男児）が、当該製品を電子レンジで加熱し、取り出す際、当該製品の内容物が漏れ、火傷を負った。 （重傷）	調査の結果、 ○幼児が電子レンジで当該製品を加熱し、取り出す際に火傷を負った。 ○当該製品は、二重袋となっており、内袋が破損した場合でも外袋で内容物が飛び散ることを防ぐ構造になっていた。 ○当該製品の内容物が床にこぼれた跡があったが、電子レンジ庫内にはこぼれていなかった。 ○当該製品は使用者により破棄されていたため、確認ができなかった。 ●当該製品の加熱条件等、使用状況の詳細が不明なため、製品起因か否かも含め事故原因の特定に至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2011/02/21)
A201100201 2011-0765 2011/06/11 （事故発生地） 千葉県	瓶（ガラス製調味料容器） パール金属株式会社 HA-3787	当該製品のふたを開けようとしたところ、当該製品側面のガラス部分が割れ、負傷した。 （重傷）	調査の結果、当該製品の側面のガラスは厚さのばらつきが大きく、厚さが薄くて強度が低い部分があったため、ふたを開けようとした際、当該製品の側面に加わった力により、側面の厚さが薄い部分のガラスが割れて事故に至ったものと考えられる。	販売事業者である株式会社カインズでは同様の事故が発生するおそれがあることから、平成２３年６月１６日より当該製品の販売を中止し、平成２３年６月３０日からホームページ及び店頭に社告を掲載し、対象製品の回収・返金の呼びかけを行っている。	(受付:2011/06/22)
A201100204 2011-0780 2011/05/24 （事故発生地） 大阪府	靴（パンプス） 株式会社ニッセン 1441-4611-114	当該製品を履いて階段を下降中、当該製品のかかと部が取れ、負傷した。 （重傷）	事故原因は、当該製品ヒール部の耐衝撃性が不十分であったため、当該製品を履いて歩行中にヒール外側から衝撃が加えられて、ヒールが折れたことにより、事故に至ったものと考えられる。	株式会社ニッセンでは、当該製品を含む対象製品について、平成２３年６月２１日より販売を中止し、平成２３年７月６日から購入者に対してダイレクトメールを発送するとともに、平成２３年７月１２日より２４日までの期間において、電話連絡を行い対象製品について回収・返金を実施している。	(受付:2011/06/23)

製品区分：　06.身のまわり品　　　No. 0118

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201100239 2011-0979 2011/06/17 （事故発生地） 福岡県	携帯電話機用電池パック ㈱カシオ日立モバイルコミュニケーションズ（現　NECカシオモバイルコミュニケーションズ㈱） 52CAUAA	当該製品を携帯電話機（ＥＸＩＬＩＭケータイＷ５３ＣＡ）に装着して充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、現在、調査中であるが、以下の①から③の複合要因により事故に至ったものと考えられる。①電池パックが外部からの強い力を受け、キズやヘコミがつき、内部のセパレータ（絶縁シート）に損傷が発生②充放電を繰り返すことで内部ショート③長期使用により電池内部の化合物が相当量析出	株式会社カシオ日立モバイルコミュニケーションズ（現ＮＥＣカシオモバイルコミュニケーションズ株式会社）、電気通信事業者のＫＤＤＩ株式会社及び沖縄セルラー電話株式会社は、事故の再発防止を図るため、平成２３年９月３０日、プレス公表を行うとともにホームページへの情報掲載、携帯電話機購入者へダイレクトメール・交換品（電池パック）を１０月下旬から順次発送し、使用上の注意を呼び掛けるとともに、平成２３年９月３０日から、対象製品（電池パック）について無償交換を実施する。なお、株式会社カシオ日立モバイルコミュニケーションズ（現ＮＥＣカシオモバイルコミュニケーションズ株式会社）が製造した日立コンシューマエレクトロニクスブランドの携帯電話機に搭載された日立コンシューマエレクトロニクス株式会社製の電池パックについても、類似のものであるため同時にリコールを実施する。	(受付:2011/07/04)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事　故　通　知　内　容	事　故　原　因	再　発　防　止　措　置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200900364 2009-1289 2009/07/15 （事故発生地） 三重県	花火 株式会社　稲垣屋 R171029	当該製品に着火したところ、火が消えた様になったため近づいたところ、当該製品の側面が裂け、燃焼した火薬が飛び出して火傷を負った。 （重傷）	調査の結果、当該製品は筒の先端まで土が詰め込まれており、かつ一発目の発射薬が不十分な不良品であったことから、筒内部で点火燃焼が連続的に発生し、筒内の燃焼ガスの圧力が高まり、紙筒が裂けて事故に至ったものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。なお、事業者は平成２１年９月より当該商品の輸入及び販売を中止している。	(受付:2009/08/04)
A200900487 2009-1717 2009/06/21 （事故発生地） 愛知県	花火（手持ち花火） マルカ株式会社 白ススキ	当該製品に点火したところ、しばらくして当該製品が破裂し、負傷した。 （重傷）	調査の結果、当該製品は、着火薬の詰め方の不具合により、着火薬が燃焼する前に内部の火薬に着火し燃焼したことで、未燃焼の着火薬が栓になり、紙筒の内部圧力が上昇し破裂したものと考えられる。	マルカ株式会社は、平成２１年１２月から輸入品を中止し、在庫品の販売を中止している。	(受付:2009/09/14)
A200900498 2009-1744 2009/08/11 （事故発生地） 愛知県	花火（噴出花火） マルカ株式会社 ロケットファイヤージェット	当該製品に点火後、しばらくして当該製品が大きな音とともに破裂し、負傷した。 （重傷）	調査の結果、当該製品は、噴出口が詰まりなど不具合があったため、点火後に花火が噴き出さず、紙筒の内部圧力が上昇して破裂したものと考えられるが、当該製品は破裂しており、確認ができないことから、原因の特定には至らなかった。	マルカ株式会社は、平成２１年１２月から輸入品を中止し、在庫品の販売を中止している。	(受付:2009/09/18)

製品区分：　08.レジャー用品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事　故　通　知　内　容	事　故　原　因	再　発　防　止　措　置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201100149 2011-0574 2010/10/07 （事故発生地） 広島県	運動器具（ＥＭＳ機器） 株式会社リッコー なし（商品名：オーバルウェーブ）	当該製品（筋肉に電気的な刺激を与える機器）を使用中、当該製品のパッド貼付箇所に炎症が生じた。 （重傷）	事故原因は、当該製品のＥＭＳコードのプラグを奥まで挿入しないでパットに出力させたことで、ＥＭＳ出力回路とプラグ挿入検出回路とがショートしたことから、ＥＭＳ出力波形が異常な状態でパットに供給されたため、パット貼付箇所で炎症が生じたものと考えられる。	株式会社リッコーは、事故の再発防止を図るため、平成２２年１２月２７日よりパッドのコードプラグを機器本体に差し込むジャック部分の構造を変更し、差し込みが不十分であっても異常な波形が出力されない構造に変更するとともに、平成２２年１２月２日までに販売された製品についても購入したすべての消費者に対して連絡し、無償改修（修理）を行っている。	(受付:2011/05/27)
A201100150 2011-0575 2010/09/05 （事故発生地） 東京都	運動器具（ＥＭＳ機器） 株式会社リッコー なし（商品名：オーバルウェーブ）	当該製品（筋肉に電気的な刺激を与える機器）を使用中、当該製品のパッド貼付箇所に炎症が生じた。 （重傷）	事故原因は、当該製品のＥＭＳコードのプラグを奥まで挿入しないでパットに出力させたことで、ＥＭＳ出力回路とプラグ挿入検出回路とがショートしたことから、ＥＭＳ出力波形が異常な状態でパットに供給されたため、パット貼付箇所で炎症が生じたものと考えられる。	株式会社リッコーは、事故の再発防止を図るため、平成２２年１２月２７日よりパッドのコードプラグを機器本体に差し込むジャック部分の構造を変更し、差し込みが不十分であっても異常な波形が出力されない構造に変更するとともに、平成２２年１２月２日までに販売された製品についても購入したすべての消費者に対して連絡し、無償改修（修理）を行っている。	(受付:2011/05/27)
A201100151 2011-0576 2010/08/26 （事故発生地） 東京都	運動器具（ＥＭＳ機器） 株式会社リッコー なし（商品名：オーバルウェーブ）	当該製品（筋肉に電気的な刺激を与える機器）を使用中、当該製品のパッド貼付箇所に炎症が生じた。 （重傷）	事故原因は、当該製品のＥＭＳコードのプラグを奥まで挿入しないでパットに出力させたことで、ＥＭＳ出力回路とプラグ挿入検出回路とがショートしたことから、ＥＭＳ出力波形が異常な状態でパットに供給されたため、パット貼付箇所で炎症が生じたものと考えられる。	株式会社リッコーは、事故の再発防止を図るため、平成２２年１２月２７日よりパッドのコードプラグを機器本体に差し込むジャック部分の構造を変更し、差し込みが不十分であっても異常な波形が出力されない構造に変更するとともに、平成２２年１２月２日までに販売された製品についても購入したすべての消費者に対して連絡し、無償改修（修理）を行っている。	(受付:2011/05/27)

製品区分：　08.レジャー用品

No. 0121

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201100152 2011-0577 2010/09/29 （事故発生地） 東京都	運動器具（ＥＭＳ機器） 株式会社リッコー なし（商品名：オーバルウェーブ）	当該製品（筋肉に電気的な刺激を与える機器）を使用中、当該製品のパッド貼付箇所に炎症が生じた。 （重傷）	事故原因は、当該製品のＥＭＳコードのプラグを奥まで挿入しないでパットに出力させたことで、ＥＭＳ出力回路とプラグ挿入検出回路とがショートしたことから、ＥＭＳ出力波形が異常な状態でパットに供給されたため、パット貼付箇所で炎症が生じたものと考えられる。	株式会社リッコーは、事故の再発防止を図るため、平成２２年１２月２７日よりパッドのコードプラグを機器本体に差し込むジャック部分の構造を変更し、差し込みが不十分であっても異常な波形が出力されない構造に変更するとともに、平成２２年１２月２日までに販売された製品についても購入したすべての消費者に対して連絡し、無償改修（修理）を行っている。	(受付:2011/05/27)